

科目名	医療プロフェッショナリズム入門	授業形態	
英語科目名	Introduction to Medical Professionalism	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	岡田 隆夫	ナンバリング	
担当教員	岡田 隆夫、渡邊 マキノ、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>医師は医療のエキスパートとして多様な役割を果たしている。医師は患者に関わるとともに、医療チームの一員として協力関係を築き、医学知識を学習し適切に応用する必要がある。新たな知見・治療法の研究・開発も医師の役割の一つである。医療者・研究者として活動するためには、何よりもプロフェッショナルとして、高い倫理性・自己規制・行動規範を有し、自己・他者の人間存在を理解し尊重する姿勢を身につけなければならない。</p> <p>「医療プロフェッショナリズム入門」は、プロフェッショナルの医師を志すあなたが①～④のような様々な側面から医の世界を捉え、確かな技能と知識とともに、他者の尊厳や価値観を理解・尊重できる豊かな人間性をもった医師として成長していくことを目標として設定されている。</p> <p>「医療プロフェッショナリズム入門」は、年間を通した3つの早期体験実習をコアとして構成されており、各講義と3つの実習は密接な関連をもっている。</p> <p>① 生と死、健康と疾病の意味を理解し、人間に向き合う医師という職業について学び、医師のあるべき姿・倫理を考える。 ② 現代医学の歴史的背景の理解を通して、医の世界を視る広い視野を育てる。 ③ 社会と医学・医療の関わり合いを、福祉、高齢者介護・医療施設などの実習を通して理解し、社会が医学に何を求めているか、また、医学が社会に対して、どのような影響をおよぼしているかを理解する。 ④ 基礎・臨床医学の最先端に位置する先生方の話を聞き、今日の医療が捉えている人間像を知る。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] 豊かな人間性を持ったプロフェッショナルを目指す学生として、他者に対する温かい想像力を持ち、仕事の現場で自ら課題を発見し、患者さんのために、仲間たちと気持ちよく仕事をするすることができる医師・研究者となる素養を育てる。</p> <p>[到達目標] 1. 医師・研究者としての職責を説明することができる。 2. 患者中心の視点を持つことができる。 3. 高いコミュニケーション能力を持ち、患者や他職種と意思疎通ができる。 4. チーム医療および地域医療の重要性を説明することができる。 5. 物事を統合的な広い視野に立って判断することができる。 6. 研究心をもち自己研鑽を重ねることができる。”</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<p>☆ アクティブな態度で講義に臨むこと。質問の機会が与えられた時には、積極的に質問すること。</p> <p>☆ 医療の現場で長く実践してこられた方、患者さんをお招きして話をさせていただく機会がある。必ず講義に出席し、相手に対して礼を失することの無い態度で、謙虚に、なおかつ、積極的に意見交換をしながら、理解を深めるようにすること。</p>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	<p>成績評価方法：「早期体験実習」（オリエンテーション、反省授業を含む）への出席・レポート・評価、および、「医療プロフェッショナルナリズム入門」の出席、レポート、前期・後期筆記試験成績を加味して総合評価を行う。「医療プロフェッショナルナリズム入門」試験には「早期体験実習」に関する試験問題を含む。</p>
------	---

評価基準	<p>成績評価基準：個別試験や総合試験の結果、実習等を基に総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

「医療プロフェッショナルナリズム入門」全体としての教科書は指定しない。
 講義ごと実習ごとに関連する書籍を選んで、学習する内容の理解を深めていくこと。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：渡邊 マキノ E-Mail: makinow[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 月～木曜日：11:00～16:00 場所：センチュリータワー南11階 医学教育研究室</p>			
担当教員の実務経歴				
備考	<p>☆ 自分とは異なる文化や生活の中で育ってきた人々、多様な問題関心や価値観をもつ人々、世代、職種の異なる人々と積極的に接し、小さな枠にとらわれない広い視野をもって他者に対することのできる態度と姿勢を育てていくこと。 ☆ 医療や医学はもちろん、芸術やスポーツ、経済などの、一流の仕事を行なうプロフェッショナルの活動にできるだけたくさん触れる。 ☆ 医学・医療を含む、さまざまな書籍等の情報から、多様な人間社会に触れ、理解を深めていくこと。 ☆ 講義では医療に関する時事問題を取り上げることがある。新聞、雑誌をはじめ、様々なメディアで取り上げられる時事問題に積極的に興味をもつこと。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
4/13 (水) 3限	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	<p>【授業タイトル】医療プロフェッショナリズム入門・医療入門オリエンテーション</p> <p>【サブ・タイトル】医師として、人間として</p> <p>【キーワード】人間性、医師</p> <p>【到達目標】豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る医師を志したことを認識することができる。</p>	講義	<p>【注意点】「病院見学実習・看護実習・施設実習等」に深く関係する</p> <p>【準備】受験生から医学生へと気持ちを切り替えてくる。</p>
4/13 (水) 4限	医学部学生部長 熱帯医学・寄生虫病学講座 美田 敏宏 医史学研究室 澤井 直	<p>【授業タイトル】医のプロフェッショナリズムの基本的原則と医師憲章</p> <p>【サブ・タイトル】医師、医療者になるとは</p> <p>【キーワード】基本的原則、医師憲章、利他主義、患者の自律性、社会正義</p> <p>【到達目標】入学前の生活習慣を見直し、医学生としての倫理やマナーを実践することができる。</p>	講義	<p>【予習】これまでの生活習慣を考える。順天堂大学医学部のコンピテンシーを調べる。</p> <p>【復習】学んだことを基に、これまでの生活習慣を改める。</p>

4/20 (水) 4限	医学教育研究室 特任教授 奈良 信雄	<p>【授業タイトル】医療者のプロフェッショナリズム 【サブ・タイトル】グローバル化時代の医療者プロフェッショナリズム 【キーワード】プロフェッショナリズム、プロフェッショナル、国際社会、コンピテンシー 【到達目標】医師に必要なプロフェッショナリズムを理解し、行動できる。</p>	講義	<p>【予習】どのような医師になりたいか、各自で将来像を考えてみる。 【参考図書】福井次矢、奈良信雄編：内科診断学、医学書院</p>
4/27 (水) 4限	情報センター 高橋 健太 学術メディアセンター 城山 泰彦 医史学研究室 澤井 直	<p>【授業タイトル】情報管理と情報リテラシー 【サブ・タイトル】医学生・医療従事者としての情報収集、情報管理とその倫理 【キーワード】情報リテラシー、情報管理、インターネット、ウェブサイト、データベース、文献検索 【到達目標】①インターネットシステムの概要、問題点、危険性、使用上のマナーを説明できる。②パスワード管理ができる。③情報探索・入手のスキルを身につける。</p>	講義	<p>【注意点】授業の最後に内容について、小テストを行う。 【予習】資料を事前に一読しておくこと。</p>
5/11 (水) 4限	医史学研究室 澤井 直	<p>【授業タイトル】医療の歴史 【サブ・タイトル】現代の医師-患者関係のルーツはどこにあるのか 【キーワード】医療、医師-患者関係、励起子 【到達目標】古代から現代までの医師-患者関係のあり方の変遷を理解し、歴史を踏まえて目指すべき医師像を考えることができる。</p>	講義	<p>【復習】複数の過去の医師に関する評伝を読み、どのような医師-患者関係を築いていたかを比較する。</p>
5/25 (水) 4限	医療看護学部 基礎看護学 高梨 あさき	<p>【授業タイトル】看護の役割と機能 【サブ・タイトル】看護独自の機能とチーム医療 【キーワード】看護、看護師、専門職、看護技術、チーム医療、コミュニケーション 【到達目標】医療現場での看護の役割と機能を理解できる。</p>	講義	<p>【復習】ノートを再読し、医学生に伝えたかったことを理解し、看護実習に向け準備をする。</p>

6/1 (水) 4限	医学教育研究室・呼吸器内科 鈴木 勉 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	【授業タイトル】病院の中で仕事をすること 一医師の責務― 【サブ・タイトル】病院見学オリエンテーション 【キーワード】適切な身だしなみ、態度、接遇・マナー、守秘義務、順天堂医院の医療従事者 【到達目標】医学生として病棟に立ち入るときの基本的なマナーを知り、病院見学実習で実践することができる。	講義 【注意点】無断欠席の場合は6月8日の病院見学実習には参加できない。	【予習】病院見学の服装を準備し、身なり、態度を整える。
6/8 (水) 1-4限	医学教育研究室・呼吸器内科学 鈴木 勉 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直	【授業タイトル】病院見学実習 【到達目標】チーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る大切さを知り、説明することができる。	体験実習	【予習】順天堂医院のHPで病院の概要を調べる。 【自己学習課題の設定】病院見学で学んだことを振り返り、医学生としての課題を自分で設定する。
6/15 (水) 4限	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根 美和	【授業タイトル】病院見学の反省 I 【サブ・タイトル】相互に体験を共有する 【キーワード】ピア・エデュケーション、病院、医療従事者、チーム医療 【到達目標】自分たちの体験したことを、他者に伝達できる。	実習 【注意点】学生どうしの相互学習	【予習】発表を準備する。 【復習】他チームの発表のポイントを纏める。

<p>6/22 (水) 4限</p>	<p>生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根 美和</p>	<p>【授業タイトル】病院見学の反省Ⅱ 【サブ・タイトル】相互に体験を共有する 【キーワード】ピア・エデュケーション、病院、医療従事者、チーム医療 【到達目標】自分たちの体験したことを、他者に伝達できる。</p>	<p>実習 【注意点】学生どうしの相互学習</p>	<p>【予習】発表を準備する。 【復習】他チームの発表のポイントを纏める。</p>
<p>6/29 (水) 4限</p>	<p>生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根 美和</p>	<p>【授業タイトル】コミュニケーションの基本 【サブ・タイトル】コミュニケーションゲームで体感してみよう 【キーワード】コミュニケーション、パーソナルスペース、メラビアンの法則、対人関係、心理、行動 【到達目標】医学生として患者さんの前に立ち会話をかわす時の基本のマナーを知り、今後の実習で実践することができる。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】コミュニケーションの手法を調べ、患者さんと接する時、どのように役立てるか考えておく。 【復習】コミュニケーション手法を復習する。</p>
<p>7/6 (水) 4限</p>	<p>小児科学講座 細澤 麻里子</p>	<p>【授業タイトル】子どもの特性と全人的医療 【サブ・タイトル】小児医療の現場から考える 【キーワード】成長、発達、愛着、子どもの権利、健康の社会的決定要因、全人的ケア 【到達目標】子どもの身体と心の発達段階、それぞれの段階で人間としての成長に必要なことを理解し、疾患だけでなく背後にある様々な心理社会的要因にも目を向けることができる。</p>	<p>講義</p>	<p>【復習】ノートを再読し、学んだことをまとめる。</p>

7/13 (水) 4限	昭和大学 医学教育学講座 有馬 牧子	<p>【授業タイトル】医療者のキャリア形成 【サブ・タイトル】仕事とプライベートをデザインしよう 【キーワード】キャリア、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ、男女共同参画 【到達目標】医療従事者及び一人の人間として、今後のキャリアプランの道筋を立てることができる。男女共に多様なキャリアの選択肢があることを知り、医療現場の男女共同参画の視点を持つことができる。育児・介護等のライフイベントを経てもキャリアデザインを立案できる。</p>	<p>講義・ワークショップ 【注意点】講義開始前と後で評価アンケートを行う。</p>	<p>【復習】ノートを再読し、学んだことをまとめる。</p>
7/20 (水) 4限	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直	<p>医療プロフェッショナリズム入門・前期まとめ 【到達目標】医学生として、成長し、自身の将来像を想像することができる。</p>	試験	<p>【準備】前期に学んだことまとめ、本質を理解する。</p>
9/21 (水) 4限	医史学研究室 澤井 直 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	<p>【授業タイトル】施設実習オリエンテーション 【サブ・タイトル】施設実習の目的と準備 【キーワード】他者への配慮、施設介護、介護保険施設、コミュニケーション、対人関係 【到達目標】施設実習の目的を理解した上で、実習での自分が課題を考えることができる。</p>	<p>実習 【注意点】無断欠席の場合は11月14日からの施設実習には参加できない。</p>	<p>【予習】実習先として提示された施設の情報を集める。</p>
9/28 (水) 4限	リハビリテーション医学研究室 谷 真美	<p>【授業タイトル】高齢者のリハビリテーション医学 【キーワード】患者中心のチーム医療、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、高齢者施設にいる職種、高齢者の特性 【到達目標】高齢者医療の身体機能的な特徴を理解し、施設実習や今後のBSLにおいて実践できる。</p>	<p>講義 【注意点】高齢者や片麻痺などの疑似体験装具を装着する体験を行う。</p>	<p>【予習】高齢者施設にいる職種、高齢者の身体機能的な特徴について調べる。 【復習】施設実習に活用できるように、講義資料を読み返す。</p>

<p>10/5 (水) 4限</p>	<p>医療看護学部 高齢者看護学 島田 広美</p>	<p>【授業タイトル】要介護高齢者の理解と技術支援 【キーワード】高齢者、廃用症候群、活動、移動、援助方法、ボディメカニクス、車椅子操作 【到達目標】介助時のボディメカニクスの原則、活動に関わる援助方法の留意点を説明できる。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】病院見学で患者さんと関わった体験を想起する。 【復習】施設実習に活用できるように、講義資料を読み返す。</p>
<p>10/12 (水) 4限</p>	<p>総泉病院名誉 院長 高野 喜久雄</p>	<p>【授業タイトル】高齢者医療の現場から 【キーワード】認知症、高齢者、脳、活性化 【到達目標】高齢者医療の現場における患者-医師関係を理解できる。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】高齢者医療の現状について調べる。 【復習】認知症の治療について学んだことをまとめる。</p>
<p>10/19 (水) 4限</p>	<p>医療看護学部 高齢者看護学 杉山 智子</p>	<p>【授業タイトル】高齢者の介護について 【キーワード】施設介護、介護保険施設、コミュニケーション 【到達目標】高齢者が介護を受ける場とその環境、基本的な介護方法を概説できる。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】介護保険施設について調べる。 【復習】施設実習に活用できるように、講義資料を読み返す。</p>
<p>11/2 (水) 4限</p>	<p>医学教育研究 室・呼吸器内 科学 鈴木 勉</p>	<p>【授業タイトル】高齢者患者さんへの対応 【サブ・タイトル】高齢者施設での実習のために 【キーワード】高齢者機能の特徴、高齢者施設実習での注意事項、注意すべき感染症 【到達目標】高齢者の生理的特徴を知り、また高齢者とのコミュニケーションの取り方を理解し、施設実習で活用することができる。</p>	<p>講義</p>	<p>【予習】高齢者施設にいる職種、高齢者の身体機能的な特徴について調べる。 【復習】施設実習に活用できるように、講義資料を読み返す。</p>

11/9 (水) 4限	医史学研究室 澤井 直 生理学第二講座・医学教育 研究室 渡邊 マキノ その他さくら・本郷キャンパス教員	【授業タイトル】施設実習オリエンテーションⅡ 【サブ・タイトル】高齢者施設での実習直前の諸確認 【キーワード】医療、福祉、介護、高齢者、患者中心の視点、チーム医療、患者の権利、患者のプライバシー、自己決定 【到達目標】高齢者福祉・医療施設で、高齢者とともに生活し、介護を体験することにより、医師として重要な、他者の心情を推測する力、思いやる態度、チーム内の相互協力を学ぶことができる。	実習 【注意点】無断欠席の場合は11月14日からの施設実習には参加できない。	【予習】病院見学で学んだ留意点を復習しておく。 【準備】実習に必要なものを準備する。
11/14 (月) ～ 11/18 (金)	医史学研究室 澤井 直 生理学第二講座・医学教育 研究室 渡邊 マキノ その他さくら・本郷キャンパス教員	【授業タイトル】施設実習 【キーワード】医療、福祉、介護、高齢者、患者中心の視点、チーム医療、患者の権利、患者のプライバシー、自己決定 【到達目標】高齢者福祉・医療施設で、高齢者とともに生活し、介護を体験することにより、医師として重要な、他者の心情を推測する力、思いやる態度、チーム内の相互協力を学ぶことができる。	体験実習 【注意点】高齢者施設での実習	【自己学習課題の設定】実習の目的を理解するとともに、自分自身の目標を設定する。 【復習】実習レポートをまとめる。
11/30 (水) 4限	医史学研究室 澤井 直 生理学第二講座・医学教育 研究室 渡邊 マキノ その他さくら・本郷キャンパス教員	【授業タイトル】施設実習反省授業 【サブ・タイトル】高齢者施設での実習を振り返り、看護の課題を見出す 【キーワード】医療、福祉、介護、高齢者、患者中心の視点、チーム医療、患者の権利、患者のプライバシー、自己決定 【到達目標】高齢者福祉・医療施設で、高齢者とともに生活し、介護を体験することにより、医師として重要な、他者の心情を推測する力、思いやる態度、チーム内の相互協力を学ぶことができる。	実習 【注意点】無断欠席の場合、施設実習に関する単位は付与されない。	【復習】自分の仲間たちが体験したことから学ぶ。
12/7 (水) 4限	ライフケアシステム医師 辻 彼南雄	【授業タイトル】高齢者の在宅医療 【サブ・タイトル】終末期のケア 看取りにふさわしい場所 【キーワード】在宅医療、人間としての死 【到達目標】他者の死を看取ることの意味を深く考えることができる。	講義	【予習】在宅医療の現状について調べる。 【復習】終末期のケアに求められることについて考える。

12/14 (水) 4限	インターネットポリシースペシャリスト 宮崎 豊久 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	【授業タイトル】 ネット社会のコミュニケーション概論 【サブ・タイトル】 プロフェッショナルとして身に着けるコミュニケーション 【キーワード】 SNS、コミュニケーション、分かち合い、居場所、依存、関係性、情報漏洩、法とモラル、性情報、LGBTQs、ハラスメント、DV、ストレス、対症療法、予防 【到達目標】 様々なコミュニケーションシーンにおいて、困難に遭遇した時に一人で抱え込まずに対処することができる。	講義	【予習】 これまでの早期体験実習において遭遇した患者さんとのコミュニケーションについて振り返る。 【復習】 患者さんとの関係性を作るうえで重要なことをまとめる。
12/21 (水) 4限	解剖学・生体構造科学講座 市村 浩一郎	【授業タイトル】 人体の携帯をどのように学ぶか 【サブ・タイトル】 電子顕微鏡と人体解剖で見る人体 【キーワード】 人体解剖、組織学、心臓、動脈、内皮、平滑筋 【到達目標】 顕微鏡標本の作成法と観察法が理解できる。人体解剖実習の意義が理解できる。	講義	【復習】 2月からの講義に向けて準備する。
未定	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直	医療プロフェッショナリズム入門・まとめ（後期試験） 【到達目標】 人間として、医学生として、成長し、自身の将来像を想像することができる。	試験	【準備】 体験実習を含め、医療プロフェッショナリズム入門で学んだことを振り返り、まとめておく。
2022年 1/31 (火) 5-8限	医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根 美和 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	【授業タイトル】 グループワーク 医学生～医療者のプロフェッショナリズム 【サブ・タイトル】 自らの近未来をM1から意識して行動する 【キーワード】 医療者のプロフェッショナリズム、倫理と道徳的推論、順天堂と社会のルール、うっかりミス・不正行為・違法行為、迷惑行為 【到達目標】 ①学生生活全般について、アンプロフェッショナリズムとされる考え方や行動・行為がないように努力・自制できる。②今後の日常の活動、特に自己学習が医療者のプロフェッショナリズムに直結していることを意識して省察していくことができる。	講義（グループワーク形式） 【注意点】 全員出席が原則である。	【予習】 配布された資料を事前によく読み理解して、授業開始の5分前までに授業会場の指定席に着席している。 【復習】 医療者のプロフェッショナリズムとされる国際社会概念についてまとめる。

2/6 (月) 5-8限	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根 美和	【授業タイトル】看護師同行実習オリエンテーション 【サブ・タイトル】看護師同行実習の目的と内容、準備 【キーワード】患者中心の視点、コミュニケーション、マナー、態度、チーム医療 【到達目標】看護師同行実習に参加する準備ができる。	体験実習 【注意点】全員出席が原則であり、無断欠席の場合、2/27からの看護師同行実習への参加を認めない。	【準備】これまでの講義・実習で学んだマナー、態度、服装、チーム医療について思い出す。
2/14 (火) 3-4限	病院管理学研究室 川崎志保理	【授業タイトル】医学生に必要な接遇・マナー 【サブ・タイトル】医療現場における接遇・マナーの必要性 【キーワード】接遇・マナー、医療倫理、医師国家試験、患者サービス 【到達目標】①接遇・マナーに関する医師国家試験の傾向を知ることができる。②医師として必要な接遇・マナーの概要を知ることができる。③患者サービスとは何かを知ることができる。	全員必修講義 【注意点】全員出席が原則であり、無断欠席の場合、2/27からの看護師同行実習への参加を認めない。医療に特化した接遇・マナーは医師国家試験に頻出されており、医療行為以外に医師足る人としての行動が求められている。	【予習】社会通念としての接遇・マナーを新聞や書物等で予習しておくこと。授業に臨み、さらに医療者として必要な接遇・マナーを【復習】すること。
2/16 (木)	医療看護学部 教員 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根美和	【授業タイトル】基礎看護学実習 【キーワード】衛生的な手洗い、感染防護、患者移送、コミュニケーション、患者中心の視点、チーム医療 【到達目標】看護の基礎的な技術を身に着けることができる。どのような配慮のもとに看護技術が実践されているか知り、看護実習で役立てることができる。	体験実習 【注意点】2/6のオリエンテーションを無断欠席した場合、参加を認めない。	【予習】実習要項を良く読み込む。 【復習】看護師同行実習において実践できるように、学んだことのポイントをまとめる。
2/24 (金)	医療看護学部 教員 生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根美和	【授業タイトル】基礎看護学実習（予備日） 【キーワード】衛生的な手洗い、感染防護、患者移送、コミュニケーション、患者中心の視点、チーム医療 【到達目標】看護の基礎的な技術を身に着けることができる。どのような配慮のもとに看護技術が実践されているか知り、看護実習で役立てることができる。	体験実習 【注意点】2/6のオリエンテーションを無断欠席した場合、参加を認めない。	【予習】実習要項を良く読み込む。 【復習】看護師同行実習において実践できるように、学んだことのポイントをまとめる。

<p>2/27 (月) ~3/2 (木)</p>	<p>生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ 医史学研究室 澤井 直 医学教育研究室・微生物学講座 關根美和</p>	<p>【授業タイトル】看護師同行実習 【キーワード】課題発見、患者中心の視点、コミュニケーション、チーム医療、看護師、心理、行動 【到達目標】①チーム医療の実際を見学・体験して理解することができる。②患者理解とは何かを見学・体験して知ることができる。</p>	<p>体験実習 【注意点】順天堂大学医学部附属5病院での病棟実習 2/6、14、16、24の講義・実習を無断欠席した者は参加できない。</p>	<p>【自己学習課題の設定】自分自身の目標を設定する。 【復習】体験したことをレポートにまとめる。</p>

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医療入門	授業形態	
英語科目名	Introduction to Medicine	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	岡田 隆夫	ナンバリング	
担当教員	岡田 隆夫、渡邊 マキノ、關根 美和、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>医療入門では5つのカテゴリーの講義を通じて、以下のことを学ぶ。</p> <p>【国際社会の概念と将来医療の場で実践する知識ScienceとこころArts】 【医療者のコミュニケーション】 良好な医師-患者関係を築くことができる医療面接や診察について学ぶ前段階として、面接を行う際の態度・言葉遣いや環境、相手の立場・年齢・気持ちに配慮したコミュニケーションスキル</p> <p>【医学生・医療者であるという自覚と健康】 医療チームの健康と安全を確保して患者中心の信頼される医療を将来提供するために、今理解すべきこと・今開始すべきこと・今後行うべきでないこと</p> <p>【緊急事態に対応する医療入門】 日常（学生）生活に潜む病気や外傷の原因と予防や対処法・緊急事態に遭遇した時の医学的応急処置</p> <p>【地域医療とチーム医療】 保健・福祉・介護を含めた地域医療の重要性と基本理念・医療チームの多業種連携 さらに「医療プロフェッショナリズム入門 早期体験実習：病院見学・看護実習・施設実習」に必要な準備と授業担当先輩医師・医学研究者のキャリアのみちすじ</p>		
到達目標	<p>[一般目標] 患者中心の医療や個人と社会の健康に貢献できる医学研究を医療者の倫理やマナーとプロフェッショナリズムの概念に則り、生涯継続する将来像を具体的にイメージして、医学医療のScienceとこころArtsの学習成果（Outcome）を獲得してゆくことができる</p> <p>[到達目標] 次頁以降に各授業の到達目標が示され、全授業を通しての到達目標は下記のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療者としてのコミュニケーションスキルの基礎を身につけ実践できる。 2. 医療者の職責を自覚し、他者の尊厳を尊重し、利他的に対応できる。 3. 医学生として自分自身の健康に留意し、健康の強化・維持に努めることができる。 4. 地域の保健・医療・福祉制度等を理解し、積極的に疾病予防・健康増進の活動ができる。 5. 常に自己を振り返り、評価及び管理を怠らず、法的責任を遵守した行動をとることができる。 6. キャリアデザインを具体的に説明できる。 		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<p>①この科目の学習は1年では完結せず医学生からと医療者（医師・医学研究者）となる過程で必要な情報が伝達される。配付資料や講義ノート等の学習記録を保存し復習する。</p> <p>②順天堂の本郷などの病院の臨床系教員が多くの講義を分担する。専門用語などがわからない時は遠慮せずその場で質問する。授業中の質問は学生の積極性を示すとして高く評価される。授業後は質問の機会は当分無いであろう。</p> <p>③2月以降卒業までの全授業がこの科目のように各回異なる内容を異なる教員が講義するのでこの形式に慣れること。講義の曜日に注意すること。</p> <p>④教務課スタッフにより配布資料は授業開始前に、出席調査票・授業評価用紙は講義開始直後に室内を巡回して出席者に配布される。遅刻者・欠席者への事後配布は行われぬ。</p> <p>⑤出席調査票・授業評価用紙に回答して講義終了直後に教室で提出する。事務室教務課や次回の授業での事後提出は受理されない。</p> <p>⑥「医療プロフェッショナリズム入門・早期体験実習：病院見学・看護実習・施設実習」の前に、この科目のそれらの実習に係る授業について復習すること。</p> <p>⑦この科目の欠席届は岡田宛に作成して、教務課に提出する。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>成績評価方法：「医療入門」の出席、Pre-test・Post-test、レポート、筆記試験成績を加味して総合評価を行う。</p> <p>【定期試験（前期試験）】</p> <p>出題形式＝用語や数値、単語や文、文章を記述して解答する</p> <p>可否判定方法＝さくらキャンパス判定基準に準じる</p> <p>注意①レポート提出やプレ・ポストテスト・小テストが行われる場合は、それらの評価と定期試験評価が加算されることがある</p> <p>出題範囲＝試験日までの学習内容</p> <p>注意②準備学習や指定された自己学習の内容が含まれる</p>
------	--

評価基準	<p>成績評価基準：個別試験や総合試験の結果を基として総合的な理解度および受講態度等を見て判定する。</p>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

科目としての指定はしない；授業で紹介されたテキストやHP等からの情報を確認すること

【再試験の注意事項】

出題範囲は全授業の（準備学習等や自己学習を含む）学習内容；出題形式は定期試験と同じ

その他	
連絡先・オフィスアワー	
担当教員の実務経験	
備考	<p>①各授業が5つのカテゴリーのどれに属するかを確認し、各授業の準備学習（予習）を済ませて授業に出席する</p> <p>②授業担当者は本郷などの順天堂附属病院からその授業のためにさくらキャンパスに向かう。講義担当者にいつでも再会できるとは限らない。</p> <p>各授業の準備学習【予習】や学習上の注意に沿って自己学習し、講義内容や質問事項をあらかじめイメージして出席する。</p> <p>③科目全体の教科書は無い。授業資料の配布は授業開始前に教務課スタッフが行う。配布されたら直ちに資料の全体を概観する</p> <p>④資料が配布されない授業もあるので、講義ノートを必ず持参して出席する</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/13 (水) 3限	生理学第二講座・医学教育研究室 渡邊 マキノ	<p>【授業タイトル】医療プロフェッショナリズム入門・医療入門オリエンテーション</p> <p>【サブ・タイトル】医師として、人間として</p> <p>【キーワード】人間性、医師</p> <p>【到達目標】豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る医師を志したことを認識することができる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】「フレッシュパーソンズキャンプ・看護実習・施設実習等」に深く関係する</p>	<p>【準備】受験生から医学生へと気持ちを切り替えてくる。</p>
4/20 (水) 3限	下部消化管外科学講座 富木 裕一	<p>【授業タイトル】バイタルサイン</p> <p>【サブ・タイトル】脈、血圧、呼吸、体温、その取り方と意味すること</p> <p>【キーワード】脈拍、血圧、呼吸、体温、救急医療</p> <p>【到達目標】バイタルサインとは何か？を説明できる</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】「フレッシュパーソンズキャンプ・看護実習・施設実習等」に深く関係する</p>	<p>【予習】「生きている証拠」をあげられるようにしておく</p>

4/27 (水) 3限	熱帯医学・寄生虫病学講座 美田 敏宏	<p>【授業タイトル】熱帯医学入門1、熱帯医学入門2 【サブ・タイトル】開発途上国で実際に起こっていること 【キーワード】熱帯病、マラリア、開発研究、研究医のキャリア 【到達目標】熱帯地域を中心とした開発途上国にある医療問題を①広い角度から理解し、②新しい視点を持ってその解決法を考察できる。 ③研究医の仕事と心構えを知る。</p>	<p>講義 【注意点】2年生以降で学習する感染症、熱帯医学の導入部となる。</p>	<p>【予習】世界三大感染症の名前と患者数、死亡者数を調べる。予習時間45分。 【復習】講義配布資料を見直し、自分ができることを考えてみる。復習時間45分。</p>
5/11 (水) 3限	総合診療科学講座 内藤 俊夫	<p>【授業タイトル】医学生から始める感染症への対策1、医学生から始める感染症への対策2 【サブ・タイトル】医療のプロフェッショナルとしての準備 【キーワード】インフルエンザ、マイコプラズマ、病原体、ワクチン、職業感染防止、手指衛生、咳嗽、医療者の健康管理、医療関連感染症 【到達目標】 ①医療従事者として就業する際に、あらかじめ接種しておくべき感染症について理解する ②体調不良時に就業しないで受診をする意義を理解する</p>	<p>講義 【注意点】「病院見学・看護実習・施設実習」など医療施設での実習・研修に深く関係する</p>	<p>【予習】ワクチンで予防できる流行性ウイルス疾患について調べる 【復習】自分の抗体価とワクチン接種歴について整理する 【自己学習課題】免疫を持っていない疾患に対するワクチン接種を行っておく</p>
5/18 (水) 3限	感染制御科学 堀 賢	<p>【授業タイトル】感染症およびその対策1、感染症およびその対策2 【サブ・タイトル】感染症との闘い 【キーワード】感染症、感染制御、院内感染 【到達目標】医学生として感染の防御をする意義を理解する</p>	<p>講義 【注意点】「病院見学・看護実習・施設実習」など医療施設での実習・研修に深く関係する</p>	<p>【準備】医学生としての感染防御の意義を考えておく。 【復習】講義配布資料を見直し、自分ができることを考えてみる。復習時間45分。</p>
5/18 (水) 4限	浦安病院救急診療科 石原 唯史	<p>【授業タイトル】災害医療1、災害医療2 【サブ・タイトル】災害現場で、君は何ができるか？ 【キーワード】トリアージ、災害ボランティア、災害医療の特殊性、災害時の医療体制 【到達目標】災害時における医療体制確立の必要性和現場のトリアージを説明できる</p>	<p>講義 【注意点】余裕があれば、災害医学に関する最新の臨床研究を紹介する。</p>	<p>【予習】災害時と日常の医療の相違点を考える 【復習】模擬傷病者を作成、トリアージ法を行い習得する</p>

<p>5/25 (水) 3限</p>	<p>スポーツ健康 科学部 櫻庭 景植</p>	<p>【授業タイトル】救急医療に対する初期治療；スポーツ外傷を中心に1、救急医療に対する初期治療；スポーツ外傷を中心に2 【サブ・タイトル】スポーツ現場ですぐに役立たせる救急処置 【キーワード】捻挫、肉ばなれ、骨折、RICE処置、救急医療 【到達目標】スポーツ現場ですぐに対応すべき基本、対応可能な処置方法を学ぶとともに、重度外傷に対する救急搬送の判断基準を知る</p>	<p>講義 【注意点】特になし</p>	<p>【予習】スポーツ外傷・傷害の総論として捻挫や脱臼、骨折の定義 【復習】周囲のスポーツ外傷の現場で現実に見て学び、復習</p>
<p>6/1 (水) 3限</p>	<p>神経学講座 平 健一郎</p>	<p>【授業タイトル】若年者と高齢者の頭痛とめまい1、若年者と高齢者の頭痛とめまい2 【サブ・タイトル】原因は？ 対処法 どのような時に病院に行くべきか 【キーワード】片頭痛、回転性めまい、動揺感、患者の社会的・心理的背景 【到達目標】頭痛、めまいの種類が生命にかかわるか否かを理解できるようになる</p>	<p>講義 【注意点】「施設実習」にも関係する授業</p>	<p>【予習】頭痛、めまいの種類を知っておく 【復習】頭痛、めまいの各種類の特徴を知る</p>
<p>6/15 (水) 3限</p>	<p>公衆衛生学講座 遠藤 源樹</p>	<p>【授業タイトル】公衆衛生学の基礎1、公衆衛生学の基礎2 【サブ・タイトル】医学・医療と社会を結びつける公衆衛生的視点とは 【キーワード】公衆衛生の見方・考え方、健康の決定要因 【到達目標】 ①公衆衛生、社会医学とは何かを理解する ②公衆衛生的視点が必要な理由を説明できる</p>	<p>講義 【注意点】特になし</p>	<p>【予習】健康の社会的決定要因とは何か、各自で事前に調べておくこと 【復習】講義配布資料の内容の確認</p>
<p>6/18 (土) 3限</p>	<p>浦安病院 救急診療科 平野 洋平</p>	<p>【授業タイトル】応急処置1、応急処置2 【サブ・タイトル】夏季の救急応急処置 【キーワード】熱疲労、熱痙攣、熱射病、溺水、溺死、救急医療、中毒・食中毒 【到達目標】 ①環境と健康・疾病との関係を概説できる ②熱中症の予防策を説明できる</p>	<p>講義 【注意点】特になし</p>	<p>【予習】熱中症の基礎について勉強する 【復習】熱中症の危険因子および予防策を整理する。</p>

6/22 (水) 3限	皮膚科学講座 込山 悦子	<p>【授業タイトル】女性医師というプロフェッション1、女性医師というプロフェッション2</p> <p>【サブ・タイトル】社会とのつながり</p> <p>【キーワード】専門医・認定医、男女共同参画、ライフイベント、ワークライフバランス、生涯教育</p> <p>【到達目標】医療者と社会とのつながりを理解する</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】皮膚疾患の提示がある</p>	<p>【予習】医師を志すと決めた理由を再確認する</p> <p>【復習】医師というプロフェッションを生涯継続するイメージを育てる</p>
6/29 (水) 3限	医学教育研究室 西崎祐史	<p>【授業タイトル】家庭医療総論1、家庭医療総論2</p> <p>【サブ・タイトル】プライマリ・ケア</p> <p>【キーワード】家庭医、総合医、ACCCA、在宅医療、多職種協働（IPW）、EBM、物語能力、コミュニケーションスキル、社会資源</p> <p>【到達目標】①Common disease(コモモンディゼイズ)を説明できる ②家庭医のスキルを説明できる ③家庭や地域を考慮できる ④専門医や多職種と連携の重要性を理解できる</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】「施設実習」に深く関係する授業</p>	<p>【予習】家庭医とはどんな医者かイメージしておく</p> <p>【復習】ACCCAを振り返えろう</p>
7/ 6 (水) 3限	小児外科学講座 山高 篤行	<p>【授業タイトル】外科道に魅せられて1、外科道に魅せられて2</p> <p>【サブ・タイトル】Stay Strong</p> <p>【キーワード】BeatBoston, Beat London、ガッツ、上には上がいる、落ち着いて地道な努力をする、患者さんの心の痛み、生涯学習、医療の評価</p> <p>【到達目標】小児外科疾患の手術方法を理解習得する</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】特になし</p>	<p>【予習】食道閉鎖・ヒルシュスブルグ病の手術方法について確認する</p> <p>【復習】予習内容について理解を深める</p>

7/13 (水) 3限	医学教育研究室 呼吸器内科学 鈴木 勉	<p>【授業タイトル】医療面接1、医療面接2 【サブ・タイトル】患者と医師の信頼関係の構築、医療面接のステップ</p> <p>【キーワード】医療面接のステップ、開放型質問、閉鎖型質問、医師の態度</p> <p>【到達目標】 ①コミュニケーション能力の重要性を理解する ②医療面接のステップを理解する（まずは導入、主訴の把握、共感、解釈モデルから） ③医師の態度類型と質問法を知る。 ④共用試験OSCE。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】①「病院見学・看護実習・施設実習・臨床実習」に深く関係する ②共用試験（CBT/OSCE）のための初歩的な知識である</p>	<p>診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目（社）医療系大学間共用試験実施評価機構（OSCEを統括する機構）が作成。診察時に注意すべき項目が記載されており、これを中心に実習と試験が行われる。医療面接の項目を予習のしておくこと。） http://www.cato.umin.jp/index.html</p>
7/20 (水) 3限	試験監督 医学教育研究室 関根・渡邊	<p>前期試験</p> <p>【到達目標】この科目の学習アウトカムを発揮し、後期試験評価とあわせて、評価の基準を満たすことができる</p>	試験	<p>【出題範囲】試験日までの学習内容；準備学習（予習・復習）や指定された自己学習の課題の内容を含めて出題</p>

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	スポーツと健康	授業形態	
英語科目名	Sports and Health (Soccer, Volleyball, etc)	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	青木 和浩	ナンバリング	
担当教員	青木 和浩、鯉川 なつえ、河村 剛光、荻原 朋子、柳谷 登志雄、島崎 佑、坂本 彰宏、中田 学、吉田 和人、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>健康やスポーツの基礎となる体力を高めるためのトレーニングの基礎理論並びに方法論についての理解を深める。各自の体力に応じた様々なトレーニングの実践ならびに各自の目的に応じたトレーニングの活用方法について学習する。授業内容は、トレーニングの基礎理論や応用について、講義や実技を通して、健康やスポーツ科学への学問的な理解を深めることと各自の健康にかかわる体力向上を目的として展開する。</p>		
到達目標	<p>[一般目標] スポーツの基礎となる体力を高めるためのトレーニングの基礎理論並びに応用についての理解を深め、各自の体力や目的に応じた様々なトレーニングを実践し活用することができる。 さらにスポーツを通じたコミュニケーション能力を身に付ける。</p> <p>[到達目標] 1. 健康・スポーツに関わる基礎知識と各測定方法を理解する。 2. 怪我を防ぐための運動方法を習得する。 3. 体力を高めるためのトレーニング方法を習得する。 4. 各種スポーツのルールを理解する。 5. 各種スポーツを通してコミュニケーション能力を修得する。</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<p>【前期】 新型コロナウイルス対策により、オンライン授業の実施も想定される。オンラインにおいても講義だけではなく、実技も行うので安全面に留意すること。 また、オンラインになっても各自が運動できるようスペースの確保等しておくこと。 授業内容は種目に分けて実施をする。授業実施の順番が変わる可能性もあるので留意すること。 ・(サッカー) *実技の場合のみ ・動きやすい服装で周囲の安全を確保し受講すること。 ・(バレーボール) *実技の場合のみ ・バレーボールシューズを用意すること。 ・運動着を着用すること。 ・安全に注意すること。</p> <p>【後期】 新型コロナウイルス対策により、オンライン授業の実施も想定される。オンラインにおいても講義だけではなく、実技も行うので安全面に留意すること。 また、オンラインになっても各自が運動できるようスペースの確保等しておくこと。 授業内容を5回に分け、実施をする。授業実施の順番が変わる可能性もあるので留意すること。</p>
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	<p>【前期】 成績評価方法：授業への参加状況および授業への取り組み70%、レポート30%を総合的に評価する。</p> <p>【後期】 成績評価方法：原則、以下の2項目から判定します。 ・授業での評価 ・授業内容5回における評価：各20%、合計100%</p>
------	--

評価基準	<p>【前期】 成績評価基準：授業への参加、授業への取り組み、レポート課題を基に、総合的な理解度を見て判定する。</p> <p>【後期】 成績評価基準：課題レポートや授業内での質疑等から総合的な理解度を見て判定する。</p>
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【前期】
 (サッカー) サッカー競技規則 (公益財団法人日本サッカー協会. <https://www.jfa.jp/laws/>)
 (バレーボール) みるみる上達！バレーボール基礎からマスター (学研スポーツブックス)

【後期】
 必要に応じて、授業時に各担当教員から資料を配布する。

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
<p>【授業タイトル】 スポーツ健康医科学推進機構 (Juntendo Administration for Sports, Health and Medical Sciences, JASMS) について</p> <p>【サブ・タイトル】 JASMS概要説明</p> <p>【キーワード】 概要、授業展開、成績評価</p> <p>【到達目標】 JASMS概要を理解する。</p>				
4/11 (月)	鈴木 大地 鯉川なつえ		講義 【注意点】本前期授業はすべて更衣不要	順天堂大学のHPにある、「スポーツ健康医科学推進機構 (JASMS)」を熟読しておくこと。
4/18 (月)	鯉川なつえ 中田 学 島崎 佑		講義 【注意点】本前期授業はすべて更衣不要	シラバス内容を熟読しておくこと。

授業計画	
授業回	担当者
4/11 (月)	鈴木 大地 鯉川なつえ
4/18 (月)	鯉川なつえ 中田 学 島崎 佑

その他	
連絡先・オフィスアワー	<p>[連絡先] 前期担当:鯉川なつえ E-mail: nkoikawa@juntendo.ac.jp [at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。 後期担当:青木 和浩 E-mail: k-aoki@juntendo.ac.jp [at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。</p> <p>[オフィスアワー] 日時: 平日8:30から16:30 場所: 1号館5階 鯉川研究室または青木研究室 備考: 質問はできるだけmailを利用してください。 上記の時間帯は、授業がなければ質問や相談に応じます。ただし、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>
担当教員の実務経験	<p>[担当教員の实務経験]</p> <p>鯉川なつえ: 実業団チームに所属し競技者として活動した実務経験を活かし、女性スポーツの分野およびコーチング現場において求められる知識や技術をわかりやすく解説する。</p> <p>中田 学: Vチャレンジリーグ東京ベルディバレーボールチームにおいてプロバレーボール選手として活動していた経験を生かし、バレーボールの現場において求められる知識や技術をわかりやすく解説する。</p> <p>島崎 佑: プロサッカーチームにおける選手経験を活かし、サッカーにおける基本的な知識や技術をわかりやすく解説する。</p>
備考	<p>【前期】 (サッカー) 専門書およびインターネット等を活用し、サッカーの基本的なルール(知識)の理解を深め、試合を視聴しておく。 (バレーボール) 次回授業に学ぶ項目について事前に調べておく。学んだ内容について振り返り理解を深めておく。 【自己学習(準備学習)に必要な時間】 1時間あたり 予習: 45分, 復習: 45分</p> <p>【後期】 実技においては十分に体調を整えて授業に参加すること。 教室での実習においては当該授業内容のキーワードを事前に学習しておくこと。 講義・実技ともに授業後には実施した内容を振り返り、基礎理論と方法について理解を深めておくこと。 【自己学習(準備学習)に必要な時間】 1時間あたり 予習: 45分, 復習: 45分</p> <p>【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況により、授業計画等の変更をお願いする可能性がある。</p>

4/25 (月)	鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】卓球② 【サブ・タイトル】女性スポーツ； e-learning 【キーワード】女性アスリートの基礎知識 【到達目標】 e-learningによるオンデマンドで女性アスリートの基礎知識を習得する。</p>	<p>オンデマンド 【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>「女性スポーツ」について事前に学習しておくこと。 実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
5/2 (月)	鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】これまでの振り返り 【サブ・タイトル】課題作成と整理 【キーワード】レポート作成 【到達目標】要点をまとめ、自らの意見を文章で表現できる。</p>	<p>レポート作成 【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
5/9 (月)	中田 学 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】バレーボール① 【サブ・タイトル】バレーボール競技の歴史 【キーワード】バレーボール、歴史、オリンピック、ゲーム視聴 【到達目標】バレーボール競技についての成り立ちを知ることが出来る。</p>	<p>講義 【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>バレーボールゲームを何でも良いので視聴をしておく。学んだ内容について振り返り理解を深めておくこと。</p>
5/16 (月)	中田 学 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】バレーボール② 【サブ・タイトル】バレーボールの各スキルの動画指導、ゲーム視聴 ① 【キーワード】バレーボール、ポジション構成、ゲーム視聴 【到達目標】バレーボール競技のポジション、ポジション特性、適正について知ることが出来る。</p>	<p>講義 【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>バレーボールの6人制ゲームの視聴を行う。ポジションについて事前に学習しておく。学んだ内容について振り返り理解を深めておくこと。</p>

5/23 (月)	中田 学 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】バレーボール③</p> <p>【サブ・タイトル】バレーボールの各スキルの動画指導、ゲーム視聴②</p> <p>【キーワード】バレーボール競技の基本スキル、ゲーム視聴</p> <p>【到達目標】バレーボール競技の基本スキルのポイントについて学ぶことができる。ビーチバレー、9人制について知ることができる</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>バレーボールのスキルについて事前に調べておくこと。学んだ内容について振り返り理解を深めておくこと。</p>
5/30 (月)	中田 学 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】バレーボール④</p> <p>【サブ・タイトル】バレーボールの各スキルの動画指導、ゲーム視聴③</p> <p>【キーワード】バレーボール競技の基本スキル、ビーチバレー、9人制、ゲーム視聴</p> <p>【到達目標】バレーボール競技の基本スキルのポイントについて学ぶことができる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>ビーチバレー、9人制について事前に調べておく。学んだ内容について理解を深めておくこと。</p>
6/6 (月)	中田 学 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】これまでの振り返り</p> <p>【サブ・タイトル】課題作成・整理</p> <p>【キーワード】まとめ</p> <p>【到達目標】本授業の到達目標を達する。</p>	<p>レポート作成</p>	<p>学んだ内容について理解を深めておくこと。</p>
6/13 (月)	島崎 佑 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】サッカー①</p> <p>【サブ・タイトル】サッカー競技の歴史とコンディショニングプログラムⅠ</p> <p>【キーワード】サッカー競技の歴史</p> <p>【到達目標】サッカー競技の成り立ちと日本サッカーの歴史について理解する。加えて、トレーニングの基本姿勢について要点を理解する。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>近代サッカー及び日本サッカーの歴史について調べておくこと。</p>

6/20 (月)	島崙 佑 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】サッカー②</p> <p>【サブ・タイトル】サッカー競技のルールとコンディショニングプログラムⅡ</p> <p>【キーワード】サッカー競技のルール</p> <p>【到達目標】サッカーの競技精神及びフェアプレイについて理解する。加えて、コアトレーニングについて要点を理解する。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>サッカーにおけるオフサイドについて調べておくこと。</p>
6/27 (月)	島崙 佑 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】サッカー③</p> <p>【サブ・タイトル】サッカー競技の技術戦術とコンディショニングプログラムⅢ</p> <p>【キーワード】サッカー競技の技術戦術</p> <p>【到達目標】サッカーの原理原則について理解する。加えて、ムーブメントプレパレーションについて要点を理解する。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>最新の試合のハイライトやスポーツニュースなどで国内外のサッカーの試合をチェックしておくこと。</p>
7/4 (月)	島崙 佑 鯉川なつえ	<p>【授業タイトル】サッカー④</p> <p>【サブ・タイトル】サッカー競技におけるスポーツ科学の活用とコンディショニングプログラムⅣ</p> <p>【キーワード】サッカー競技におけるスポーツ科学</p> <p>【到達目標】サッカー競技のコンディショニングや外傷・障害予防に役立てられる科学的知見について理解する。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】本前期授業はすべて更衣不要</p>	<p>日本サッカー協会ホームページに掲載されているメディカルのページを読んでおくこと。</p>

7/11 (月)	島崙 佑 鯉川なつえ	【授業タイトル】これまでの振り返り 【サブ・タイトル】課題作成・整理 【キーワード】まとめ 【到達目標】本授業の到達目標を達する。	レポート作成	学んだ内容について理解を深めておくこと。
9/26 (月)	青木 和浩 吉田 和人 柳谷 登志雄 荻原 朋子 河村 剛光 坂本 彰宏	【授業タイトル】ガイダンス 【サブ・タイトル】授業の概要説明 【キーワード】授業概要、授業展開、成績評価 【到達目標】授業概要・授業展開・成績評価を理解する。	講義 【注意点】更衣不要	シラパスの内容を熟読しておくこと。
10/3 (月)	吉田 和人 青木 和浩	【授業タイトル】卓球① 【サブ・タイトル】コーチングにおける研究成果の応用 【キーワード】卓球、大会での測定、データ、コーチング 【到達目標】卓球の事例から、コーチングにおける研究成果の応用について理解する。	講義 実技 【注意点】実技実施の際には安全に十分注意する。	「スポーツのコーチングにおける研究成果の応用」について事前に学習しておくこと。 実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。
10/17 (月)	吉田 和人 青木 和浩	【授業タイトル】卓球② 【サブ・タイトル】国際競争と交流 【キーワード】卓球、国際競争、国際交流、荻村伊智朗、オープンドアポリシー 【到達目標】卓球などの事例から、スポーツにおける国際競争と交流について理解する。	講義 実技 【注意点】実技実施の際には安全に十分注意する。	「スポーツにおける国際競争と交流」について事前に学習しておくこと。 実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。

10/22 (土)	吉田 和人 青木 和浩	<p>【授業タイトル】卓球③</p> <p>【サブ・タイトル】科学サポートの実際</p> <p>【キーワード】卓球、各年代の代表選手のサポート、オリンピック、対応型競技の技術・戦術</p> <p>【到達目標】卓球の事例から、科学サポートの実際について理解する。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】実技実施の際には安全に十分注意する。</p>	<p>「スポーツの科学サポート」について事前に学習しておくこと。</p> <p>実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
10/24 (月)	河村 剛光 青木 和浩	<p>【授業タイトル】体力とその測定</p> <p>【サブ・タイトル】体力とその測定</p> <p>【キーワード】体力の定義や分類とは？</p> <p>【到達目標】「体力」について事前に学習しておくこと。実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>	<p>更衣不要</p> <p>【注意点】体力の定義や分類を理解し、説明することができる。</p>	<p>Physical Fitness</p> <p>行動を起こす体力</p>
10/31 (月)	河村 剛光 青木 和浩	<p>【授業タイトル】身体組成とデータの評価</p> <p>【サブ・タイトル】身体組成とデータの評価</p> <p>【キーワード】身体組成の測定と評価</p> <p>【到達目標】「身体組成の測定法」について事前に調べておくこと。実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>	<p>更衣不要</p> <p>【注意点】体脂肪率の測定評価方法を理解し、説明することができる。</p>	<p>インピーダンス法</p> <p>体脂肪率</p>
11/7 (月)	河村 剛光 青木 和浩	<p>【授業タイトル】体力測定のまとめ</p> <p>【サブ・タイトル】体力測定のまとめ</p> <p>【キーワード】累加測定とデータの分析・活用</p> <p>【到達目標】「スポーツ健康科学」について事前に学習しておくこと。</p> <p>実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>	<p>更衣不要</p> <p>【注意点】スポーツ健康科学と医学の関わりを理解し、説明することができる。</p>	<p>スポーツ健康科学</p> <p>予防医学</p>

11/21 (月)	荻原 朋子 青木 和浩	<p>【授業タイトル】子どもの体力と運動能力</p> <p>【サブ・タイトル】日本における子どもの体力と運動習慣等の調査結果の傾向と体育授業の動向</p> <p>【キーワード】全国体力運動能力、運動習慣等調査、学習指導要領解説、子どもの体力</p> <p>【到達目標】子どもの体力の現状と日本における体育授業の実態について理解できる。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】講義資料をよく読むこと。</p>	<p>「新体力テスト」について事前に学習しておくこと。 学習した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
11/26 (土)	荻原 朋子 青木 和浩	<p>【授業タイトル】子どもの体力と学校体育</p> <p>【サブ・タイトル】体力向上を目指すための学校体育の取り組みと、アメリカにおける体育授業と教員養成</p> <p>【キーワード】保健体育授業の充実、運動部活動の現状、アメリカにおける体育教師の役割</p> <p>【到達目標】体力向上のための学校体育の取り組みについて理解できる。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】講義資料をよく読むこと。</p>	<p>「体力向上のための取り組み」について事前に学習しておくこと。 学習した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
11/28 (月)	柳谷 登志雄 青木 和浩	<p>【授業タイトル】運動の必要性</p> <p>【サブ・タイトル】運動と健康の関係</p> <p>【キーワード】ロコモティブシンドローム</p> <p>【到達目標】生涯にわたる健康増進のために運動が必要であることを理解する。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】実技実施の際には安全に十分注意する。</p>	<p>「運動と健康の関係」について事前に学習しておくこと。 実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
12/5 (月)	柳谷 登志雄 青木 和浩	<p>【授業タイトル】運動の必要性とその効果</p> <p>【サブ・タイトル】健康増進を目指したトレーニング</p> <p>【キーワード】トレーニングの原則</p> <p>【到達目標】トレーニングの原則を理解し、実践できる知識を習得する。</p>	<p>講義 実技</p> <p>【注意点】実技実施の際には安全に十分注意する。</p>	<p>「健康増進」を目的としたトレーニングを事前に学習しておくこと。 実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>

12/12 (月)	坂本 彰宏 青木 和浩	<p>【授業タイトル】トレーニング① 【サブ・タイトル】ウエイトスタック式マシンを用いた筋力トレーニング 【キーワード】マシンウェイト、トレーニング種目 【到達目標】マシンを用いた筋力トレーニングについて理解し、実践方法を習得できる。</p>	<p>講義 実技 【注意点】トレーニング器具使用の際には安全に十分注意する。</p>	<p>マシントレーニングの種目名や骨格筋の名称について学習しておくこと。 実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
12/19 (月)	坂本 彰宏 青木 和浩	<p>【授業タイトル】トレーニング② 【サブ・タイトル】フリーウェイトや自重を用いた筋力トレーニング 【キーワード】筋力、筋パワー、筋持久力 【到達目標】フリーウェイト・自重を用いた筋力トレーニングについて理解し実践方法を習得できる。</p>	<p>講義 実技 【注意点】リフティングテクニックを習得し、怪我を誘発する動きを避ける。</p>	<p>自重を活用したトレーニング種目について事前に学習しておくこと。 実施した内容を振り返り理解を深めておくこと。</p>
1/13 (金)	青木 和浩	<p>【授業タイトル】後期振り返り 【サブ・タイトル】課題作成・整理 【キーワード】 【到達目標】本授業の到達目標を達する。</p>		<p>これまでの授業内容を整理する</p>

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	医学研究入門 I	授業形態	講義
英語科目名	Introduction to Medical Research I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期	単位数	1単位
代表教員	櫻井 隆	ナンバリング	
担当教員	櫻井 隆、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>医学の進歩が、基礎および臨床医学における様々な研究成果をベースにもたらされたことは周知の事実である。また、今後医学が発展するためにも過去と同様に研究の蓄積が必要である。この事実を正しく理解しておくことは、将来医師として診療や研究に携わる者にとっては必須である。生命科学と基礎医学・臨床医学は、密接に関連し発展している。医学研究がどのようにおこなわれ、それが実際の医療・政策等にどのように応用されるかを知ることで、生命科学・基礎医学の視点で臨床医学を学ぶことの意味と、研究を通して医学の発展に貢献することの重要性を理解する。</p> <p>○ 基礎医学と臨床医学が両輪となって医学が発展しており、研究は医学の発展と医療の高度化を担うものである。研究が最先端医療や医師としてのキャリアに不可欠であることを医師・医学研究者の体験を通して理解する。講義により医師の多様なキャリア・社会貢献の形を知る。</p> <p>○ 社会の中で医学研究・医療を通して医師が果たすべき役割を理解する。医学の将来を展望し、研究による医学の発展・医療の高度化への貢献や医学上の重要課題を解決するリーダーとなることの重要性を認識する。</p> <p>○ 講義を通じて、順天堂大学の医師・研究医養成のシステムとキャリアパスを理解し、医師・研究医、Physician Scientistとして社会に貢献する自分の将来と医学部6年間にすべきことを考える。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <p>医師の多様なキャリア・社会貢献の形を知る。 社会の中で医学研究・医療を通して医師が果たすべき役割を理解する。 研究による医学の発展・医療の高度化への貢献や医学上の重要課題を解決するリーダーとなることの重要性を認識する。</p> <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医学の発展・医療の高度化における医学研究の意義について説明できる。 2. 医師の多様なキャリアパス、社会貢献の形について述べることができる。 3. 順天堂大学の医師・研究医養成のシステムについて説明できる。 4. 自分の将来の目標のために医学部6年間に何をなすべきかについて述べるができる。 5. 検索した文献を正しく引用し、ルールに従ってレポートを作成できる。 		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<p>☆ あらかじめ指示された予習を行い、授業中に質問するなど、積極的に授業に参加すること。</p> <p>☆ 課題・小テスト、授業内容についての感想、レポート（文体や形式、文献引用や図表的確さ等）と期限内提出が評価される。期日後の提出は認められないことに注意すること（詳細は授業で説明される）。</p> <p>☆ マークシート形式の「授業評価票」を用いて出席の確認が行われる。講義終了直後に授業会場（教室等）で票を提出すること。事後の提出は受理されないことに注意すること。</p>
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法：課題の提出・小テスト（20%）、各授業についての感想（30%）、レポート評価（50%）による。
------	--

評価基準	成績評価基準：上記の評価等を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---------------------------------

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（レポート等）に関しては、講義中または講義後にフィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

<p>参考書：流れがわかる研究トレーニング How To - 医系大学院・研究留学、いつどこで何をする？ 佐藤雅昭、草場鉄周、富塚太郎 著、メディカルレビュー社</p>
--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
<p>その他</p>				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 櫻井 隆: tsakurai * juntendo. ac. jp (* を@ に修正して下さい)</p> <p>授業の前後の時間、また、随時Eメールで質問等を受け付ける。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>☆ 4月27日の授業における指示に従い、与えられたテーマについてレポートにまとめ提出する。J-PASS を用い Word ファイルにて提出すること。締切：5月11日（水）17:00 提出されたレポートの内容を 7月6日の授業内で教材として使用することがある。個人情報とはわからないように処理するが、レポートの内容を教材に使用してほしくない場合は、レポートの最後に「※（理由）のため教材使用不可。」と理由及び教材への使用拒否の意思を明示すること。</p> <p>☆ 6月1日の授業の予習として、以下の論文を読んでおくこと。 Shigemura J, Tanigawa T, Saito I, Nomura S. Psychological distress in workers at the Fukushima nuclear power plants. JAMA. 2012 Aug 15;308(7):667-9.</p> <p>☆ 7月6日のレポート評価のフィードバックを生かし、別途指示されるテーマについてレポートを作成し、提出する。分量はA4用紙10枚以内（表紙除く）とする。最低1件は参考資料からの引用をおこなうこと。その際、いたしかたない場合を除いて、Webページからの引用は避けること。締切：7月20日（水）18:30（J-PASS を用いて教務課に提出）</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況により、授業計画等を変更する可能性がある。</p>			
4/13 水 5限	薬理学講座 櫻井 隆	<p>【授業タイトル】 医学研究の意義 【サブ・タイトル】 医学の発展・医療の高度化と研究 【キーワード】 医学部カリキュラム、初期臨床研修、大学院、Physician Scientist、基礎研究医養成プログラム 【到達目標】 順天堂大学における医師・研究医、Physician Scientist養成のシステムとキャリアパスを述べることができる。</p>	講義	<p>順天堂大学ホームページで大学院医学研究科博士課程、初期臨床研修の概要について調べておくこと。 http://www.juntendo.ac.jp/kenkyui/ 及び http://tsunagu-project.umin.jp の内容についても確認しておくこと。</p>
4/20 水 5限	一般教育研究室 田中 和廣	<p>【授業タイトル】 医学情報-1 情報の活用と情報検索 【サブ・タイトル】 研究における情報の活用-講義 【キーワード】 情報の信憑性、ネット情報、情報検索 【到達目標】 ネット情報の信憑性を理解し、信頼できる情報の検索方法を習得する。論文等の引用を正しく理解する。</p>	講義	<p>授業に関する復習課題（小テスト）を行う。</p>

4/20 水 5限	さくらキャンパス学術メディアセンター 功刀 みさ	【授業タイトル】医学情報-1 情報の活用と情報検索 【サブ・タイトル】研究における情報の活用-実習 【キーワード】学術メディアセンター・データベース利用法 【到達目標】信頼できる情報の検索方法を習得する。	実習	学術メディアセンター・データベースを利用して、復習課題を行う。
4/27 水 5限	衛生学・公衆衛生学講座（衛生学） 松川 岳久 一般教育研究室 和田 麻理	【授業タイトル】医学情報-2 医学生のためのレポート作成指南-1 【サブ・タイトル】情報に基づいて論旨を展開する 【授業タイトル】医学情報-2 剽窃チェック支援ツール「Turnitin」の使い方 【サブ・タイトル】課題レポートの類似チェック 【キーワード】テクニカルライティング、論証レポート、実験レポート、引用、Turnitin feedback studio 【到達目標】大学生として知的生産活動の成果物である基本的なレポートの書き方を身に着ける。	講義	レポート課題を課すので、講義内容に沿った構成でレポートを作成すること。
5/11 水 5限	乳腺腫瘍学講座 齊藤 光江	【授業タイトル】最先端医療-1 乳腺腫瘍学の魅力 【サブ・タイトル】がん治療最先端の開発 【キーワード】乳癌、ガイドライン、がんの支持療法 【到達目標】研究は医学の発展と医療の高度化を担うものであることを理解する。	講義 【注意点】対話形式で行なう。	将来、医療や社会の大きな問題を解決するためには、どんなことを心がけて修練を積むべきか考えて来ること。
5/18 水 5限	生化学第一講座 横溝 岳彦	【授業タイトル】最先端研究-1 「あぶら」が伝えるシグナル伝達 【サブ・タイトル】未知分子の機能に迫る 【キーワード】生理活性脂質、アスピリン、受容体、遺伝子欠損マウス 【到達目標】医療の進歩における基礎医学研究の重要性や醍醐味を理解する。	講義 【注意点】講義中に、「アスピリン」について質問する。	「アスピリン」という薬の薬効、作用機序、副作用について勉強しておくこと。WEB検索でも良い。

5/25 水 5限	神経学講座 常深 泰司 上野 真一	<p>【授業タイトル】最先端医療-2 神経変性疾患の治療と研究 【サブ・タイトル】神経難病治療につなげる基礎研究</p> <p>【授業タイトル】最先端医療-2 神経変性疾患の治療と研究 【サブ・タイトル】若手研究者のプレゼンテーション・質疑応答</p> <p>【キーワード】パーキンソン病、神経難病、分子遺伝学、分子生物学 【到達目標】医学研究は臨床医学（診断、治療）に連続するものであることを理解する。</p>	講義	パーキンソン病をはじめとする神経難病はどのようなものかを調べる。
6/1 水 5限	衛生学・公衆衛生学講座 (公衆衛生学) 谷川 武	<p>【授業タイトル】最先端研究-2 集団の健康リスクを明らかにする 【サブ・タイトル】疫学という診断方法から見た社会の健康問題 【キーワード】疫学、社会医学、集団の健康、PTSD、心の健康 【到達目標】疫学について概説できる。特定集団の健康問題を考える視点の重要性について説明できる。</p>	講義	疫学とは何か、事前に各自調べておく。前ページ自己学習欄に指定された論文を読んでおいて下さい。
6/15 水 5限	神経生物学・形態学講座 小池 正人	<p>【授業タイトル】最先端研究-3 細胞の病気 【サブ・タイトル】オルガネラ異常と神経変性疾患 【キーワード】小胞体、ゴルジ装置、リソソーム、オートファジー、ミトコンドリア、光学顕微鏡、電子顕微鏡 【到達目標】①医学における細胞生物学の意義について理解する。 ②オルガネラを観察する様々な方法について理解する。</p>	講義	左記のオルガネラの構造と機能について「細胞生物学」で学習した内容を復習し、疑問に思ったことをまとめておくこと。
6/22 水 5限	革新的医療技術開発研究センター 飛田 護邦	<p>【授業タイトル】色々な医師のキャリアパス 【サブ・タイトル】多様な医師のキャリアパスの紹介（とくに医療行政と研究開発に携わる医師について）</p> <p>【授業タイトル】薬害の歴史と研究開発について 【サブ・タイトル】我が国の薬害の歴史と研究開発の流れの紹介</p> <p>【キーワード】厚労省、PMDA、薬害、研究に関連する法令、治験、医師のキャリアパス 【到達目標】・薬害の歴史を述べることができる。 ・治験とは？をイメージできる。</p>	講義	Web等で、「PMDA」について検索し調べておくこと。

6/29 水 5限	輸血学研究室 安藤 純	<p>【授業タイトル】最先端医療-3 トランスレーショナルリサーチ 【サブ・タイトル】細胞療法</p> <p>【授業タイトル】最先端医療-3 トランスレーショナルリサーチ 【サブ・タイトル】若手研究者のプレゼンテーション・質疑応答</p> <p>【キーワード】CAR-T細胞、遺伝子治療、細胞療法 【到達目標】トランスレーショナルリサーチの重要性を理解する。</p>	講義	トランスレーショナルリサーチの問題点を調べておくこと。
7/6 水 5限	衛生学・公衆衛生学講座 (衛生学) 松川 岳久	<p>【授業タイトル】医学情報-3 医学生のためのレポート作成指南-2 【サブ・タイトル】レポート評価のフィードバック 【キーワード】テクニカルライティング、論証レポート、実験レポート 【到達目標】大学生として知的生産活動の成果物である基本的なレポートの書き方を身に着ける。</p>	講義	課題として作成したレポートについて、実例を挙げて改善点を指摘する。自分の作成したレポートについて、いまいちど目を通しておくこと。
7/13 水 5限	代謝内分泌学講座 綿田 裕孝	<p>【授業タイトル】最先端医療-4 糖尿病の病態解明と新規治療法の開拓 【サブ・タイトル】糖尿病</p> <p>【授業タイトル】最先端医療-4 糖尿病の病態解明と新規治療法の開拓 【サブ・タイトル】若手研究者のプレゼンテーション・質疑応答</p> <p>【キーワード】糖尿病、疾患感受性遺伝子、膵β細胞発生分化、転写因子、リプログラミング 【到達目標】研究は医学の発展と医療の高度化を担うものであることを理解する。</p>	講義	別途指示する項目について事前に調べておくこと。

<p>7/20 水 5限</p>	<p>基礎研究医養成プログラム 教員 香里 伝田 高木 美幸</p>	<p>【授業タイトル】レポート作成 【サブ・タイトル】Turnitin を利用した課題レポートの類似チェックと修正 【キーワード】Turnitin feedback studio 【到達目標】Turnitin を利用した類似チェックとそれに基づいたレポートの修正ができる。</p>	<p>実習</p>	<p>Turnitinの使用方法について復習しておくこと。</p>

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Bussinger Clarence Ray	ナンバリング	
担当教員	Bussinger Clarence Ray、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This class aims at improving receptive skills of English, e.g., listening and reading skills. Although the practical purpose of this class is to raise the score of TOEFL ITP and iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as dictation, shadowing, extensive reading, slash reading, skimming, and scanning.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able to improve receptive skills of English, e.g., listening and reading skills, so that students will be able to raise the score of TOEFL ITP and iBT.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to deeply understand the TOEFL ITP and iBT and test-taking strategies. 2. Students will be able to make valuable preparation for and practice of the TOEFL tests. 3. Students will be able to understand listening strategies and how to practice them. 4. Students will be able to comprehensively understand how written and spoken English are logically organized. 5. Students will be able to increase English vocabulary through the study of vocabulary lists.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ The class levels will be determined based on TOEFL ITP scores. ・ Students must attend more than 2/3 of the classes to take the midterm and final examinations. ・ The actual class activities may vary in each class. The weekly program is shown as a typical example. ・ 3分の1以上欠席すると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法 : Items to be graded include attendance, midterm and final exams, assignment submissions, and class participation. The relative weights of the graded items may vary in each class.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

Information of the teaching materials will be announced during the class.

その他	
連絡先・オフィスアワー	Instructors in each class will give information about their office hours in class. 各クラス担当教員が授業内で説明。
担当教員の実務経験	-
備考	<p>・ Students are expected to engage in extensive reading after school hours. The books to read will be specified and fundamental reading strategies will be instructed during the class.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p> <p>・ Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性はある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP</p> <p>【サブ・タイトル】 TOEFL ITP</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Course Introduction 1</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the activities included in each class</p> <p>【キーワード】 In-class assignment</p> <p>【到達目標】 Understand the structure of the class</p> <p>【授業タイトル】 Course Introduction 2</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the grading and homework system</p> <p>【キーワード】 Homework</p> <p>【到達目標】 Understand the requirements of the course</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Review in-class assignment structure ・ Review homework system

4/28 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure 【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
5/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 2 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure 【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
5/19 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 3 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically. 【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
5/26 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	lecture 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand listening strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
6/9 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized 【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
6/16 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

6/30 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 10 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
7/7 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 11 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Increase vocabulary • Understand test-taking strategies
7/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Learning through praxis • Extensive reading

7/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 11 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
9/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 12 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 15 【サブ・タイトル】 Focus on details 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening test-taking strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 13 【サブ・タイトル】 Slash reading 【キーワード】 Bottom-up reading 【到達目標】 Understand reading test-taking strategies</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
10/6 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 16 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 14 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

10/13 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 17 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 15 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
10/20 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 18 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 19 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
10/27 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 20 【サブ・タイトル】 Implicit information 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 16 【サブ・タイトル】 Passage coming after 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Understand listening strategies • Understand reading strategies
11/10 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 21 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 17 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand how written English is logically organized</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

11/24 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 22 【サブ・タイトル】 Explicit information 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 18 【サブ・タイトル】 Passage coming before 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Understand reading strategies 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
12/1 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 1 【サブ・タイトル】 Review of previous classes 【キーワード】 Time management 【到達目標】 Review strategies and techniques learned in class 【授業タイトル】 Review 2 【サブ・タイトル】 Information about the TOEFL ITP test 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Reflect on attitudes toward learning	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
12/8 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 3 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 4 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
12/15 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 5 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 6 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading

12/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 7 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 8 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills 【到達目標】 Review reading strategies and techniques learned in class	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive and intensive listening
1/5 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 9 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 10 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Understand how to increase listening skills • Understand how to increase reading skills
1/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 TOEFL ITP 1 【サブ・タイトル】 Actual test taking 1 【キーワード】 Listening section 【到達目標】 Review listening strategies and techniques learned in class 【授業タイトル】 TOEFL ITP 2 【サブ・タイトル】 Actual test taking 2 【キーワード】 Reading section	Actual test taking 【注意点】 Make sure you will concentrate on listening and reading throughout the test	Extensive and intensive listening

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	
担当教員	Grow, Deborah Anne、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This class aims at improving receptive skills of English, e.g., listening and reading skills. Although the practical purpose of this class is to raise the score of TOEFL ITP and iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as dictation, shadowing, extensive reading, slash reading, skimming, and scanning.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able to improve receptive skills of English, e.g., listening and reading skills, so that students will be able to raise the score of TOEFL ITP and iBT.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to deeply understand the TOEFL ITP and iBT and test-taking strategies. 2. Students will be able to make valuable preparation for and practice of the TOEFL tests. 3. Students will be able to understand listening strategies and how to practice them. 4. Students will be able to comprehensively understand how written and spoken English are logically organized. 5. Students will be able to increase English vocabulary through the study of vocabulary lists.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ The class levels will be determined based on TOEFL ITP scores. ・ Students must attend more than 2/3 of the classes to take the midterm and final examinations. ・ The actual class activities may vary in each class. The weekly program is shown as a typical example. ・ 3分の1以上欠席すると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。
-------------	--

成績評価の方法	
---------	--

評価方法	成績評価方法 : Items to be graded include attendance, midterm and final exams, assignment submissions, and class participation. The relative weights of the graded items may vary in each class.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

Information of the teaching materials will be announced during the class.

その他	
連絡先・オフィスアワー	Instructors in each class will give information about their office hours in class. 各クラス担当教員が授業内で説明。
担当教員の実務経験	-
備考	<p>・ Students are expected to engage in extensive reading after school hours. The books to read will be specified and fundamental reading strategies will be instructed during the class.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p> <p>・ Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性はある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP</p> <p>【サブ・タイトル】 TOEFL ITP</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Course Introduction 1</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the activities included in each class</p> <p>【キーワード】 In-class assignment</p> <p>【到達目標】 Understand the structure of the class</p> <p>【授業タイトル】 Course Introduction 2</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the grading and homework system</p> <p>【キーワード】 Homework</p> <p>【到達目標】 Understand the requirements of the course</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Review in-class assignment structure ・ Review homework system

4/28 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure 【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
5/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 2 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure 【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
5/19 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 3 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically. 【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
5/26 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	lecture 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand listening strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
6/9 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized 【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
6/16 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

6/30 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 10 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
7/7 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 11 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Increase vocabulary • Understand test-taking strategies
7/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Learning through praxis • Extensive reading

7/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 11 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
9/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 12 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 15 【サブ・タイトル】 Focus on details 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening test-taking strategies 【授業タイトル】 Reading activity 13 【サブ・タイトル】 Slash reading 【キーワード】 Bottom-up reading 【到達目標】 Understand reading test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
10/6 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 16 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 14 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

10/13 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 17 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 15 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
10/20 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 18 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically. 【授業タイトル】 Listening activity 19 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
10/27 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 20 【サブ・タイトル】 Implicit information 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 16 【サブ・タイトル】 Passage coming after 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Understand listening strategies • Understand reading strategies
11/10 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 21 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized 【授業タイトル】 Reading activity 17 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand how written English is logically organized	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

11/24 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 22 【サブ・タイトル】 Explicit information 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 18 【サブ・タイトル】 Passage coming before 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Understand reading strategies	Extensive listening
12/1 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Review 1 【サブ・タイトル】 Review of previous classes 【キーワード】 Time management 【到達目標】 Review strategies and techniques learned in class</p> <p>【授業タイトル】 Review 2 【サブ・タイトル】 Information about the TOEFL ITP test 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Reflect on attitudes toward learning</p>	Learning through praxis	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
12/8 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Review 3 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills</p> <p>【授業タイトル】 Review 4 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills</p>	Learning through praxis	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
12/15 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Review 5 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills</p> <p>【授業タイトル】 Review 6 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills</p>	Learning through praxis	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading

12/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 7 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 8 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills 【到達目標】 Review reading strategies and techniques learned in class	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive and intensive listening
1/5 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 9 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 10 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Understand how to increase listening skills • Understand how to increase reading skills
1/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 TOEFL ITP 1 【サブ・タイトル】 Actual test taking 1 【キーワード】 Listening section 【到達目標】 Review listening strategies and techniques learned in class 【授業タイトル】 TOEFL ITP 2 【サブ・タイトル】 Actual test taking 2 【キーワード】 Reading section	Actual test taking 【注意点】 Make sure you will concentrate on listening and reading throughout the test	Extensive and intensive listening

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	布施木 景子	ナンバリング	
担当教員	布施木 景子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This class aims at improving receptive skills of English, e.g., listening and reading skills. Although the practical purpose of this class is to raise the score of TOEFL ITP and iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as dictation, shadowing, extensive reading, slash reading, skimming, and scanning.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able to improve receptive skills of English, e.g., listening and reading skills, so that students will be able to raise the score of TOEFL ITP and iBT.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to deeply understand the TOEFL ITP and iBT and test-taking strategies. 2. Students will be able to make valuable preparation for and practice of the TOEFL tests. 3. Students will be able to understand listening strategies and how to practice them. 4. Students will be able to comprehensively understand how written and spoken English are logically organized. 5. Students will be able to increase English vocabulary through the study of vocabulary lists.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ The class levels will be determined based on TOEFL ITP scores. ・ Students must attend more than 2/3 of the classes to take the midterm and final examinations. ・ The actual class activities may vary in each class. The weekly program is shown as a typical example. ・ 3分の1以上欠席すると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法 : Items to be graded include attendance, midterm and final exams, assignment submissions, and class participation. The relative weights of the graded items may vary in each class.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

Information of the teaching materials will be announced during the class.

その他	
連絡先・オフィスアワー	Instructors in each class will give information about their office hours in class. 各クラス担当教員が授業内で説明。
担当教員の実務経験	-
備考	<p>・ Students are expected to engage in extensive reading after school hours. The books to read will be specified and fundamental reading strategies will be instructed during the class.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p> <p>・ Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性はある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP</p> <p>【サブ・タイトル】 TOEFL ITP</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Course Introduction 1</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the activities included in each class</p> <p>【キーワード】 In-class assignment</p> <p>【到達目標】 Understand the structure of the class</p> <p>【授業タイトル】 Course Introduction 2</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the grading and homework system</p> <p>【キーワード】 Homework</p> <p>【到達目標】 Understand the requirements of the course</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Review in-class assignment structure ・ Review homework system

4/28 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure 【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
5/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 2 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure 【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
5/19 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 3 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically. 【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
5/26 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	lecture 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand listening strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
6/9 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized 【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
6/16 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

6/30 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 10 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
7/7 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 11 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Increase vocabulary • Understand test-taking strategies
7/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Learning through praxis • Extensive reading

7/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 11 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
9/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 12 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<p>To be announced during class</p>
9/29 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 15 【サブ・タイトル】 Focus on details 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening test-taking strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 13 【サブ・タイトル】 Slash reading 【キーワード】 Bottom-up reading 【到達目標】 Understand reading test-taking strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
10/6 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 16 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 14 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

10/13 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 17 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 15 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
10/20 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 18 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 19 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
10/27 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 20 【サブ・タイトル】 Implicit information 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 16 【サブ・タイトル】 Passage coming after 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Understand listening strategies • Understand reading strategies
11/10 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 21 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 17 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand how written English is logically organized</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

11/24 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 22 【サブ・タイトル】 Explicit information 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 18 【サブ・タイトル】 Passage coming before 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Understand reading strategies 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
12/1 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 1 【サブ・タイトル】 Review of previous classes 【キーワード】 Time management 【到達目標】 Review strategies and techniques learned in class 【授業タイトル】 Review 2 【サブ・タイトル】 Information about the TOEFL ITP test 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Reflect on attitudes toward learning	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
12/8 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 3 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 4 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
12/15 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 5 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 6 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading

12/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 7 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 8 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills 【到達目標】 Review reading strategies and techniques learned in class	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive and intensive listening
1/5 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 9 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 10 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Understand how to increase listening skills • Understand how to increase reading skills
1/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 TOEFL ITP 1 【サブ・タイトル】 Actual test taking 1 【キーワード】 Listening section 【到達目標】 Review listening strategies and techniques learned in class 【授業タイトル】 TOEFL ITP 2 【サブ・タイトル】 Actual test taking 2 【キーワード】 Reading section	Actual test taking 【注意点】 Make sure you will concentrate on listening and reading throughout the test	Extensive and intensive listening

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	
担当教員	Grow, Deborah Anne、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This class aims at improving receptive skills of English, e.g., listening and reading skills. Although the practical purpose of this class is to raise the score of TOEFL ITP and iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as dictation, shadowing, extensive reading, slash reading, skimming, and scanning.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able to improve receptive skills of English, e.g., listening and reading skills, so that students will be able to raise the score of TOEFL ITP and iBT.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to deeply understand the TOEFL ITP and iBT and test-taking strategies. 2. Students will be able to make valuable preparation for and practice of the TOEFL tests. 3. Students will be able to understand listening strategies and how to practice them. 4. Students will be able to comprehensively understand how written and spoken English are logically organized. 5. Students will be able to increase English vocabulary through the study of vocabulary lists.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ The class levels will be determined based on TOEFL ITP scores. ・ Students must attend more than 2/3 of the classes to take the midterm and final examinations. ・ The actual class activities may vary in each class. The weekly program is shown as a typical example. ・ 3分の1以上欠席すると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。
-------------	--

成績評価の方法	
---------	--

評価方法	成績評価方法 : Items to be graded include attendance, midterm and final exams, assignment submissions, and class participation. The relative weights of the graded items may vary in each class.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

Information of the teaching materials will be announced during the class.

その他	
連絡先・オフィスアワー	Instructors in each class will give information about their office hours in class. 各クラス担当教員が授業内で説明。
担当教員の実務経験	-
備考	<p>・ Students are expected to engage in extensive reading after school hours. The books to read will be specified and fundamental reading strategies will be instructed during the class.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p> <p>・ Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性はある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP</p> <p>【サブ・タイトル】 TOEFL ITP</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Course Introduction 1</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the activities included in each class</p> <p>【キーワード】 In-class assignment</p> <p>【到達目標】 Understand the structure of the class</p> <p>【授業タイトル】 Course Introduction 2</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the grading and homework system</p> <p>【キーワード】 Homework</p> <p>【到達目標】 Understand the requirements of the course</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Review in-class assignment structure ・ Review homework system

4/28 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure 【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
5/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 2 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure 【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
5/19 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 3 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically. 【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
5/26 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	lecture 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand listening strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
6/9 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized 【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
6/16 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

6/30 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 10 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
7/7 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 11 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Increase vocabulary • Understand test-taking strategies
7/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Learning through praxis • Extensive reading

7/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 11 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
9/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 12 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 15 【サブ・タイトル】 Focus on details 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening test-taking strategies 【授業タイトル】 Reading activity 13 【サブ・タイトル】 Slash reading 【キーワード】 Bottom-up reading 【到達目標】 Understand reading test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
10/6 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 16 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 14 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

10/13 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 17 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 15 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
10/20 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 18 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 19 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
10/27 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 20 【サブ・タイトル】 Implicit information 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 16 【サブ・タイトル】 Passage coming after 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Understand listening strategies • Understand reading strategies
11/10 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 21 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 17 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand how written English is logically organized</p>	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

11/24 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 22 【サブ・タイトル】 Explicit information 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 18 【サブ・タイトル】 Passage coming before 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Understand reading strategies 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
12/1 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 1 【サブ・タイトル】 Review of previous classes 【キーワード】 Time management 【到達目標】 Review strategies and techniques learned in class 【授業タイトル】 Review 2 【サブ・タイトル】 Information about the TOEFL ITP test 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Reflect on attitudes toward learning	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
12/8 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 3 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 4 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
12/15 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 5 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 6 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading

12/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 7 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 8 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills 【到達目標】 Review reading strategies and techniques learned in class	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive and intensive listening
1/5 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 9 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 10 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Understand how to increase listening skills • Understand how to increase reading skills
1/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 TOEFL ITP 1 【サブ・タイトル】 Actual test taking 1 【キーワード】 Listening section 【到達目標】 Review listening strategies and techniques learned in class 【授業タイトル】 TOEFL ITP 2 【サブ・タイトル】 Actual test taking 2 【キーワード】 Reading section	Actual test taking 【注意点】 Make sure you will concentrate on listening and reading throughout the test	Extensive and intensive listening

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL I	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL I	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Joseph Drakos	ナンバリング	
担当教員	Joseph Drakos、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This class aims at improving receptive skills of English, e.g., listening and reading skills. Although the practical purpose of this class is to raise the score of TOEFL ITP and iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as dictation, shadowing, extensive reading, slash reading, skimming, and scanning.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able to improve receptive skills of English, e.g., listening and reading skills, so that students will be able to raise the score of TOEFL ITP and iBT.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to deeply understand the TOEFL ITP and iBT and test-taking strategies. 2. Students will be able to make valuable preparation for and practice of the TOEFL tests. 3. Students will be able to understand listening strategies and how to practice them. 4. Students will be able to comprehensively understand how written and spoken English are logically organized. 5. Students will be able to increase English vocabulary through the study of vocabulary lists.</p>		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ The class levels will be determined based on TOEFL ITP scores. ・ Students must attend more than 2/3 of the classes to take the midterm and final examinations. ・ The actual class activities may vary in each class. The weekly program is shown as a typical example. ・ 3分の1以上欠席すると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。
-------------	--

成績評価の方法	
---------	--

評価方法	成績評価方法 : Items to be graded include attendance, midterm and final exams, assignment submissions, and class participation. The relative weights of the graded items may vary in each class.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

Information of the teaching materials will be announced during the class.

その他	
連絡先・オフィスアワー	Instructors in each class will give information about their office hours in class. 各クラス担当教員が授業内で説明。
担当教員の実務経験	-
備考	<p>・ Students are expected to engage in extensive reading after school hours. The books to read will be specified and fundamental reading strategies will be instructed during the class.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、復習：45分</p> <p>・ Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性はある。</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP</p> <p>【サブ・タイトル】 TOEFL ITP</p> <p>【キーワード】 Introduction</p> <p>【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Course Introduction 1</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the activities included in each class</p> <p>【キーワード】 In-class assignment</p> <p>【到達目標】 Understand the structure of the class</p> <p>【授業タイトル】 Course Introduction 2</p> <p>【サブ・タイトル】 Introduction to the grading and homework system</p> <p>【キーワード】 Homework</p> <p>【到達目標】 Understand the requirements of the course</p>	<p>Guidance</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Review in-class assignment structure ・ Review homework system

4/28 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure 【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
5/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 2 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand the TOEFL listening section structure 【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand the TOEFL reading section structure	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
5/19 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 3 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically. 【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
5/26 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	lecture 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand listening strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
6/9 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized 【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
6/16 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 Focus on main topics 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 Vocabulary buildup 【キーワード】 Vocabulary 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

6/30 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 10 【サブ・タイトル】 Dictation 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 Skimming 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
7/7 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 11 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Increase vocabulary • Understand test-taking strategies
7/14 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary 【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Learning through praxis • Extensive reading

7/21 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 11 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
9/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 Shadowing 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Increase vocabulary</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 12 【サブ・タイトル】 Scanning 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand test-taking strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<p>To be announced during class</p>
9/29 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 15 【サブ・タイトル】 Focus on details 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening test-taking strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 13 【サブ・タイトル】 Slash reading 【キーワード】 Bottom-up reading 【到達目標】 Understand reading test-taking strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
10/6 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	<p>【授業タイトル】 Listening activity 16 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 14 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies</p>	<p>Learning through praxis</p> <p>【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

10/13 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 17 【サブ・タイトル】 Note-taking 【キーワード】 Listening strategy 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 15 【サブ・タイトル】 Paragraph structure 【キーワード】 Reading strategy 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
10/20 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Listening activity 18 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically. 【授業タイトル】 Listening activity 19 【サブ・タイトル】 Lecture by an invited speaker on medical English 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, and write the summary and opinions in English logically.	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading
10/27 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 20 【サブ・タイトル】 Implicit information 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 16 【サブ・タイトル】 Passage coming after 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Understand listening strategies • Understand reading strategies
11/10 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 21 【サブ・タイトル】 Focus on discourse markers 【キーワード】 Top-down listening 【到達目標】 Understand how spoken English is logically organized 【授業タイトル】 Reading activity 17 【サブ・タイトル】 Passage structure 【キーワード】 Top-down reading 【到達目標】 Understand how written English is logically organized	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Preparation for a vocabulary quiz • Extensive reading

11/24 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Listening activity 22 【サブ・タイトル】 Explicit information 【キーワード】 Bottom-up listening 【到達目標】 Understand listening strategies 【授業タイトル】 Reading activity 18 【サブ・タイトル】 Passage coming before 【キーワード】 Guessing based on the passage 【到達目標】 Understand reading strategies	Understand reading strategies 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive listening
12/1 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 1 【サブ・タイトル】 Review of previous classes 【キーワード】 Time management 【到達目標】 Review strategies and techniques learned in class 【授業タイトル】 Review 2 【サブ・タイトル】 Information about the TOEFL ITP test 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Reflect on attitudes toward learning	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
12/8 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 3 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 4 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading
12/15 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 5 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 6 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Extensive listening • Extensive reading

12/22 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 7 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 8 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills 【到達目標】 Review reading strategies and techniques learned in class	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	Extensive and intensive listening
1/5 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 Review 9 【サブ・タイトル】 Focus on listening weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up listening 【到達目標】 Understand how to increase listening skills 【授業タイトル】 Review 10 【サブ・タイトル】 Focus on reading weakness 【キーワード】 Top-down and bottom-up reading 【到達目標】 Understand how to increase reading skills	Learning through praxis 【注意点】 Actual activities will differ depending on the class.	<ul style="list-style-type: none"> • Understand how to increase listening skills • Understand how to increase reading skills
1/12 (木)	A: Clay Bussinger B: Deborah Grow C: 布施木 景 子 D: Deborah Grow E: Joseph Drakos	【授業タイトル】 TOEFL ITP 1 【サブ・タイトル】 Actual test taking 1 【キーワード】 Listening section 【到達目標】 Review listening strategies and techniques learned in class 【授業タイトル】 TOEFL ITP 2 【サブ・タイトル】 Actual test taking 2 【キーワード】 Reading section	Actual test taking 【注意点】 Make sure you will concentrate on listening and reading throughout the test	Extensive and intensive listening

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL II	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Andrew Mason	ナンバリング	
担当教員	Andrew Mason、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This course will focus on developing the productive skills of speaking and writing. Although it is intended to prepare students for taking the TOEFL, especially TOEFL iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as writing short essays and paragraphs, making short speeches, having discussions, and making presentations.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future medical practices.</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able (1) to increase students' speaking abilities, especially focusing on presentation and discussion and (2) to improve the students' writing abilities, especially focusing on essay writing and slide making for presentations.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to increase English vocabulary through the study of a vocabulary list. 2. Students will be able to speak and write English logically and without transcript. 3. Students will be able to express opinions and ideas effectively.</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ This class will be divided based on the results of students' TOEFL scores. The actual activities of each class will vary based on the needs of students. ・ 演習への積極的な参加が求められる。 ・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法 : Evaluation will be based on student attendance, participation, exams and overall performance.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
To be announced in class.

【参考教科書】
To be announced in class.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明。 Instructors in each class will give information about their office hours in class.			
担当教員の実務経験	—			
備考	<p>Students will need to prepare for each lesson by studying the given topics in advance. Students must also be prepared to share their views and opinions on various topics covered. Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分， 復習：45分</p>			
4/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Structure of TOEFL iBT 1、Structure of TOEFL iBT 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	To be announced during class

4/28 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/19 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/26 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/9 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/16 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

<p>6/30 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>
<p>7/7 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>
<p>7/14 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>

7/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Lesson 14-1、Lesson 14-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 "To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English."	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 15-1、Lesson 15-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/6 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 16-1、Lesson 16-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

10/13 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 17-1, Lesson 17-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/20 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 18-1, Lesson 18-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/27 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 19-1, Lesson 19-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
11/10 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 20-1, Lesson 20-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

11/24 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 21-1、Lesson 21-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/1 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 22-1、Lesson 22-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/8 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 2nd TOEFL ITP examination 1、2nd TOEFL ITP examination 2 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Examination 【到達目標】 To perform at your maximum capability	Actual test taking 【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	No preparation to be required
12/15 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 23-1、Lesson 23-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

12/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 24-1、Lesson 24-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/5 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Review 1、Review 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 TOEFL ITP test 【サブ・タイトル】 Test taking 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To perform at your maximum capability.	Actual test taking 【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	To be announced during class

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL II	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Joseph Drakos	ナンバリング	
担当教員	Joseph Drakos、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This course will focus on developing the productive skills of speaking and writing. Although it is intended to prepare students for taking the TOEFL, especially TOEFL iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as writing short essays and paragraphs, making short speeches, having discussions, and making presentations.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future medical practices.</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able (1) to increase students' speaking abilities, especially focusing on presentation and discussion and (2) to improve the students' writing abilities, especially focusing on essay writing and slide making for presentations.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to increase English vocabulary through the study of a vocabulary list. 2. Students will be able to speak and write English logically and without transcript. 3. Students will be able to express opinions and ideas effectively.</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ This class will be divided based on the results of students' TOEFL scores. The actual activities of each class will vary based on the needs of students. ・ 演習への積極的な参加が求められる。 ・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法 : Evaluation will be based on student attendance, participation, exams and overall performance.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
To be announced in class.

【参考教科書】
To be announced in class.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明。 Instructors in each class will give information about their office hours in class.			
担当教員の実務経験	—			
備考	<p>Students will need to prepare for each lesson by studying the given topics in advance. Students must also be prepared to share their views and opinions on various topics covered. Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分， 復習：45分</p>			
4/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Structure of TOEFL iBT 1、Structure of TOEFL iBT 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	To be announced during class

4/28 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/19 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/26 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/9 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/16 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

<p>6/30 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>
<p>7/7 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>
<p>7/14 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>

7/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Lesson 14-1、Lesson 14-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 "To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English."	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 15-1、Lesson 15-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/6 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 16-1、Lesson 16-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

10/13 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 17-1, Lesson 17-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/20 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 18-1, Lesson 18-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/27 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 19-1, Lesson 19-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
11/10 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 20-1, Lesson 20-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

11/24 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 21-1、Lesson 21-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/1 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 22-1、Lesson 22-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/8 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 2nd TOEFL ITP examination 1、2nd TOEFL ITP examination 2 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Examination 【到達目標】 To perform at your maximum capability	Actual test taking 【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	No preparation to be required
12/15 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 23-1、Lesson 23-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

12/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 24-1, Lesson 24-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/5 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Review 1, Review 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 TOEFL ITP test 【サブ・タイトル】 Test taking 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To perform at your maximum capability.	Actual test taking 【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	To be announced during class

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL II	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Bussinger Clarence Ray	ナンバリング	
担当教員	Bussinger Clarence Ray、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This course will focus on developing the productive skills of speaking and writing. Although it is intended to prepare students for taking the TOEFL, especially TOEFL iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as writing short essays and paragraphs, making short speeches, having discussions, and making presentations.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future medical practices.</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able (1) to increase students' speaking abilities, especially focusing on presentation and discussion and (2) to improve the students' writing abilities, especially focusing on essay writing and slide making for presentations.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to increase English vocabulary through the study of a vocabulary list. 2. Students will be able to speak and write English logically and without transcript. 3. Students will be able to express opinions and ideas effectively.</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ This class will be divided based on the results of students' TOEFL scores. The actual activities of each class will vary based on the needs of students. ・ 演習への積極的な参加が求められる。 ・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法 : Evaluation will be based on student attendance, participation, exams and overall performance.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
To be announced in class.

【参考教科書】
To be announced in class.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明。 Instructors in each class will give information about their office hours in class.			
担当教員の実務経験	—			
備考	<p>Students will need to prepare for each lesson by studying the given topics in advance. Students must also be prepared to share their views and opinions on various topics covered. Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分， 復習：45分</p>			
4/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Structure of TOEFL iBT 1、Structure of TOEFL iBT 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	To be announced during class

4/28 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/19 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/26 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/9 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/16 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

<p>6/30 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>
<p>7/7 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>
<p>7/14 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>

7/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Lesson 14-1、Lesson 14-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 "To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English."	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 15-1、Lesson 15-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/6 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 16-1、Lesson 16-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

10/13 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 17-1, Lesson 17-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/20 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 18-1, Lesson 18-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/27 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 19-1, Lesson 19-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
11/10 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 20-1, Lesson 20-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

11/24 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 21-1、Lesson 21-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/1 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 22-1、Lesson 22-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/8 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 2nd TOEFL ITP examination 1、2nd TOEFL ITP examination 2 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Examination 【到達目標】 To perform at your maximum capability	Actual test taking 【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	No preparation to be required
12/15 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 23-1、Lesson 23-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

12/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 24-1, Lesson 24-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/5 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Review 1, Review 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 TOEFL ITP test 【サブ・タイトル】 Test taking 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To perform at your maximum capability.	Actual test taking 【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	To be announced during class

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL II	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	堀 智子	ナンバリング	
担当教員	堀 智子、Joseph Drakos、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This course will focus on developing the productive skills of speaking and writing. Although it is intended to prepare students for taking the TOEFL, especially TOEFL iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as writing short essays and paragraphs, making short speeches, having discussions, and making presentations.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future medical practices.</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able (1) to increase students' speaking abilities, especially focusing on presentation and discussion and (2) to improve the students' writing abilities, especially focusing on essay writing and slide making for presentations.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to increase English vocabulary through the study of a vocabulary list. 2. Students will be able to speak and write English logically and without transcript. 3. Students will be able to express opinions and ideas effectively.</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ This class will be divided based on the results of students' TOEFL scores. The actual activities of each class will vary based on the needs of students. ・ 演習への積極的な参加が求められる。 ・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法 : Evaluation will be based on student attendance, participation, exams and overall performance.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
To be announced in class.

【参考教科書】
To be announced in class.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明。 Instructors in each class will give information about their office hours in class.			
担当教員の実務経験	—			
備考	<p>Students will need to prepare for each lesson by studying the given topics in advance. Students must also be prepared to share their views and opinions on various topics covered. Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分， 復習：45分</p>			
4/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Structure of TOEFL iBT 1、Structure of TOEFL iBT 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	To be announced during class

4/28 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/19 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/26 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/9 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/16 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

<p>6/30 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>
<p>7/7 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>
<p>7/14 (木)</p>	<p>A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow</p>	<p>【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	<p>To be announced during class</p>

7/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Lesson 14-1、Lesson 14-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 "To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English."	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 15-1、Lesson 15-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/6 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 16-1、Lesson 16-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

10/13 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 17-1, Lesson 17-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/20 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 18-1, Lesson 18-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/27 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 19-1, Lesson 19-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
11/10 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 20-1, Lesson 20-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

11/24 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 21-1、Lesson 21-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/1 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 22-1、Lesson 22-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/8 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 2nd TOEFL ITP examination 1、2nd TOEFL ITP examination 2 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Examination 【到達目標】 To perform at your maximum capability	Actual test taking 【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	No preparation to be required
12/15 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 23-1、Lesson 23-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

12/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 24-1、Lesson 24-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/5 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Review 1、Review 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 TOEFL ITP test 【サブ・タイトル】 Test taking 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To perform at your maximum capability.	Actual test taking 【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	To be announced during class

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	Practical English for TOEFL II	授業形態	
英語科目名	Practical English for TOEFL II	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Grow, Deborah Anne	ナンバリング	
担当教員	Grow, Deborah Anne、藤田 亮子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ This course will focus on developing the productive skills of speaking and writing. Although it is intended to prepare students for taking the TOEFL, especially TOEFL iBT, various styles of study materials will be offered.</p> <p>・ To achieve the above goal, students will learn English through various kinds of study methods such as writing short essays and paragraphs, making short speeches, having discussions, and making presentations.</p> <p>・ This class will include lectures conducted by guest speakers, including a professor from Johns Hopkins University. This will allow students to get used to academic English as well as medical content useful for future medical practices.</p>		
到達目標	<p>[一般目標] Students will be able (1) to increase students' speaking abilities, especially focusing on presentation and discussion and (2) to improve the students' writing abilities, especially focusing on essay writing and slide making for presentations.</p> <p>[到達目標] 1. Students will be able to increase English vocabulary through the study of a vocabulary list. 2. Students will be able to speak and write English logically and without transcript. 3. Students will be able to express opinions and ideas effectively.</p>		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ This class will be divided based on the results of students' TOEFL scores. The actual activities of each class will vary based on the needs of students. ・ 演習への積極的な参加が求められる。 ・ 3分の1以上欠席をすると、最終試験の受験資格を失うので単位修得ができない。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法 : Evaluation will be based on student attendance, participation, exams and overall performance.
------	--

評価基準	成績評価基準 (Criteria) : A final grade will be determined based on performances for exams and other assignments.
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

Students will receive feedback in or out of class in terms of their performances for exams and other assignments.

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
 To be announced in class.

【参考教科書】
 To be announced in class.

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明。 Instructors in each class will give information about their office hours in class.			
担当教員の実務経験	—			
備考	<p>Students will need to prepare for each lesson by studying the given topics in advance. Students must also be prepared to share their views and opinions on various topics covered. Lectures by guest speakers from Johns Hopkins University will be held once in the first and second semesters. The lectures are tentatively scheduled in the 5th lesson in both the first and the second semesters, but the schedule is subject to change.</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分， 復習：45分</p>			
4/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	No preparation to be required
4/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	<p>【授業タイトル】 Structure of TOEFL iBT 1、Structure of TOEFL iBT 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.</p>	<p>learning through praxis</p> <p>【注意点】 Evaluation will be based on performance.</p>	To be announced during class

4/28 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 1-1、Lesson 1-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 2-1、Lesson 2-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/19 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 3-1、Lesson 3-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
5/26 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 4-1、Lesson 4-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/2 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 5-1、Lesson 5-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/9 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 6-1、Lesson 6-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/16 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 7-1、Lesson 7-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
6/23 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 8-1、Lesson 8-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English.	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

6/30 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 9-1、Lesson 9-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
7/7 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 10-1、Lesson 10-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
7/14 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 11-1、Lesson 11-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

7/21 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: 堀 智子 E: Deborah Grow	【授業タイトル】 Lesson 12-1、Lesson 12-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A~E: Malcolm Brock	【授業タイトル】 Lesson 14-1、Lesson 14-2 【サブ・タイトル】 Listening, speaking and writing 【キーワード】 Lecture by an invited speaker on medical English 【到達目標】 "To be able to listen to an English lecture, ask questions, write a summary, and logically express opinions in English."	lecture 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
9/29 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 15-1、Lesson 15-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/6 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 16-1、Lesson 16-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

10/13 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 17-1, Lesson 17-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/20 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子 A-E: Dr. Malcom Brock	【授業タイトル】 Lesson 18-1, Lesson 18-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
10/27 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 19-1, Lesson 19-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
11/10 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 20-1, Lesson 20-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

11/24 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 21-1、Lesson 21-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/1 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 22-1、Lesson 22-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
12/8 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 2nd TOEFL ITP examination 1、2nd TOEFL ITP examination 2 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Examination 【到達目標】 To perform at your maximum capability	Actual test taking 【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	No preparation to be required
12/15 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 23-1、Lesson 23-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class

12/22 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Lesson 24-1、Lesson 24-2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/5 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 Review 1、Review 2 【サブ・タイトル】 Speaking and writing 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To be able to speak and write English logically and without transcript. To express opinions and ideas effectively.	learning through praxis 【注意点】 Evaluation will be based on performance.	To be announced during class
1/12 (木)	A: Andrew Mason B: Joseph Drakos C: Clay Bussinger D: Joseph Drakos E: 藤田 亮子	【授業タイトル】 TOEFL ITP test 【サブ・タイトル】 Test taking 【キーワード】 short essay, paragraph writing, short speech, discussion, presentation 【到達目標】 To perform at your maximum capability.	Actual test taking 【注意点】 To concentrate on the 2-hour examination	To be announced during class

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL・IELTS演習	授業形態	
英語科目名	TOEFL・IELTS Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	Joseph Drakos	ナンバリング	
担当教員	Joseph Drakos、Grow, Deborah Anne、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・この講義では、北米留学に必須のTOEFL (Test of English as a Foreign Language) と英国圏留学に必須のIELTS (International English Lanagage Testing System) の受験対策の活動を通して、英語運用能力の養成を目指す。</p> <p>・TOEFL及びIELTSは世界的に使用されている英語熟達度テストであり、現在はTOEFL iBT (Internet-based test) におけるスコアが北米留学に必要なものとなる。また、これらテストは英語をどれだけ「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するためのものでもある。各大学が受け入れに必要な英語力をTOEFLの点数で公表しているため、TOEFLは、英語学習者が自分の英語力を実用レベルで判定し、世界での位置を知ることの出来る貴重な機会を提供しているとも言える。本科目でTOEFL受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。前期・後期ともに、12月までに各自受験予定であり、留学において正式なスコアとなるTOEFL iBTに向けた、Speaking、Writingも含めた総合的な運用能力向上を目指す対策と、12月に学内で一斉に実施予定である、TOEFL ITP (Institutional Testing Program) に向けた対策を行う。IELTSはM1の進級判定には直接関係しないが、今後、上級生になった際に英国留学を希望する際に必要となり、現時点で知識と練習を積み重ねてほしい。</p> <p>・それぞれの週の活動内容の詳細は例であり、各担当者により異なる。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL受験に向けて学習することで、読み、書き、聞き、話す力を向上させることができる。 ・ TOEFL ITPとTOEFL iBT受験に向けた効果的な学習法を理解することができる。 ・ IELTSの受験に向けて学習することで、試験形式の理解と英語技能を向上させることができる。 <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFL ITP, TOEFL iBT 及びIELTSの問題形式を理解し、回答時に瞬時に対応できる。 2. リスニングにおける方略を構築し、問題回答時に応用できる。 3. ライティング構造に慣れ、形式の整ったパラグラフを書くことができる。 4. TOEFL必須の高度な語彙に慣れ、問題回答時に使いこなせるようになる。 5. 4技能のうち、自分の弱点となるスキルを把握し、ポートフォリオを使用することで、客観視できるようにする。 		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目でTOEFL 受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。 ・聞く、読む、話す、書くという英語の4技能を向上させるべく、各自地道に努力を続けてほしい。 ・定期的に教員に進行状況を伝え、弱点強化のためのアドバイスを求めるなど、教員への積極的な働きかけを期待する。 ・このクラスには、ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーによる英語での講義が含まれる。アカデミックな英語や医療コンテンツを学ぶ絶好の機会となる。 ・TOEFL ITPとiBTのスコアに応じて「TOEFL演習」の成績に加点・減点を行う。TOEFL iBTは受験未定。 <p>(1) 以下のように点数を成績に加点する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算</td> <td style="width: 25%;">500～529点の場合、2点</td> <td style="width: 25%;">530～549点の場合、4点</td> <td style="width: 25%;">550～579点の場合、6点</td> </tr> <tr> <td>580～599点の場合、8点</td> <td>600～点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>TOEFL iBTスコア： ～29点の場合、0点加算 30～49点の場合、2点 50～69点の場合、4点 70～89点の場合、6点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">90～99点の場合、8点</td> <td style="width: 25%;">100～120点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) TOEFL ITPスコア上昇を10点満点とし、以下のように点数を加減する。特別課題は点下降の度合いに応じて変える。1回目に十分力を発揮しなかったことが判明しているものは、0点加点とする。</p> <p>50点以上下降の場合、10点を減点（これに加え、特別課題を課し、面談を行う） 40点～49点以上下降の場合、7点を減点（これに加え、特別課題を課す）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29点下降～29点上昇の場合、0点加算</td> <td>30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算</td> </tr> <tr> <td>40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算</td> <td>50点以上上昇の場合、10点加算</td> </tr> </table>	TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点	580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点			90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点			30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）		29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算	40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算
TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点																
580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点																		
90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点																		
30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）																			
29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算																		
40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算																		

成績評価の方法

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の積極的な参加度、授業での活動、テストやレポート、語彙等の授業外学習を考慮する。詳細は、クラス別に初回の授業の中で指示する。
------	---

評価基準	小テストや定期テスト等の結果、授業内外活動を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考教科書】
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考ウェブサイト】
 ・TOEFL. <https://www.cieej.or.jp/toefl/>
 ・IELTS. <https://www.ielts.org/>

その他	
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明する。
担当教員の実務経験	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された課題を事前に行っておくこと。 ・指定された語彙学習教材による学習を定期的に進めておくこと。 ・毎日少しずつ自主的な学習を進めておくこと。 ・授業で学んだ点をまとめ、小テストに向けて準備しておくこと。 ・ジョーンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性がある。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.	オリエンテーション 【注意点】 授業評価、出席点等について説明を理解する。	自分の苦手な点を確認しておく。
4/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング 【キーワード】 TOEFL ITPの形式 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。 【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 語彙 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・各担当教員により、活動が異なる。	・テストで分からなかった点を整理しておく。 ・小テストの準備をする。

<p>4/28 (木)</p>	<p>A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子</p>	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL iBT 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの構成を学ぶ 【キーワード】 技能のバランス 【到達目標】 TOEFL iBTのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Sample iBT test 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの出題傾向について学ぶ。 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
<p>5/12 (木)</p>	<p>A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子</p>	<p>【授業タイトル】 Writing activity 1 【サブ・タイトル】 時間配分を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 リスニング問題の出題傾向を知る 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
<p>5/19 (木)</p>	<p>A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子 A~E: Malcolm Brock</p>	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2、Listening activity 3 【サブ・タイトル】 プレゼンテーションの仕方を学ぶ 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
<p>5/26 (木)</p>	<p>A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子</p>	<p>【授業タイトル】 Writing activity 2 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 音声変化を意識する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/2 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 1 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき修正する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 段落の構造を把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/9 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 3 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 グループワークに意欲的に取り組む。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/16 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 2 【サブ・タイトル】 アウトラインを作成する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 トピックセンテンスを把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/23 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 4 【サブ・タイトル】 パラフレーズを学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/30 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 3 【サブ・タイトル】 モデルから学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 スキャニングを学ぶ 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
7/7 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 5 【サブ・タイトル】 ライティングの構成を改善する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
7/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 4 【サブ・タイトル】 談話標識に注目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 関連する語を認識する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

7/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。
9/22 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 5 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
9/29 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Writing activity 6 【サブ・タイトル】 言い換え表現を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 長い会話文に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/6 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 6 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

10/13 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 7 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 長いレクチャー問題に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/20 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Listening activity 10、Listening activity 11 【サブ・タイトル】 積極的に質問する 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/27 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 7 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
11/10 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 8 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

11/24 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 8 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/1 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 9 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/8 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 9 【サブ・タイトル】 ピア評価をする 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 時間を決めて時間内で読解する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>
12/15 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。</p>

12/22 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。
1/5 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テストで分からなかった点を整理しておく。
1/12 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 TOEFL ITP受験 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング、リーディング・文法のポイントを復習する 【キーワード】 英語力測定 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>試験</p> <p>【注意点】 ・テストに集中して臨めるように準備しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Exam の準備（内容は授業時に指示） ・2年次に向けて、自分の苦手な箇所を勉強しておく。

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL・IELTS演習	授業形態	
英語科目名	TOEFL・IELTS Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	浅野 恵子	ナンバリング	
担当教員	浅野 恵子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・この講義では、北米留学に必須のTOEFL (Test of English as a Foreign Language) と英国圏留学に必須のIELTS (International English Lanuage Testing System) の受験対策の活動を通して、英語運用能力の養成を目指す。</p> <p>・TOEFL及びIELTSは世界的に使用されている英語熟達度テストであり、現在はTOEFL iBT (Internet-based test) におけるスコアが北米留学に必要となる。また、これらテストは英語をどれだけ「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するためのものでもある。各大学が受け入れに必要な英語力をTOEFLの点数で公表しているため、TOEFLは、英語学習者が自分の英語力を実用レベルで判定し、世界での位置を知ることの出来る貴重な機会を提供しているとも言える。本科目でTOEFL受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。前期・後期ともに、12月までに各自受験予定であり、留学において正式なスコアとなるTOEFL iBTに向けた、Speaking、Writingも含めた総合的な運用能力向上を目指す対策と、12月に学内で一斉に実施予定である、TOEFL ITP (Institutional Testing Program) に向けた対策を行う。IELTSはM1の進級判定には直接関係しないが、今後、上級生になった際に英国留学を希望する際に必要となり、現時点で知識と練習を積み重ねてほしい。</p> <p>・それぞれの週の活動内容の詳細は例であり、各担当者により異なる。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL受験に向けて学習することで、読み、書き、聞き、話す力を向上させることができる。 ・TOEFL ITPとTOEFL iBT受験に向けた効果的な学習法を理解することができる。 ・IELTSの受験に向けて学習することで、試験形式の理解と英語技能を向上させることができる。 <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFL ITP, TOEFL iBT 及びIELTSの問題形式を理解し、回答時に瞬時に対応できる。 2. リスニングにおける方略を構築し、問題回答時に応用できる。 3. ライティング構造に慣れ、形式の整ったパラグラフを書くことができる。 4. TOEFL必須の高度な語彙に慣れ、問題回答時に使いこなせるようになる。 5. 4技能のうち、自分の弱点となるスキルを把握し、ポートフォリオを使用することで、客観視できるようにする。 		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目でTOEFL 受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。 ・聞く、読む、話す、書くという英語の4技能を向上させるべく、各自地道に努力を続けてほしい。 ・定期的に教員に進行状況を伝え、弱点強化のためのアドバイスを求めるなど、教員への積極的な働きかけを期待する。 ・このクラスには、ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーによる英語での講義が含まれる。アカデミックな英語や医療コンテンツを学ぶ絶好の機会となる。 ・TOEFL ITPとiBTのスコアに応じて「TOEFL演習」の成績に加点・減点を行う。TOEFL iBTは受験未定。 <p>(1) 以下のように点数を成績に加点する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算</td> <td style="width: 25%;">500～529点の場合、2点</td> <td style="width: 25%;">530～549点の場合、4点</td> <td style="width: 25%;">550～579点の場合、6点</td> </tr> <tr> <td>580～599点の場合、8点</td> <td>600～点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>TOEFL iBTスコア： ～29点の場合、0点加算 30～49点の場合、2点 50～69点の場合、4点 70～89点の場合、6点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">90～99点の場合、8点</td> <td style="width: 25%;">100～120点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) TOEFL ITPスコア上昇を10点満点とし、以下のように点数を加減する。特別課題は点下降の度合いに応じて変える。1回目に十分力を発揮しなかったことが判明しているものは、0点加点とする。</p> <p>50点以上下降の場合、10点を減点（これに加え、特別課題を課し、面談を行う） 40点～49点以上下降の場合、7点を減点（これに加え、特別課題を課す）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>29点下降～29点上昇の場合、0点加算</td> <td>30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算</td> </tr> <tr> <td>40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算</td> <td>50点以上上昇の場合、10点加算</td> </tr> </table>	TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点	580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点			90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点			30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）		29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算	40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算
TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点																
580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点																		
90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点																		
30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）																			
29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算																		
40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算																		

成績評価の方法

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の積極的な参加度、授業での活動、テストやレポート、語彙等の授業外学習を考慮する。詳細は、クラス別に初回の授業の中で指示する。
------	---

評価基準	小テストや定期テスト等の結果、授業内外活動を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考教科書】
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考ウェブサイト】
 ・TOEFL. <https://www.cieej.or.jp/toefl/>
 ・IELTS. <https://www.ielts.org/>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明する。			
担当教員の実務経験				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された課題を事前に行っておくこと。 ・指定された語彙学習教材による学習を定期的に進めておくこと。 ・毎日少しずつ自主的な学習を進めておくこと。 ・授業で学んだ点をまとめ、小テストに向けて準備しておくこと。 ・ジョーンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性がある。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分			
4/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.	オリエンテーション 【注意点】 授業評価、出席点等について説明を理解する。	自分の苦手な点を確認しておく。
4/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング 【キーワード】 TOEFL ITPの形式 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。 【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 語彙 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・各担当教員により、活動が異なる。	<ul style="list-style-type: none"> ・テストで分からなかった点を整理しておく。 ・小テストの準備をする。

4/28 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL iBT 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの構成を学ぶ 【キーワード】 技能のバランス 【到達目標】 TOEFL iBTのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Sample iBT test 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの出題傾向について学ぶ。 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
5/12 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 1 【サブ・タイトル】 時間配分を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 リスニング問題の出題傾向を知る 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
5/19 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子 A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2、Listening activity 3 【サブ・タイトル】 プレゼンテーションの仕方を学ぶ 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
5/26 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 2 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 音声変化を意識する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

6/2 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 1 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき修正する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 段落の構造を把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/9 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 3 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 グループワークに意欲的に取り組む。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/16 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 2 【サブ・タイトル】 アウトラインを作成する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 トピックセンテンスを把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/23 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 4 【サブ・タイトル】 パラフレーズを学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/30 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 3 【サブ・タイトル】 モデルから学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 スキャニングを学ぶ 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/7 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 5 【サブ・タイトル】 ライティングの構成を改善する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 4 【サブ・タイトル】 談話標識に注目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 関連する語を認識する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

7/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。
9/22 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 5 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
9/29 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Writing activity 6 【サブ・タイトル】 言い換え表現を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 長い会話文に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/6 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 6 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

10/13 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 7 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 長いレクチャー問題に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/20 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Listening activity 10、Listening activity 11 【サブ・タイトル】 積極的に質問する 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/27 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 7 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
11/10 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 8 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

11/24 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 8 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/1 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 9 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/8 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 9 【サブ・タイトル】 ピア評価をする 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 時間を決めて時間内で読解する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>
12/15 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。</p>

12/22 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。
1/5 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テストで分からなかった点を整理しておく。
1/12 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 TOEFL ITP受験 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング、リーディング・文法のポイントを復習する 【キーワード】 英語力測定 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>試験</p> <p>【注意点】 ・テストに集中して臨めるように準備しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Exam の準備（内容は授業時に指示） ・2年次に向けて、自分の苦手な箇所を勉強しておく。

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL・IELTS演習	授業形態	
英語科目名	TOEFL・IELTS Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	鈴木田 優衣	ナンバリング	
担当教員	鈴木田 優衣、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・この講義では、北米留学に必須のTOEFL (Test of English as a Foreign Language) と英国圏留学に必須のIELTS (International English Lanuage Testing System) の受験対策の活動を通して、英語運用能力の養成を目指す。</p> <p>・TOEFL及びIELTSは世界的に使用されている英語熟達度テストであり、現在はTOEFL iBT (Internet-based test) におけるスコアが北米留学に必要なものとなる。また、これらテストは英語をどれだけ「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するためのものでもある。各大学が受け入れに必要な英語力をTOEFLの点数で公表しているため、TOEFLは、英語学習者が自分の英語力を実用レベルで判定し、世界での位置を知ることの出来る貴重な機会を提供しているとも言える。本科目でTOEFL受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。前期・後期ともに、12月までに各自受験予定であり、留学において正式なスコアとなるTOEFL iBTに向けた、Speaking、Writingも含めた総合的な運用能力向上を目指す対策と、12月に学内で一斉に実施予定である、TOEFL ITP (Institutional Testing Program) に向けた対策を行う。IELTSはM1の進級判定には直接関係しないが、今後、上級生になった際に英国留学を希望する際に必要となり、現時点で知識と練習を積み重ねてほしい。</p> <p>・それぞれの週の活動内容の詳細は例であり、各担当者により異なる。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL受験に向けて学習することで、読み、書き、聞き、話す力を向上させることができる。 ・TOEFL ITPとTOEFL iBT受験に向けた効果的な学習法を理解することができる。 ・IELTSの受験に向けて学習することで、試験形式の理解と英語技能を向上させることができる。 <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFL ITP, TOEFL iBT 及びIELTSの問題形式を理解し、回答時に瞬時に対応できる。 2. リスニングにおける方略を構築し、問題回答時に応用できる。 3. ライティング構造に慣れ、形式の整ったパラグラフを書くことができる。 4. TOEFL必須の高度な語彙に慣れ、問題回答時に使いこなせるようになる。 5. 4技能のうち、自分の弱点となるスキルを把握し、ポートフォリオを使用することで、客観視できるようにする。 		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目でTOEFL 受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。 ・聞く、読む、話す、書くという英語の4技能を向上させるべく、各自地道に努力を続けてほしい。 ・定期的に教員に進行状況を伝え、弱点強化のためのアドバイスを求めるなど、教員への積極的な働きかけを期待する。 ・このクラスには、ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーによる英語での講義が含まれる。アカデミックな英語や医療コンテンツを学ぶ絶好の機会となる。 ・TOEFL ITPとiBTのスコアに応じて「TOEFL演習」の成績に加点・減点を行う。TOEFL iBTは受験未定。 <p>(1) 以下のように点数を成績に加点する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算</td> <td style="width: 25%;">500～529点の場合、2点</td> <td style="width: 25%;">530～549点の場合、4点</td> <td style="width: 25%;">550～579点の場合、6点</td> </tr> <tr> <td>580～599点の場合、8点</td> <td>600～点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>TOEFL iBTスコア： ～29点の場合、0点加算 30～49点の場合、2点 50～69点の場合、4点 70～89点の場合、6点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">90～99点の場合、8点</td> <td style="width: 25%;">100～120点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) TOEFL ITPスコア上昇を10点満点とし、以下のように点数を加減する。特別課題は点下降の度合いに応じて変える。1回目に十分力を発揮しなかったことが判明しているものは、0点加点とする。</p> <p>50点以上下降の場合、10点を減点（これに加え、特別課題を課し、面談を行う） 40点～49点以上下降の場合、7点を減点（これに加え、特別課題を課す）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>29点下降～29点上昇の場合、0点加算</td> <td>30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算</td> </tr> <tr> <td>40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算</td> <td>50点以上上昇の場合、10点加算</td> </tr> </table>	TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点	580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点			90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点			30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）		29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算	40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算
TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点																
580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点																		
90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点																		
30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）																			
29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算																		
40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算																		

成績評価の方法

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の積極的な参加度、授業での活動、テストやレポート、語彙等の授業外学習を考慮する。詳細は、クラス別に初回の授業の中で指示する。
------	---

評価基準	小テストや定期テスト等の結果、授業内外活動を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考教科書】
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考ウェブサイト】
 ・TOEFL. <https://www.cieej.or.jp/toefl/>
 ・IELTS. <https://www.ielts.org/>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明する。			
担当教員の実務経験				
備考	<ul style="list-style-type: none"> 指定された課題を事前に行っておくこと。 指定された語彙学習教材による学習を定期的に進めておくこと。 毎日少しずつ自主的な学習を進めておくこと。 授業で学んだ点をまとめ、小テストに向けて準備しておくこと。 ジョーンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性がある。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分			
4/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.	オリエンテーション 【注意点】 授業評価、出席点等について説明を理解する。	自分の苦手な点を確認しておく。
4/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング 【キーワード】 TOEFL ITPの形式 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。 【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 語彙 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・各担当教員により、活動が異なる。	<ul style="list-style-type: none"> テストで分からなかった点を整理しておく。 小テストの準備をする。

4/28 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL iBT 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの構成を学ぶ 【キーワード】 技能のバランス 【到達目標】 TOEFL iBTのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Sample iBT test 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの出題傾向について学ぶ。 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
5/12 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 1 【サブ・タイトル】 時間配分を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 リスニング問題の出題傾向を知る 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
5/19 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子 A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2、Listening activity 3 【サブ・タイトル】 プレゼンテーションの仕方を学ぶ 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
5/26 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 2 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 音声変化を意識する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

6/2 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 1 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき修正する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 段落の構造を把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/9 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 3 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 グループワークに意欲的に取り組む。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/16 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 2 【サブ・タイトル】 アウトラインを作成する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 トピックセンテンスを把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/23 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 4 【サブ・タイトル】 パラフレーズを学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/30 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 3 【サブ・タイトル】 モデルから学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 スキャニングを学ぶ 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/7 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 5 【サブ・タイトル】 ライティングの構成を改善する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 4 【サブ・タイトル】 談話標識に注目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 関連する語を認識する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

7/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。
9/22 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 5 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
9/29 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Writing activity 6 【サブ・タイトル】 言い換え表現を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 長い会話文に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/6 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 6 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

10/13 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 7 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 長いレクチャー問題に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/20 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Listening activity 10、Listening activity 11 【サブ・タイトル】 積極的に質問する 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/27 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 7 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
11/10 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 8 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

11/24 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 8 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/1 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 9 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/8 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 9 【サブ・タイトル】 ピア評価をする 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 時間を決めて時間内で読解する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>
12/15 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。</p>

12/22 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。
1/5 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テストで分からなかった点を整理しておく。
1/12 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 TOEFL ITP受験 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング、リーディング・文法のポイントを復習する 【キーワード】 英語力測定 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>試験</p> <p>【注意点】 ・テストに集中して臨めるように準備しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Exam の準備（内容は授業時に指示） ・2年次に向けて、自分の苦手な箇所を勉強しておく。

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL・IELTS演習	授業形態	
英語科目名	TOEFL・IELTS Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	藤田 亮子	ナンバリング	
担当教員	藤田 亮子、鈴木田 優衣、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・この講義では、北米留学に必須のTOEFL (Test of English as a Foreign Language) と英国圏留学に必須のIELTS (International English Lanagage Testing System) の受験対策の活動を通して、英語運用能力の養成を目指す。</p> <p>・TOEFL及びIELTSは世界的に使用されている英語熟達度テストであり、現在はTOEFL iBT (Internet-based test) におけるスコアが北米留学に必要なものとなる。また、これらテストは英語をどれだけ「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するためのものでもある。各大学が受け入れに必要な英語力をTOEFLの点数で公表しているため、TOEFLは、英語学習者が自分の英語力を実用レベルで判定し、世界での位置を知ることの出来る貴重な機会を提供しているとも言える。本科目でTOEFL受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。前期・後期ともに、12月までに各自受験予定であり、留学において正式なスコアとなるTOEFL iBTに向けた、Speaking、Writingも含めた総合的な運用能力向上を目指す対策と、12月に学内で一斉に実施予定である、TOEFL ITP (Institutional Testing Program) に向けた対策を行う。IELTSはM1の進級判定には直接関係しないが、今後、上級生になった際に英国留学を希望する際に必要となり、現時点で知識と練習を積み重ねてほしい。</p> <p>・それぞれの週の活動内容の詳細は例であり、各担当者により異なる。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL受験に向けて学習することで、読み、書き、聞き、話す力を向上させることができる。 ・TOEFL ITPとTOEFL iBT受験に向けた効果的な学習法を理解することができる。 ・IELTSの受験に向けて学習することで、試験形式の理解と英語技能を向上させることができる。 <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFL ITP, TOEFL iBT 及びIELTSの問題形式を理解し、回答時に瞬時に対応できる。 2. リスニングにおける方略を構築し、問題回答時に応用できる。 3. ライティング構造に慣れ、形式の整ったパラグラフを書くことができる。 4. TOEFL必須の高度な語彙に慣れ、問題回答時に使いこなせるようになる。 5. 4技能のうち、自分の弱点となるスキルを把握し、ポートフォリオを使用することで、客観視できるようにする。 		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目でTOEFL 受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。 ・聞く、読む、話す、書くという英語の4技能を向上させるべく、各自地道に努力を続けてほしい。 ・定期的に教員に進行状況を伝え、弱点強化のためのアドバイスを求めるなど、教員への積極的な働きかけを期待する。 ・このクラスには、ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーによる英語での講義が含まれる。アカデミックな英語や医療コンテンツを学ぶ絶好の機会となる。 ・TOEFL ITPとiBTのスコアに応じて「TOEFL演習」の成績に加点・減点を行う。TOEFL iBTは受験未定。 <p>(1) 以下のように点数を成績に加点する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算</td> <td style="width: 25%;">500～529点の場合、2点</td> <td style="width: 25%;">530～549点の場合、4点</td> <td style="width: 25%;">550～579点の場合、6点</td> </tr> <tr> <td>580～599点の場合、8点</td> <td>600～点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>TOEFL iBTスコア： ～29点の場合、0点加算 30～49点の場合、2点 50～69点の場合、4点 70～89点の場合、6点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">90～99点の場合、8点</td> <td style="width: 25%;">100～120点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) TOEFL ITPスコア上昇を10点満点とし、以下のように点数を加減する。特別課題は点下降の度合いに応じて変える。1回目に十分力を発揮しなかったことが判明しているものは、0点加点とする。</p> <p>50点以上下降の場合、10点を減点（これに加え、特別課題を課し、面談を行う） 40点～49点以上下降の場合、7点を減点（これに加え、特別課題を課す）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29点下降～29点上昇の場合、0点加算</td> <td>30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算</td> </tr> <tr> <td>40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算</td> <td>50点以上上昇の場合、10点加算</td> </tr> </table>	TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点	580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点			90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点			30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）		29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算	40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算
TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点																
580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点																		
90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点																		
30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）																			
29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算																		
40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算																		

成績評価の方法

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の積極的な参加度、授業での活動、テストやレポート、語彙等の授業外学習を考慮する。詳細は、クラス別に初回の授業の中で指示する。
------	---

評価基準	小テストや定期テスト等の結果、授業内外活動を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考教科書】
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考ウェブサイト】
 ・TOEFL. <https://www.cieej.or.jp/toefl/>
 ・IELTS. <https://www.ielts.org/>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明する。			
担当教員の実務経験				
備考	<ul style="list-style-type: none"> 指定された課題を事前に行っておくこと。 指定された語彙学習教材による学習を定期的に進めておくこと。 毎日少しずつ自主的な学習を進めておくこと。 授業で学んだ点をまとめ、小テストに向けて準備しておくこと。 ジョーンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性がある。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分			
4/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.	オリエンテーション 【注意点】 授業評価、出席点等について説明を理解する。	自分の苦手な点を確認しておく。
4/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング 【キーワード】 TOEFL ITPの形式 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。 【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 語彙 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・各担当教員により、活動が異なる。	・テストで分からなかった点を整理しておく。 ・小テストの準備をする。

4/28 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL iBT 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの構成を学ぶ 【キーワード】 技能のバランス 【到達目標】 TOEFL iBTのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Sample iBT test 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの出題傾向について学ぶ。 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/12 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 1 【サブ・タイトル】 時間配分を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 リスニング問題の出題傾向を知る 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/19 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子 A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2、Listening activity 3 【サブ・タイトル】 プレゼンテーションの仕方を学ぶ 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/26 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 2 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 音声変化を意識する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/2 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 1 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき修正する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 段落の構造を把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/9 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 3 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 グループワークに意欲的に取り組む。</p>	演習	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/16 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 2 【サブ・タイトル】 アウトラインを作成する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 トピックセンテンスを把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
6/23 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 4 【サブ・タイトル】 パラフレーズを学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	講演	<p>【注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。 <p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/30 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 3 【サブ・タイトル】 モデルから学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 スキャニングを学ぶ 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/7 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 5 【サブ・タイトル】 ライティングの構成を改善する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 4 【サブ・タイトル】 談話標識に注目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 関連する語を認識する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

7/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。
9/22 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 5 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
9/29 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Writing activity 6 【サブ・タイトル】 言い換え表現を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 長い会話文に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/6 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 6 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

10/13 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 7 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 長いレクチャー問題に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/20 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Listening activity 10、Listening activity 11 【サブ・タイトル】 積極的に質問する 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/27 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 7 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
11/10 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 8 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

11/24 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 8 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。
12/1 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 9 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。
12/8 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 9 【サブ・タイトル】 ピア評価をする 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 時間を決めて時間内で読解する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。
12/15 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。

12/22 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。
1/5 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テストで分からなかった点を整理しておく。
1/12 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 TOEFL ITP受験 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング、リーディング・文法のポイントを復習する 【キーワード】 英語力測定 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>試験</p> <p>【注意点】 ・テストに集中して臨めるように準備しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Exam の準備（内容は授業時に指示） ・2年次に向けて、自分の苦手な箇所を勉強しておく。

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	TOEFL・IELTS演習	授業形態	
英語科目名	TOEFL・IELTS Practice	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	布施木 景子	ナンバリング	
担当教員	布施木 景子、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・この講義では、北米留学に必須のTOEFL (Test of English as a Foreign Language) と英国圏留学に必須のIELTS (International English Lanuage Testing System) の受験対策の活動を通して、英語運用能力の養成を目指す。</p> <p>・TOEFL及びIELTSは世界的に使用されている英語熟達度テストであり、現在はTOEFL iBT (Internet-based test) におけるスコアが北米留学に必要なとなる。また、これらテストは英語をどれだけ「知っているか」ではなく、「使えるか」に焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するためのものでもある。各大学が受け入れに必要な英語力をTOEFLの点数で公表しているため、TOEFLは、英語学習者が自分の英語力を実用レベルで判定し、世界での位置を知ることの出来る貴重な機会を提供しているとも言える。本科目でTOEFL受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。前期・後期ともに、12月までに各自受験予定であり、留学において正式なスコアとなるTOEFL iBTに向けた、Speaking、Writingも含めた総合的な運用能力向上を目指す対策と、12月に学内で一斉に実施予定である、TOEFL ITP (Institutional Testing Program) に向けた対策を行う。IELTSはM1の進級判定には直接関係しないが、今後、上級生になった際に英国留学を希望する際に必要となり、現時点で知識と練習を積み重ねてほしい。</p> <p>・それぞれの週の活動内容の詳細は例であり、各担当者により異なる。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL受験に向けて学習することで、読み、書き、聞き、話す力を向上させることができる。 ・TOEFL ITPとTOEFL iBT受験に向けた効果的な学習法を理解することができる。 ・IELTSの受験に向けて学習することで、試験形式の理解と英語技能を向上させることができる。 <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFL ITP, TOEFL iBT 及びIELTSの問題形式を理解し、回答時に瞬時に対応できる。 2. リスニングにおける方略を構築し、問題回答時に応用できる。 3. ライティング構造に慣れ、形式の整ったパラグラフを書くことができる。 4. TOEFL必須の高度な語彙に慣れ、問題回答時に使いこなせるようになる。 5. 4技能のうち、自分の弱点となるスキルを把握し、ポートフォリオを使用することで、客観視できるようにする。 		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目でTOEFL 受験の準備をしていく中で、総合的な英語力を身につけてほしい。 ・聞く、読む、話す、書くという英語の4技能を向上させるべく、各自地道に努力を続けてほしい。 ・定期的に教員に進行状況を伝え、弱点強化のためのアドバイスを求めるなど、教員への積極的な働きかけを期待する。 ・このクラスには、ジョンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーによる英語での講義が含まれる。アカデミックな英語や医療コンテンツを学ぶ絶好の機会となる。 ・TOEFL ITPとiBTのスコアに応じて「TOEFL演習」の成績に加点・減点を行う。TOEFL iBTは受験未定。 <p>(1) 以下のように点数を成績に加点する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算</td> <td style="width: 25%;">500～529点の場合、2点</td> <td style="width: 25%;">530～549点の場合、4点</td> <td style="width: 25%;">550～579点の場合、6点</td> </tr> <tr> <td>580～599点の場合、8点</td> <td>600～点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>TOEFL iBTスコア： ～29点の場合、0点加算 30～49点の場合、2点 50～69点の場合、4点 70～89点の場合、6点</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">90～99点の場合、8点</td> <td style="width: 25%;">100～120点の場合、10点</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) TOEFL ITPスコア上昇を10点満点とし、以下のように点数を加減する。特別課題は点下降の度合いに応じて変える。1回目に十分力を発揮しなかったことが判明しているものは、0点加点とする。</p> <p>50点以上下降の場合、10点を減点（これに加え、特別課題を課し、面談を行う） 40点～49点以上下降の場合、7点を減点（これに加え、特別課題を課す）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>29点下降～29点上昇の場合、0点加算</td> <td>30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算</td> </tr> <tr> <td>40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算</td> <td>50点以上上昇の場合、10点加算</td> </tr> </table>	TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点	580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点			90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点			30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）		29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算	40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算
TOEFL ITPスコア： ～499点成績0点加算	500～529点の場合、2点	530～549点の場合、4点	550～579点の場合、6点																
580～599点の場合、8点	600～点の場合、10点																		
90～99点の場合、8点	100～120点の場合、10点																		
30点～ 39点以上下降の場合、5点を減点（これに加え、特別課題を課す）																			
29点下降～29点上昇の場合、0点加算	30点～ 39点以上上昇の場合、5点加算																		
40点～ 49点以上上昇の場合、7点加算	50点以上上昇の場合、10点加算																		

成績評価の方法

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の積極的な参加度、授業での活動、テストやレポート、語彙等の授業外学習を考慮する。詳細は、クラス別に初回の授業の中で指示する。
------	---

評価基準	小テストや定期テスト等の結果、授業内外活動を基に総合的な理解度を見て判定する。
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考教科書】
 ・クラス別に初回の授業の中で指示する。

【参考ウェブサイト】
 ・TOEFL. <https://www.cieej.or.jp/toefl/>
 ・IELTS. <https://www.ielts.org/>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	各クラス担当教員が授業内で説明する。			
担当教員の実務経験				
備考	<ul style="list-style-type: none"> 指定された課題を事前に行っておくこと。 指定された語彙学習教材による学習を定期的に進めておくこと。 毎日少しずつ自主的な学習を進めておくこと。 授業で学んだ点をまとめ、小テストに向けて準備しておくこと。 ジョーンズ・ホプキンス大学教授などゲストスピーカーのレクチャーは前期後期1回ずつ実施される予定である。シラバスでは前期後期共に暫定的に第5回に記載されているが、日程については学期開始後最終決定されるため、変更の可能性がある。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時間あたり 予習：45分、 復習：45分			
4/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 TOEFL ITP 【キーワード】 Introduction 【到達目標】 To be able to understand the structure of the TOEFL ITP test.	オリエンテーション 【注意点】 授業評価、出席点等について説明を理解する。	自分の苦手な点を確認しておく。
4/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング 【キーワード】 TOEFL ITPの形式 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。 【授業タイトル】 Introduction to TOEFL ITP 【サブ・タイトル】 語彙 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・各担当教員により、活動が異なる。	<ul style="list-style-type: none"> テストで分からなかった点を整理しておく。 小テストの準備をする。

4/28 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Introduction to TOEFL iBT 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの構成を学ぶ 【キーワード】 技能のバランス 【到達目標】 TOEFL iBTのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Sample iBT test 【サブ・タイトル】 TOEFL iBTの出題傾向について学ぶ。 【キーワード】 4技能の理解 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/12 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 1 【サブ・タイトル】 時間配分を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 1 【サブ・タイトル】 リスニング問題の出題傾向を知る 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/19 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子 A~E: Malcolm Brock	<p>【授業タイトル】 Listening activity 2、Listening activity 3 【サブ・タイトル】 プレゼンテーションの仕方を学ぶ 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
5/26 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 2 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 4 【サブ・タイトル】 音声変化を意識する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

6/2 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 1 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき修正する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 1 【サブ・タイトル】 段落の構造を把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
6/9 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 3 【サブ・タイトル】 アドバイスに基づき書き直す 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
6/16 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 2 【サブ・タイトル】 アウトラインを作成する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 2 【サブ・タイトル】 トピックセンテンスを把握する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>講演</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
6/23 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 4 【サブ・タイトル】 パラフレーズを学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 6 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>講演</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

6/30 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 3 【サブ・タイトル】 モデルから学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 3 【サブ・タイトル】 スキャニングを学ぶ 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/7 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 5 【サブ・タイトル】 ライティングの構成を改善する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 7 【サブ・タイトル】 指示語を問う問題を分析する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
7/14 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 4 【サブ・タイトル】 談話標識に注目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 4 【サブ・タイトル】 関連する語を認識する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

7/21 (木)	A: Joseph Drakos B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 鈴木田 優衣 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。
9/22 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 5 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Reading activity 5 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
9/29 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Writing activity 6 【サブ・タイトル】 言い換え表現を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Listening activity 8 【サブ・タイトル】 長い会話文に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。
10/6 (木)	A: Deborah Grow B: 浅野 恵子 C: 鈴木田 優衣 D: 藤田 亮子 E: 布施木 景子	【授業タイトル】 Speaking activity 6 【サブ・タイトル】 採点基準を学ぶ 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。 【授業タイトル】 Reading activity 6 【サブ・タイトル】 推論を問う問題を分析する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。	演習 【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。	・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。

10/13 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 7 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 9 【サブ・タイトル】 長いレクチャー問題に慣れる 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/20 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Listening activity 10、Listening activity 11 【サブ・タイトル】 積極的に質問する 【キーワード】 Johns Hopkins 大学からの講演者のレクチャーを聞く 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
10/27 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 7 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 7 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>
11/10 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 8 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 12 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・前回の復習と小テストの準備をしておく。 ・宿題と次週小テストの準備をしておく。</p>

11/24 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 8 【サブ・タイトル】 言い換えの表現に着目する 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 8 【サブ・タイトル】 多読の効果に着目する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/1 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 9 【サブ・タイトル】 書く量を増やす 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 学んだ技能を実践することができる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 13 【サブ・タイトル】 多聴の効果に着目する 【キーワード】 リスニング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・前回の復習と小テストの準備をしておく。</p>
12/8 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 9 【サブ・タイトル】 ピア評価をする 【キーワード】 弱点強化 【到達目標】 TOEFL ITPのテスト形式や求められる英語力を理解できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 9 【サブ・タイトル】 時間を決めて時間内で読解する 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>
12/15 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Writing activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Listening activity 14 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<p>・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。</p>

12/22 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Speaking activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 英語力の変化と技能の習得を認識できる。</p> <p>【授業タイトル】 Reading activity 10 【サブ・タイトル】 総復習をする 【キーワード】 リーディング力向上 【到達目標】 課題について理解する。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。 ・宿題と定期試験の準備をしておく。
1/5 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 Review 【サブ・タイトル】 前期の総復習をする 【キーワード】 今後の学習 【到達目標】 自分の弱点と今後の学習の方向性をまとめておく。</p>	<p>演習</p> <p>【注意点】 ・積極的に挙手して発言する。 ・グループワークに意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テストで分からなかった点を整理しておく。
1/12 (木)	A:Deborah Grow B:浅野 恵子 C:鈴木田 優衣 D:藤田 亮子 E:布施木 景子	<p>【授業タイトル】 TOEFL ITP受験 【サブ・タイトル】 リスニング・文法・リーディング、リーディング・文法のポイントを復習する 【キーワード】 英語力測定 【到達目標】 ・学んだ技能を実践することができる。 ・課題について理解する。</p>	<p>試験</p> <p>【注意点】 ・テストに集中して臨めるように準備しておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Exam の準備（内容は授業時に指示） ・2年次に向けて、自分の苦手な箇所を勉強しておく。

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	ライフサイエンスのための化学	授業形態	講義
英語科目名	Chemistry for the Life Science	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	馬場 猛	ナンバリング	
担当教員	馬場 猛、志村 絵理、石原 量、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>【前期】 わずかに100余りの元素があるだけで、これが組み合わせたり、組み換えられたりすることによりあらゆる物質が構成される。生命体もその例外ではなく高度に統一された非常に複雑な化学反応の積み重なりであり、化学物質の移動や反応が生命の営みと密接な関係を持っている。従って、生命現象を理解するためには、化学の知識、考え方は不可欠であろう。授業は基礎理論からスタートさせ、生命現象へとアプローチしていき、化学を理解するための基礎的概念を講義する。</p> <p>【後期】 生体は有機物をはじめとした極めて多種類の化学物質の集合体であり、複雑な生体反応は化学実験室で起こる化学反応と同じ化学的原理、反応機構に従って進行する。授業では、生体構成成分であるアミノ酸、炭水化物、脂質、ヌクレオチドなどの構造と機能、及びそれら生体分子の諸反応（生合成、代謝、酵素反応、など）について有機化学の視点で概説する。</p>		
到達目標	<p>【一般目標】 生体内で起こる反応や生命現象を司る有機化合物がどのように、またなぜ連続的・化学変換、相互変換するかについて理解するため、化学の基礎的な知識を習得し、この基礎化学能力を応用するための基本的技能を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学物質の生体への作用を化学理論と関連づけることができる。 2. 生命現象を司る化合物の基本的な反応機構を理解できる。 3. 生体物質の特性、構造と機能を理解することができる。 4. 生体の代謝反応の全体の流れを説明できる。 5. 化学の基礎的な知識を習得し、基礎化学能力を応用して生命現象を分子レベルで説明する力を身につけることができる。 		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> — 学生番号順に2クラスに分けて授業を展開する。 — 化学は暗記だけではなく、考え方や原理を理解することが大切である。必ず復習し、理解を確実にしておくことが重要である。 — 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	定期試験の成績（80%）、授業内に行う確認問題（10%）、取り組む姿勢（10%）を総合的に評価する。
------	--

評価基準	<ul style="list-style-type: none"> — 物質の構造や性質について生体への作用と関連づけて説明できる。 (到達目標1、3、5：定期試験・確認問題) — 化学反応に関わる計算問題を解答できる。 (到達目標1、5：定期試験・確認問題) — 有機化学の基本的な反応機構を示すことができる。 (到達目標2、5：定期試験・確認問題) — 生体の代謝に登場する物質やその反応の流れを整理して説明できる。 (到達目標4、5：定期試験・確認問題)
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

<p>【指定教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ General Chemistry: The Essential Concepts 6th edition (McGraw-Hill) ・ The Organic Chemistry Of Biological Pathways (Roberts & Company) <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メディカル化学（裳華房） ・ バイオサイエンス化学（東京化学同人）
--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他 【連絡先】 担当：馬場 猛 E-mail：tkbaba [at] juntendo.ac.jp 担当：志村 絵理 E-mail：eritoba [at] juntendo.ac.jp 担当：石原 量 E-mail：r-ishihara [at] juntendo.ac.jp ※ [at] を@に変更してください。 【オフィスアワー】 日時：火曜日 12～13時				
連絡先・オフィスアワー				
担当教員の実務経験				
備考 ー 高校化学を事前に復習しておくこと。 ー 常に生命科学関係の記事に注目し、最新の知識を身につける態度を養うこと。 ー 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分				
4/12 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】 溶液の化学①、溶液の化学①（演習） 【サブ・タイトル】 溶解とその溶液 【キーワード】 水、沸点、比重、表面張力、比熱 【到達目標】 水の性質を説明することができる。	講義 演習 【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。	水の性質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
4/19 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】 溶液の化学②、溶液の化学②（演習） 【サブ・タイトル】 生体分子の溶解とその溶液 【キーワード】 浸透圧、溶解度、溶媒和、束一的性質 【到達目標】 物質の溶解と溶液の性質を説明することができる。	講義 演習 【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。	溶解と溶液の性質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。

4/26 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 化学反応速度論、化学反応速度論（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体反応とその反応速度</p> <p>【キーワード】 一次反応、活性化エネルギー、酵素反応、ミカエリス・メンテン</p> <p>【到達目標】 化学反応の速度は何で決まるかを説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>化学反応の速度について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/10 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 酸・塩基と緩衝液、酸・塩基と緩衝液（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体液の性質</p> <p>【キーワード】 水素イオン濃度、酸解離定数、塩の加水分解、緩衝液</p> <p>【到達目標】 酸・塩基から pH 緩衝作用を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>緩衝作用について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/17 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 薬の体内動態、薬の体内動態（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体膜透過性と pH</p> <p>【キーワード】 酸性・塩基性薬、pH、水・油、ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式</p> <p>【到達目標】 酸性・塩基性薬の体内動態の一つである膜透過性について pH から議論できる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>薬剤について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/24 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 生体系における熱力学、生体系における熱力学（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 ATP と化学エネルギー</p> <p>【キーワード】 エンタルピー、エントロピー、ギブス自由エネルギー、解糖系</p> <p>【到達目標】 化学エネルギーとは何かを説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>熱力学について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

5/31 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】酸化還元反応、酸化還元反応（演習） 【サブ・タイトル】生体と酸化・還元 【キーワード】ネルンストの式、電子伝達系、膜電位 【到達目標】酸化還元反応とは何かを説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	酸化還元反応について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
6/7 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】確認演習 【サブ・タイトル】前期前半の復習 【キーワード】物質の状態と変化 【到達目標】物質の状態と変化を理解し、基礎的な化学計算ができる。	演習 発表 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	これまでの講義を復習しておくこと。
6/14 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】原子の構造と性質①、原子の構造と性質①（演習） 【サブ・タイトル】原子の電子構造 【キーワード】プランク定数、ボーア理論、バルマー系列、ハイゼンベルグの不確定性原理 【到達目標】水素原子のスペクトル、ボーアの理論について説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	ボーア理論について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
6/21 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】原子の構造と性質②、原子の構造と性質②（演習） 【サブ・タイトル】原子軌道 【キーワード】シュレーディンガー方程式、波動関数、原子軌道、電子配置 【到達目標】原子軌道の概念を把握し、原子の電子配置について説明できる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	原子軌道について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。

6/28 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】化学結合①、化学結合①（演習） 【サブ・タイトル】共有結合 【キーワード】共有結合、ルイス構造、形式電荷、オクテット則 【到達目標】化学結合の成り立ちについて説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	共有結合について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
7/5 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】化学結合②、化学結合②（演習） 【サブ・タイトル】分子の構造と原子軌道の混成 【キーワード】原子価結合法、混成軌道、分子軌道法 【到達目標】分子の形成を原子軌道・分子軌道から説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	混成軌道について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
7/12 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】分子間相互作用、分子間相互作用（演習） 【サブ・タイトル】生体と分子間力 【キーワード】静電氣的相互作用、ファンデルワールスカ、水素結合、疎水性相互作用 【到達目標】化合物や分子をつくる分子間相互作用を説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	分子にはたらく力について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。

7/19 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】配位化合物の化学、配位化合物の化学（演習） 【サブ・タイトル】生体における錯体 【キーワード】キレート剤、配位子、結晶場理論 【到達目標】有機金属化合物を形成する配位結合を説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	配位結合について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
9/20 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】生物化学序論①、生物化学序論①（演習） 【サブ・タイトル】ケクレ構造式 【キーワード】ケクレ構造式、形式電荷、孤立電子対 【到達目標】ケクレ構造式を読み解くことができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	分子の色々な書き表し方について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
9/27 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】生物化学序論②、生物化学序論②（演習） 【サブ・タイトル】共鳴 【キーワード】電子密度、共鳴構造、 π 結合 【到達目標】共鳴とは何かを説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	共鳴構造について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
10/4 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】生物化学序論③、生物化学序論③（演習） 【サブ・タイトル】酸-塩基反応 【キーワード】共役塩基、誘起、軌道 【到達目標】酸-塩基の化学を論じることができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	共役塩基について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。

10/11 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構①、生物化学に共通する反応機構①(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】置換反応</p> <p>【キーワード】求核、求電子、SN1反応、SN2反応</p> <p>【到達目標】置換反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>求核・求電子について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
10/18 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構②、生物化学に共通する反応機構②(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】脱離反応</p> <p>【キーワード】E1反応、E2反応、脱離基</p> <p>【到達目標】脱離反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>塩基について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
10/25 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構③、生物化学に共通する反応機構③(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】付加反応</p> <p>【キーワード】位置選択性、マルコフニコフ、アンチマルコフニコフ</p> <p>【到達目標】付加反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>位置選択性について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/1 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】確認演習</p> <p>【サブ・タイトル】後期前半の復習</p> <p>【キーワード】反応機構</p> <p>【到達目標】化合物の基本的な反応機構を理解することができる。</p>	<p>演習 発表</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>これまでの講義を復習しておくこと。</p>

11/8 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構①、生物化学反応機構①（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】生体分子</p> <p>【キーワード】アミノ酸、核酸、補酵素</p> <p>【到達目標】一般的な生体分子について論じることができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>核酸などの一般的な生体分子について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/22 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構②、生物化学反応機構②（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】炭水化物の化学</p> <p>【キーワード】単糖、多糖、グルコース</p> <p>【到達目標】炭水化物の基本的構造と機能を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>糖質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/29 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構③、生物化学反応機構③（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】炭水化物代謝</p> <p>【キーワード】解糖、ピルビン酸、クエン酸回路</p> <p>【到達目標】解糖とクエン酸回路を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>糖質の基本的構造について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
12/6 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構④、生物化学反応機構④（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】脂質の化学</p> <p>【キーワード】脂質二重層、生体膜、コレステロール</p> <p>【到達目標】脂質の基本的構造と機能を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>脂質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

12/13 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑤、生物化学反応機構⑤（演習） 【サブ・タイトル】脂質代謝 【キーワード】トリアシルグリセロール、脂肪酸、ステロイド 【到達目標】脂質の消化と輸送を説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	脂質について学習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。
12/20 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑥、生物化学反応機構⑥（演習） 【サブ・タイトル】アミノ酸代謝 【キーワード】脱アミノ化、尿素回路、異化代謝 【到達目標】尿素合成の経路とアミノ酸の異化代謝を説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	アミノ酸について学習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。
1/10 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑦、生物化学反応機構⑦（演習） 【サブ・タイトル】エネルギー代謝の統合と制御 【キーワード】糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝 【到達目標】臓器間の代謝のつながりについて説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	生物化学反応機構①～⑥について復習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	ライフサイエンスのための化学	授業形態	講義
英語科目名	Chemistry for the Life Science	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	石原 量	ナンバリング	
担当教員	石原 量、馬場 猛、志村 絵理、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>【前期】 わずかに100余りの元素があるだけで、これが組み合わせたり、組み換えられたりすることによりあらゆる物質が構成される。生命体もその例外ではなく高度に統一された非常に複雑な化学反応の積み重なりであり、化学物質の移動や反応が生命の営みと密接な関係を持っている。従って、生命現象を理解するためには、化学の知識、考え方は不可欠であろう。授業は基礎理論からスタートさせ、生命現象へとアプローチしていき、化学を理解するための基礎的概念を講義する。</p> <p>【後期】 生体は有機物をはじめとした極めて多種類の化学物質の集合体であり、複雑な生体反応は化学実験室で起こる化学反応と同じ化学的原理、反応機構に従って進行する。授業では、生体構成成分であるアミノ酸、炭水化物、脂質、ヌクレオチドなどの構造と機能、及びそれら生体分子の諸反応（生合成、代謝、酵素反応、など）について有機化学の視点で概説する。</p>		
到達目標	<p>【一般目標】 生体内で起こる反応や生命現象を司る有機化合物がどのように、またなぜ連続的・相互変換するかについて理解するため、化学の基礎的な知識を習得し、この基礎化学能力を応用するための基本的技能を身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学物質の生体への作用を化学理論と関連づけることができる。 2. 生命現象を司る化合物の基本的な反応機構を理解できる。 3. 生体物質の特性、構造と機能を理解することができる。 4. 生体の代謝反応の全体の流れを説明できる。 5. 化学の基礎的な知識を習得し、基礎化学能力を応用して生命現象を分子レベルで説明する力を身につけることができる。 		
授業の位置づけ	—		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	—		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> — 学生番号順に2クラスに分けて授業を展開する。 — 化学は暗記だけではなく、考え方や原理を理解することが大切である。必ず復習し、理解を確実にしておくことが重要である。 — 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	定期試験の成績（80%）、授業内に行う確認問題（10%）、取り組む姿勢（10%）を総合的に評価する。
------	--

評価基準	<ul style="list-style-type: none"> — 物質の構造や性質について生体への作用と関連づけて説明できる。 (到達目標1、3、5：定期試験・確認問題) — 化学反応に関わる計算問題を解答できる。 (到達目標1、5：定期試験・確認問題) — 有機化学の基本的な反応機構を示すことができる。 (到達目標2、5：定期試験・確認問題) — 生体の代謝に登場する物質やその反応の流れを整理して説明できる。 (到達目標4、5：定期試験・確認問題)
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】

- ・ General Chemistry: The Essential Concepts 6th edition (McGraw-Hill)
- ・ The Organic Chemistry Of Biological Pathways (Roberts & Company)

【参考書】

- ・ メディカル化学（裳華房）
- ・ バイオサイエンス化学（東京化学同人）

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：馬場 猛 E-mail: tkbaba [at] juntendo.ac.jp 担当：志村 絵理 E-mail: eritoba [at] juntendo.ac.jp 担当：石原 量 E-mail: r-ishihara [at] juntendo.ac.jp ※ [at] を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：火曜日 12～13時</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>— 高校化学を事前に復習しておくこと。 — 常に生命科学関係の記事に注目し、最新の知識を身につける態度を養うこと。</p> <p>— 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
4/12 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】 溶液の化学①、溶液の化学①（演習） 【サブ・タイトル】 溶解とその溶液 【キーワード】 水、沸点、比重、表面張力、比熱 【到達目標】 水の性質を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>水の性質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
4/19 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】 溶液の化学②、溶液の化学②（演習） 【サブ・タイトル】 生体分子の溶解とその溶液 【キーワード】 浸透圧、溶解度、溶媒和、束一的性質 【到達目標】 物質の溶解と溶液の性質を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>溶解と溶液の性質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

4/26 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 化学反応速度論、化学反応速度論（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体反応とその反応速度</p> <p>【キーワード】 一次反応、活性化エネルギー、酵素反応、ミカエリス・メンテン</p> <p>【到達目標】 化学反応の速度は何で決まるかを説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>化学反応の速度について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/10 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 酸・塩基と緩衝液、酸・塩基と緩衝液（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体液の性質</p> <p>【キーワード】 水素イオン濃度、酸解離定数、塩の加水分解、緩衝液</p> <p>【到達目標】 酸・塩基から pH 緩衝作用を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>緩衝作用について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/17 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 薬の体内動態、薬の体内動態（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 生体膜透過性と pH</p> <p>【キーワード】 酸性・塩基性薬、pH、水・油、ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式</p> <p>【到達目標】 酸性・塩基性薬の体内動態の一つである膜透過性について pH から議論できる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>薬剤について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
5/24 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】 生体系における熱力学、生体系における熱力学（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】 ATP と化学エネルギー</p> <p>【キーワード】 エンタルピー、エントロピー、ギブス自由エネルギー、解糖系</p> <p>【到達目標】 化学エネルギーとは何かを説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】 授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>熱力学について学習しておくこと。</p> <p>講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

5/31 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】酸化還元反応、酸化還元反応（演習） 【サブ・タイトル】生体と酸化・還元 【キーワード】ネルンストの式、電子伝達系、膜電位 【到達目標】酸化還元反応とは何かを説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	酸化還元反応について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
6/7 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】確認演習 【サブ・タイトル】前期前半の復習 【キーワード】物質の状態と変化 【到達目標】物質の状態と変化を理解し、基礎的な化学計算ができる。	演習 発表 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	これまでの講義を復習しておくこと。
6/14 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】原子の構造と性質①、原子の構造と性質①（演習） 【サブ・タイトル】原子の電子構造 【キーワード】プランク定数、ボーア理論、バルマー系列、ハイゼンベルグの不確定性原理 【到達目標】水素原子のスペクトル、ボーアの理論について説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	ボーア理論について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。
6/21 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	【授業タイトル】原子の構造と性質②、原子の構造と性質②（演習） 【サブ・タイトル】原子軌道 【キーワード】シュレーディンガー方程式、波動関数、原子軌道、電子配置 【到達目標】原子軌道の概念を把握し、原子の電子配置について説明できる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	原子軌道について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。

6/28 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】化学結合①、化学結合①（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】共有結合</p> <p>【キーワード】共有結合、ルイス構造、形式電荷、オクテット則</p> <p>【到達目標】化学結合の成り立ちについて説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>共有結合について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
7/5 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】化学結合②、化学結合②（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】分子の構造と原子軌道の混成</p> <p>【キーワード】原子価結合法、混成軌道、分子軌道法</p> <p>【到達目標】分子の形成を原子軌道・分子軌道から説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>混成軌道について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
7/12 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】分子間相互作用、分子間相互作用（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】生体と分子間力</p> <p>【キーワード】静電氣的相互作用、ファンデルワールスカ、水素結合、疎水性相互作用</p> <p>【到達目標】化合物や分子をつくる分子間相互作用を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>分子にはたらく力について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

7/19 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】配位化合物の化学、配位化合物の化学（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】生体における錯体</p> <p>【キーワード】キレート剤、配位子、結晶場理論</p> <p>【到達目標】有機金属化合物を形成する配位結合を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>配位結合について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
9/20 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】生物化学序論①、生物化学序論①（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】ケクレ構造式</p> <p>【キーワード】ケクレ構造式、形式電荷、孤立電子対</p> <p>【到達目標】ケクレ構造式を読み解くことができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>分子の色々な書き表し方について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
9/27 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】生物化学序論②、生物化学序論②（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】共鳴</p> <p>【キーワード】電子密度、共鳴構造、π結合</p> <p>【到達目標】共鳴とは何かを説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>共鳴構造について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
10/4 (火)	馬場 猛 志村 絵 石原 理 量	<p>【授業タイトル】生物化学序論③、生物化学序論③（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】酸-塩基反応</p> <p>【キーワード】共役塩基、誘起、軌道</p> <p>【到達目標】酸-塩基の化学を論じることができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>共役塩基について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

10/11 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構①、生物化学に共通する反応機構①(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】置換反応</p> <p>【キーワード】求核、求電子、SN1反応、SN2反応</p> <p>【到達目標】置換反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>求核・求電子について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
10/18 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構②、生物化学に共通する反応機構②(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】脱離反応</p> <p>【キーワード】E1反応、E2反応、脱離基</p> <p>【到達目標】脱離反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>塩基について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
10/25 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】生物化学に共通する反応機構③、生物化学に共通する反応機構③(演習)</p> <p>【サブ・タイトル】付加反応</p> <p>【キーワード】位置選択性、マルコフニコフ、アンチマルコフニコフ</p> <p>【到達目標】付加反応の反応機構を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>位置選択性について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/1 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	<p>【授業タイトル】確認演習</p> <p>【サブ・タイトル】後期前半の復習</p> <p>【キーワード】反応機構</p> <p>【到達目標】化合物の基本的な反応機構を理解することができる。</p>	<p>演習 発表</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>これまでの講義を復習しておくこと。</p>

11/8 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構①、生物化学反応機構①（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】生体分子</p> <p>【キーワード】アミノ酸、核酸、補酵素</p> <p>【到達目標】一般的な生体分子について論じることができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>核酸などの一般的な生体分子について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/22 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構②、生物化学反応機構②（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】炭水化物の化学</p> <p>【キーワード】単糖、多糖、グルコース</p> <p>【到達目標】炭水化物の基本的構造と機能を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>糖質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
11/29 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構③、生物化学反応機構③（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】炭水化物代謝</p> <p>【キーワード】解糖、ピルビン酸、クエン酸回路</p> <p>【到達目標】解糖とクエン酸回路を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>糖質の基本的構造について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>
12/6 (火)	馬場 志村 石原 猛 絵理 量	<p>【授業タイトル】生物化学反応機構④、生物化学反応機構④（演習）</p> <p>【サブ・タイトル】脂質の化学</p> <p>【キーワード】脂質二重層、生体膜、コレステロール</p> <p>【到達目標】脂質の基本的構造と機能を説明することができる。</p>	<p>講義 演習</p> <p>【注意点】授業時間内で理解するように努めること。</p>	<p>脂質について学習しておくこと。 講義中に出された問題を解いておくこと。</p>

12/13 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑤、生物化学反応機構⑤（演習） 【サブ・タイトル】脂質代謝 【キーワード】トリアシルグリセロール、脂肪酸、ステロイド 【到達目標】脂質の消化と輸送を説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	脂質について学習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。
12/20 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑥、生物化学反応機構⑥（演習） 【サブ・タイトル】アミノ酸代謝 【キーワード】脱アミノ化、尿素回路、異化代謝 【到達目標】尿素合成の経路とアミノ酸の異化代謝を説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	アミノ酸について学習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。
1/10 (火)	馬場 猛 志村 絵理 石原 量	【授業タイトル】生物化学反応機構⑦、生物化学反応機構⑦（演習） 【サブ・タイトル】エネルギー代謝の統合と制御 【キーワード】糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝 【到達目標】臓器間の代謝のつながりについて説明することができる。	講義 演習 【注意点】授業時間内で理解するように努めること。	生物化学反応機構①～⑥について復習しておくこと。 講義中に与えられた問題を解いておくこと。

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	人体物理学	授業形態	講義
英語科目名	Physics of the Human Body	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	田中 和廣	ナンバリング	
担当教員	田中 和廣、清 裕一郎、矢田 雅哉、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ 人体を形作る骨や筋肉は、それらにかかる力の大きさや向き・それらの動きも、力学法則に従っている。また、血液のような流体の運動も、力学法則に従っている。前期は、これら人体の現象のしくみを理解するために、質点の力学から剛体や弾性体の力学、さらに流体の力学まで、具体例と照らし合わせながら勉強する。</p> <p>・ 呼吸や心臓の動きを引き起こす筋肉活動は神経によって制御されており、神経活動は電気が惹き起こしている。医療検査や治療の多くに電磁気学の法則が応用されており、超音波や原子内部の法則も応用されている。後期は、それらのしくみを理解するために、音波、電磁気学、原子核や放射線まで、具体例と照らし合わせながら勉強する。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 力学及び電磁気学から原子核や放射線までの物理の基本を習得し、人体及び医療における物理現象を理解し説明できるようになる。 ・ 静力学における「力のつりあい・力のモーメントのつりあい」、動力学における「運動方程式」「運動量・エネルギー・角運動量の保存」を理解し、応用できるようになる。 ・ 電磁気学における「静電場」「電気回路」「電磁波」「生体電気」「磁気とMRI」の原理を理解し、超音波や放射線の人体への影響を説明できるようになる。 <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 力のつりあい・力のモーメントのつりあいをを用いて、ボディメカニクスを説明できる。 2. 運動方程式および運動量・エネルギーの計算を用いて、着地や衝突による人体への力学的影響を説明できる。 3. ベルヌーイの式及びボアズイユの法則を説明でき、血圧や血流に応用できる。 4. 音波の性質を理解して、超音波による距離測定・血流速度測定や超音波画像診断のしくみを説明できる。 5. 細胞膜電位の発生および活動電位の伝導を、神経線維の電気的特性と物理法則に関連づけて説明できる。 6. 原子、原子核から発生する放射線の種類、性質、単位を理解し、放射線の生体への影響や医療への応用を説明できる。 7. プロトンの持つ磁気モーメントと電磁場との相互作用を理解し、核磁気共鳴の原理からMRI画像の構成を説明できる。 		
授業の位置づけ	(後日教務課にて入力)		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	物理学を通して「人体や医療における物理現象に関する知識」を修得する事が関連している。		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業には積極的に参加することが重要である。疑問に思ったことについて、積極的に質問し、議論を通じて理解をしていくように努めること。 ・ 演習問題、参考プリント等を授業中に配布またはmanabaで配信するので、自主的に学習すること。自分の手でためて確認し、考察し、話し合っ理解を深めよう。 ・ 授業日程は、授業の進行状況により多少前後することがある。
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法：定期試験(70%)、課題レポート(30%)、積極的な参加態度を総合的に評価する。
------	---

評価基準	成績評価基準： <ol style="list-style-type: none"> 1. 力学・電磁気学等の問題について、その背景を具体的に述べることができる（課題レポート） 2. 力学・電磁気学等の基本的な用語の意味を理解している（定期試験） 3. 力学・電磁気学等の法則性について、論理的に説明できる（定期試験） 4. 力学・電磁気学等の基本法則を人体の現象に適用し、結果を説明できる（課題レポート、定期試験） 5. 授業中の発言やプレテスト・ポストテスト、グループワークの取組状況によって受講態度を評価する
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（プレテスト、小テスト、レポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
 “Physics in Biology and Medicine” Paul Davidovits, Academic Press

【参考教科書】
 「生命科学のための基礎シリーズ 物理」 大島泰郎（監修） 実教出版

【参考書】
 「医療系のための物理学入門」 木下順二 講談社（KS医学・薬学専門書）
 「医療系の基礎としての物理」 廣岡秀明、崔東学、古川裕之、他 学術図書出版社
 「歯系の物理学」 赤野松太郎、鮎川武二、藤城敏幸、村田 浩 東京教学社
 「物理学入門から医用物理へ（改訂新版）」 本間康浩 ブイツーソリューション
 「ライフサイエンス物理学」 シュテルンハイム、ケイン 廣川書店
 「物理学の基礎 1～3」 ハリディ、レスニック、ウォーカー 培風館
 「ファインマン物理学1 力学」 坪井忠二訳 岩波書店

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー		清 裕一郎: 木曜 12:30 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1316号室 田中 和廣: 火曜 11:00 - 17:00 本郷キャンパス7号館3階生理系実習室、木曜 09:00 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1314号室 矢田 雅哉: 月曜 12:30 - 15:30 さくらキャンパス1号館3階1315号室: m-yata[at]juntendo.ac.jp		
担当教員の実務経験		-		
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・予習: 指定教科書“Physics in Biology and Medicine” Paul Davidovits の指定箇所をあらかじめ読んでおくこと。 ・復習: 学習箇所を復習し指定教科書のEXERCISESに挑戦すること。疑問等が湧いてきたら次回の講義でクラスで議論しよう。 ・課題レポート: 独自に考察した内容は順序立てて論理的に説明を記述する。調べた内容は自分の論理・切り口で再構築し、理解を助ける図式等を用いて説明を記述すること。ネット検索のみならず、テキストや書籍で内容を確認するように習慣づけるとよい。他の人の書いたものやネット・書籍の内容の丸写しは厳禁である。 【自己学習(準備学習)に必要な時間】 1時間あたり 予習: 45分, 復習: 45分 		
4/12 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】力のモーメント 【サブ・タイトル】つり合いを決めるもの 【キーワード】 force, torque, static equilibrium 【到達目標】 力とトルクのつり合いの式をベクトルを用いて立式できる。</p> <p>【授業タイトル】ベクトルをつかった静力学の解析 【サブ・タイトル】ベクトルの外積とつり合い 【キーワード】 cross product of two vectors, moment of force, equation of motion 【到達目標】 運動方程式からつり合いの式を導くことができる。</p>	<p>発表・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 高校物理の教科書で力のモーメントについて復習してくること。</p> <p>復習) 運動方程式から物体のつり合い式を自分で導いてみよう。manabaの「確認テスト01」を受けること。</p>
4/19 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】重心に働く力 【サブ・タイトル】重心は重み付き平均である 【キーワード】 center of mass, reaction force, base of support 【到達目標】 重心の位置と安定性の関係を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】人体の静力学 【サブ・タイトル】力学的に安定な姿勢 【キーワード】 torque, stability of bodies, forces by skeletal muscles 【到達目標】 体に働く力を図示して体の安定性を説明できる。</p>	<p>発表・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の§1.0~1.2を自己学習してくること。</p> <p>復習) 指定教科書の§1.3, 1.4を復習し関連する演習問題を自己学習すること。manabaの「確認テスト02」を受けること。</p>

4/26 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】 関節とてこの原理 【サブ・タイトル】 てこの原理と機械的な利得 【キーワード】 three types of levers, mechanical advantage 【到達目標】 てこの3種のクラス分類と特性を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 骨や関節は意外と頑張っている 【サブ・タイトル】 股関節および腰椎にはたらく力 【キーワード】 fulcrum, lever model, pivot point, elbow with a weight 【到達目標】 筋肉や関節に働く力について数式を使って説明できる。</p>	<p>発表・討論 【注意点】 講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】 グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 1.5 を自己学習してくる こと。</p> <p>復習) 指定教科書の § 1.6, 1.7 を復習し関連する演習問題を自己学習すること。manabaの「確認テスト03」を受けること。</p>
5/10 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】 スポーツを力学で考える 【サブ・タイトル】 陸上記録の物理的解析 【キーワード】 uniform acceleration, effect of gravity, work and power 【到達目標】 筋力と仕事の関係を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 ジャンプのメカニズム 【サブ・タイトル】 垂直跳び, 走り高跳び, 立ち幅跳び, 走り幅跳びの記録を物理的に理解する 【キーワード】 vertical jump, running high jump, standing broad jump, running broad jump 【到達目標】 ジャンプの力学的なメカニズムをエネルギーや仕事の概念を使って説明できる。</p>	<p>発表・討論 【注意点】 講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】 グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 3.1, 3.2 を自己学習してくる こと。</p> <p>復習) 指定教科書の § 3.3~3.6 を復習し関連する演習問題を自己学習すること。manabaの「確認テスト04」を受けること。</p>
5/17 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】 空気中の落下運動 【サブ・タイトル】 空気抵抗がある場合の運動方程式 【キーワード】 motion though air, drag force 【到達目標】 空気抵抗がある場合の落下運動について、運動方程式を立てて解を求めることができる。</p> <p>【授業タイトル】 終端速度を算出してみる 【サブ・タイトル】 運動方程式を解いてみる 【キーワード】 air friction, terminal velocity 【到達目標】 落下運動の終端速度と物体のサイズの関係について説明できる。</p>	<p>発表・討論 【注意点】 講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】 グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。manabaの「確認テスト05」を受けること。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 3.7 を自己学習してくる こと。</p> <p>復習) 指定教科書の § 3.7 を復習し関連する演習問題を自己学習すること。</p>
5/24 (火)	清 裕一郎	<p>【【授業タイトル】 回転運動の物理 【サブ・タイトル】 角速度, 遠心力 【キーワード】 angular velocity, centrifugal force 【到達目標】 遠心力が現れる力学の応用問題が解ける。</p> <p>【授業タイトル】 角運動量と慣性モーメント 【サブ・タイトル】 回転しやすさを表す 【キーワード】 angular momentum, torque, moment of inertia 【到達目標】 簡単な形状の物体の慣性モーメントを計算することができる。</p>	<p>発表・討論 【注意点】 講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】 グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 4.1, 4.2 を自己学習してくる こと。</p> <p>復習) 指定教科書の § A.14~A.16 を復習し関連する演習問題を自己学習すること。manabaの「確認テスト06」を受けること。</p>

5/31 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】回転のエネルギー 【サブ・タイトル】実体振り子 【キーワード】physical pendulum, moment of inertia 【到達目標】大きさのある物体の回転運動のエネルギーを計算できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English I 【サブ・タイトル】Energy expended in running 【キーワード】rotational kinetic energy, moment of inertia of the leg 【到達目標】歩行動作の特性を物理振り子に見立てて説明できる。</p>	<p>発表・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 4.3, 4.4 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 指定教科書の § 4.5, 4.6 を復習し関連する演習問題を自己学習すること。manabaの「確認テスト07」を受けること。</p>
6/7 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】二つのばねをつないだり束ねて使ったら、ばね定数はいくらになるか？ 【サブ・タイトル】弾性体のひずみと応力 【キーワード】spring constant, elasticity, strain, stress 【到達目標】歩行動作の特性を物理振り子に見立てて説明できる。</p> <p>【授業タイトル】体の重みで脚はどれだけ縮むか？ 【サブ・タイトル】圧縮や引っ張りで骨が蓄えるエネルギー 【キーワード】Young's modulus, breaking stress, bone fracture 【到達目標】弾性体が蓄えるエネルギーを応力とヤング率から計算できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 5.0~5.3 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
6/14 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】飛び降りたときの骨折リスクは？ 【サブ・タイトル】着地の衝撃 【キーワード】impact force by falling and landing, collision time 【到達目標】運動量保存則を使って、着地で人体が受ける衝撃を求めることができる。</p> <p>【授業タイトル】衝突時の運命の分かれ目は？ 【サブ・タイトル】ハードランディングかソフトランディングか 【キーワード】rupture strength, airbags, whiplash injury in a rear-end collision 【到達目標】人体における動力学と筋肉・骨の破壊強度から、けがの危険を推測できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 5.4~5.9 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
6/21 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】チューブのどの場所を押しても、同じようにハミガキが出てくるのはなぜか？ 【サブ・タイトル】静水圧平衡とパスカルの原理 【キーワード】pressure, incompressible fluid, Pascal's principle 【到達目標】静止した非圧縮性流体におけるパスカルの原理とその応用例を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】水に浮かび続けるのに必要な仕事率は何ワットか？ 【サブ・タイトル】浮力と静水圧の関係 【キーワード】barometric formula, buoyancy, Archimedes' principle, power 【到達目標】圧力と浮力の関係を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 7.0~7.6 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>

6/28 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】大きい風船と小さい風船でどちらが内部の圧力が高いか？ 【サブ・タイトル】表面張力とは単位面積あたりの表面エネルギーでもある 【キーワード】 cohesion, surface tension, Laplace's law 【到達目標】表面張力を使って、ラプラスの法則を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】1円玉はなぜ水に浮くのか？ 【サブ・タイトル】表面張力の威力 【キーワード】 adhesion, contact angle, capillary action, surfactants 【到達目標】表面張力を使って、毛管現象と負の圧力を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 7.7~7.11 を自己学習してこよう。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
7/5 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】10m深く潜ると水圧は何気圧増すか？ 【サブ・タイトル】静止流体におけるエネルギー保存則と圧力 【キーワード】 hydrostatics, energy density 【到達目標】静水圧平衡の式を、流体におけるエネルギー保存則の観点から説明できる。</p> <p>【授業タイトル】完全流体の理想的流れとは？ 【サブ・タイトル】流体の運動におけるエネルギー保存：ベルヌーイの式 【キーワード】 streamline, Bernoulli's equation, flow rate, equation of continuity, perfect fluid, steady flow 【到達目標】側圧、静水圧、動圧を使ってベルヌーイの式を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 8.0~8.1 を自己学習してこよう。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
7/12 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】粘性のある流体が細い管内を流れると？ 【サブ・タイトル】粘性流体の定常流：層流 【キーワード】 viscosity, laminar flow 【到達目標】粘性と層流について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】静脈血圧が動脈血圧よりずっと低いのはなぜか？ 【サブ・タイトル】粘性による流れの抵抗と圧力降下：ポアズイユの法則 【キーワード】 Poiseuille's law, turbulent flow, Reynold's number, blood pressure, aorta. 【到達目標】ポアズイユの法則を用いて、血管における圧力降下を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 8.2~8.4 を自己学習してこよう。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>

7/19 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】逆立ちしたとき顔が真っ赤になるのは？ 【サブ・タイトル】ベルヌーイの式で理解するさまざまな部位の血圧 【キーワード】gauge pressure, arterial blood pressure in the head and the legs, systolic pressure, diastolic pressure 【到達目標】血流にベルヌーイの式を応用して、部位による血圧の違いを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English II 【サブ・タイトル】Pressure and flow in human body and medicine 【キーワード】power by the pumping action of the heart, hypodermic syringe, intravenous feeding, siphon, chest drainage 【到達目標】人体における圧力や流体力学から、血圧、血液循環と関連する医療器具のしくみを説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】アクティブラーニングの議論、質疑応答に積極的に取り組むこと。英語での演習と質疑応答にも挑戦！</p>	<p>予習) 指定教科書の § 8.5~8.11 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
9/20 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】音速は何で決まるか？ 【サブ・タイトル】縦波の伝播メカニズム 【キーワード】sinusoidal sound wave, speed of sound, bulk modulus 【到達目標】媒質のどんな性質から音速が決まるかについて、疎密波の伝播メカニズムの観点から推論できる。</p> <p>【授業タイトル】音波が運ぶエネルギー 【サブ・タイトル】媒質粒子の変位と音圧 【キーワード】sound pressure, acoustic impedance, intensity, decibel (dB) 【到達目標】音の正弦波に基づいて、音圧および音の強度を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 高校物理の波動の内容を見直してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
9/27 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】波動2-1、音響インピーダンス 【サブ・タイトル】音響インピーダンスとは何か 【キーワード】acoustic impedance, reflection and transmission 【到達目標】音響インピーダンスの意味を理解して、透過波/反射波の強度を計算できる。</p> <p>【授業タイトル】波動2-2、超音波 【サブ・タイトル】超音波で体内を見てみよう 【キーワード】Ultrasonography, Echolocation using Doppler effect 【到達目標】超音波診断装置のしくみと超音波画像がどのようにして作られるか理解し説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】積極的に演示実験や議論に参加すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】積極的に演示実験や議論に参加すること。</p>	<p>指定教科書の156ページから169ページを自己学習してここと。(予習)</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>
10/4 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】波動3、超音波の応用 【サブ・タイトル】超音波の医療への応用 【キーワード】sonogram, probe, artifact 【到達目標】超音波が医療機器にどのように利用されているか説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English III 【サブ・タイトル】Ultrasound for the human body 【キーワード】sonogram, probe, artifact 【到達目標】超音波が人体に与える影響を理解し説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】積極的に演示実験や議論に参加すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループで英語を用いて、問題に取り組む。</p>	<p>指定教科書の170ページから172ページを自己学習してここと。(予習)</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>

10/12 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】生体電気1-1. 電気回路と感電 【サブ・タイトル】感電するのはどんな時？ 【キーワード】Ohm law and electric circuit, electric battery and resistance 【到達目標】電気的基本的性質を理解し、基本問題が解ける。</p> <p>【授業タイトル】生体電気1-2. 心電図 【サブ・タイトル】心電図は何を測っているんだろう？ 【キーワード】Electrocardiogram (ECG), Kirchhoff's law 【到達目標】コンデンサー、抵抗などの電気回路を理解し、心電図の原理を理解する。</p>	<p>講義・討論 【注意点】積極的に 演習・討論 【注意点】積極的に</p>	<p>指定教科書の293ページから298ページを自己学習しておくこと。高校で学んだ物理・波について復習しておく。</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>
10/18 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】生体電気2-1. 軸索の形状と電気抵抗 【サブ・タイトル】人体内の電気の移動 【キーワード】Voltage, resistance, capacitance, length constant 【到達目標】軸索の形状から電気抵抗を計算できる。</p> <p>【授業タイトル】生体電気2-2. 細胞膜電位 【サブ・タイトル】細胞膜電位とは 【キーワード】Membrane potential, action potential, cell membrane 【到達目標】イオン、電位、熱平衡を理解し、細胞膜電位のしくみに応用できるようになる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】積極的に 演習・討論 【注意点】積極的に</p>	<p>指定教科書の173ページから180ページを自己学習しておくこと。(予習)</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>
10/25 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】生体電気3-1. 神経伝導 【サブ・タイトル】神経伝導を電気回路で考えよう 【キーワード】action potential, ion channel, voltage-gated channel 【到達目標】軸索の電気的な特性から長さ定数を計算し、その物理的な意味を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】生体電気3-2. 活動電位 【サブ・タイトル】活動電位の伝搬 【キーワード】Bioelectricity and neural transmission, Hodgkin-Huxley Model 【到達目標】細胞膜の電気的性質を理解し、活動電位の伝導に応用できるようになる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】積極的に 演習・討論 【注意点】積極的に</p>	<p>指定教科書の180ページから188ページを自己学習しておくこと。(予習)</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>
11/1 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】生体電気4. 人体と電気技術 【サブ・タイトル】電気技術の医療応用 【キーワード】Muscular contraction, electrocardiogram, electromyogram 【到達目標】人体における電気から、心電図・脳波計測など電気を用いた計測器について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussion in English IV 【サブ・タイトル】Bioelectricity -electrocardiogram・electroencephalogram- 【キーワード】Muscular contraction, electrocardiogram, electromyogram 【到達目標】神経伝導を理解するための物理法則について説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】積極的に 演習・討論 【注意点】グループで英語を用いて、問題に取り組む。</p>	<p>指定教科書の192ページから205ページを自己学習しておくこと。(予習)</p> <p>授業スライドを見直して、課題レポートを提出する。(復習)</p>

11/8 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】MR11: コマの力学 【サブ・タイトル】ベクトルの内積と外積 【キーワード】 inner product, outer product, angular momentum 【到達目標】ベクトルの外積について説明できる。外積の幾何学的な意味を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】MR11: コマの力学 【サブ・タイトル】剛体の運動方程式 【キーワード】 gyroscopic precession, conservation of angular momentum 【到達目標】コマの運動方程式を立式して、その解を求めることができる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 予習プリント(ベクトルの外積)について自己学習すること。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト22」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>
11/22 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】MR12:プロトン・スピン 【サブ・タイトル】スピンと磁石の関係 【キーワード】 spin, magnetic moment, gyromagnetic ratio, 【到達目標】プロトン・スピンの磁気モーメントの関係について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】MR12:プロトン・スピン 【サブ・タイトル】スピンの歳差運動 【キーワード】 Larmor frequency, precession, rotating frame 【到達目標】スピンの歳差運動について運動方程式を用いて説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 前期人体物理で学んだ「慣性モーメント」、「トルク」を復習して臨むこと。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト23」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>
11/29 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】MR13:核磁気共鳴 【サブ・タイトル】電磁波でスピンを操る 【キーワード】 nuclear magnetic resonance, radio frequency, Bloch equation 【到達目標】核磁気共鳴とラーマー周波数の関係について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】MR13:核磁気共鳴 【サブ・タイトル】縦緩和・横緩和 【キーワード】 longitudinal relaxation time, transverse relaxation time 【到達目標】磁場中の核磁化の励起と緩和について物理的なピクチャーを説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の§17.2.1を自己学習してこること。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト24」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>
12/6 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】MR14:FIDシグナル 【サブ・タイトル】電磁誘導とシグナル測定 【キーワード】 free induction decay, Faraday's law, electromagnetic induction 【到達目標】電磁誘導の法則とFIDシグナルの関係を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】MR14:FIDシグナル 【サブ・タイトル】T1強調画像・T2強調画像 【キーワード】 spin echo, exponential decay, relaxation time, T1 weighted image, T2 weighted image, density weighted image 【到達目標】T1強調画像とT2強調画像の特徴を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書§17.2.2を自己学習してこること。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト25」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>

12/13 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】MRI5：まとめと確認テスト 【サブ・タイトル】MRI画像はどのようにして作られる 【キーワード】fourier imaging, NMR imaging 【到達目標】核磁気共鳴とMRI画像の関係について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussion in English V 【サブ・タイトル】医療とMRI 【キーワード】NMR imaging, functional MRI 【到達目標】静磁場の人体への影響とMRIの安全性について説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループで演習問題に取り組み、解答を英語で発表してみよう。</p>	<p>予習) 配布プリント(MRI1~4)を復習して授業に臨むこと。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト26」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>
12/20 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】放射線1:放射性物質と放射線 【サブ・タイトル】放射性物質と放射線の違いは? 【キーワード】half-life, radioactive isotope, radial rays, alpha ray, beta ray, gamma ray 【到達目標】放射性物質と放射線について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】放射線1:放射性物質と放射線 【サブ・タイトル】放射線量の単位 【キーワード】Units of radiation dose: Bq, Gry, Sv 【到達目標】放射線量に関する単位について説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループ・ワークに取り組み、活発に議論すること。</p>	<p>予習) 指定教科書 §16.5を自己学習してくること。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト22」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>
1/10 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】放射線2：まとめと確認テスト 【サブ・タイトル】物理学的半減期と生物学的半減期 【キーワード】physical half-life, biological half-life 【到達目標】放射線の医療への応用について説明できる。放射線防護の3原則について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussion in English VI 【サブ・タイトル】放射線が人体に与える影響 【キーワード】Bq, Gy, Sv 【到達目標】放射線が人体に与える影響を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】講義中は集中して、グループ・ワークに必要な基礎知識を習得すること。</p> <p>演習・討論 【注意点】グループで演習問題に取り組み、解答を英語で発表してみよう。</p>	<p>予習) 配布プリント(放射線1~3)を復習して授業に臨むこと。</p> <p>復習) manabaの「確認テスト28」を受け、関連する演習問題を自己学習すること。</p>

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	人体物理学	授業形態	講義
英語科目名	Physics of the Human Body	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	矢田 雅哉	ナンバリング	
担当教員	矢田 雅哉、田中 和廣、清 裕一郎、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>・ 人体を形作る骨や筋肉は、それらにかかる力の大きさや向き・それらの動きも、力学法則に従っている。また、血液のような流体の運動も、力学法則に従っている。前期は、これら人体の現象のしくみを理解するために、質点の力学から剛体や弾性体の力学、さらに流体の力学まで、具体例と照らし合わせながら勉強する。</p> <p>・ 呼吸や心臓の動きを引き起こす筋肉活動は神経によって制御されており、神経活動は電気が惹き起こしている。医療検査や治療の多くに電磁気学の法則が応用されており、超音波や原子内部の法則も応用されている。後期は、それらのしくみを理解するために、音波、電磁気学、原子核や放射線まで、具体例と照らし合わせながら勉強する。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 力学及び電磁気学から原子核や放射線までの物理の基本を習得し、人体及び医療における物理現象を理解し説明できるようになる。 ・ 静力学における「力のつりあい・力のモーメントのつりあい」、動力学における「運動方程式」「運動量・エネルギー・角運動量の保存」を理解し、応用できるようになる。 ・ 電磁気学における「静電場」「電気回路」「電磁波」「生体電気」「磁気とMRI」の原理を理解し、超音波や放射線の人体への影響を説明できるようになる。 <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 力のつりあい・力のモーメントのつりあいをを用いて、ボディメカニクスを説明できる。 2. 運動方程式および運動量・エネルギーの計算を用いて、着地や衝突による人体への力学的影響を説明できる。 3. ベルヌーイの式及びボアズイユの法則を説明でき、血圧や血流に応用できる。 4. 音波の性質を理解して、超音波による距離測定・血流速度測定や超音波画像診断のしくみを説明できる。 5. 細胞膜電位の発生および活動電位の伝導を、神経線維の電気的特性と物理法則に関連づけて説明できる。 6. 原子、原子核から発生する放射線の種類、性質、単位を理解し、放射線の生体への影響や医療への応用を説明できる。 7. プロトンの持つ磁気モーメントと電磁場との相互作用を理解し、核磁気共鳴の原理からMRI画像の構成を説明できる。 		
授業の位置づけ	(後日教務課にて入力)		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	物理学を通して「人体や医療における物理現象に関する知識」を修得する事が関連している。		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業には積極的に参加することが重要である。疑問に思ったことについて、積極的に質問し、議論を通じて理解をしていくように努めること。 ・ 演習問題、参考プリント等を授業中に配布またはmanabaで配信するので、自主的に学習すること。自分の手のためして確認し、考察し、話し合っ理解を深めよう。 ・ 授業日程は、授業の進行状況により多少前後することがある。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	成績評価方法：定期試験(70%)、課題レポート(30%)、積極的な参加態度を総合的に評価する。
------	---

評価基準	<p>成績評価基準：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 力学・電磁気学等の問題について、その背景を具体的に述べる事ができる（課題レポート） 2. 力学・電磁気学等の基本的な用語の意味を理解している（定期試験） 3. 力学・電磁気学等の法則性について、論理的に説明できる（定期試験） 4. 力学・電磁気学等の基本法則を人体の現象に適用し、結果を説明できる（課題レポート、定期試験） 5. 授業中の発言やプレテスト・ポストテスト、グループワークの取組状況によって受講態度を評価する
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（プレテスト、小テスト、レポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

【指定教科書】
 “Physics in Biology and Medicine” Paul Davidovits, Academic Press

【参考教科書】
 「生命科学のための基礎シリーズ 物理」 大島泰郎（監修） 実教出版

【参考書】
 「身近な素材で実験する物理」 初田真知子、伊地知国男、矢田雅哉 丸善出版
 「医療系のための物理学入門」 木下順二 講談社（KS医学・薬学専門書）
 「医療系の基礎としての物理」 廣岡秀明、崔東学、古川裕之、他 学術図書出版社
 「医歯系の物理学」 赤野松太郎、鮎川武二、藤城敏幸、村田 浩 東京教学社
 「物理学入門から医用物理へ（改訂新版）」 本間康浩 フイツーソリューション
 「ライフサイエンス物理学」 シュテルンハイム、ケイン 廣川書店
 「物理学の基礎 1～3」 ハリディ、レスニック、ウォーカー 培風館
 「ファインマン物理学 1 力学」 坪井忠二訳 岩波書店

その他	
連絡先・オフィスアワー	矢田 雅哉: 月曜 12:30 - 15:30 さくらキャンパス1号館3階1315号室: m-yata[at]juntendo.ac.jp 清 裕一郎: 木曜 12:30 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1316号室 田中 和廣: 火曜 11:00 - 17:00 本郷キャンパス7号館3階生理系実習室、木曜 09:00 - 15:00 さくらキャンパス1号館3階1314号室
担当教員の実務経験	-
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習: 指定教科書“Physics in Biology and Medicine” Paul Davidovits の指定箇所をあらかじめ読んでおくこと。 ・ 復習: 学習箇所を復習し指定教科書のEXERCISESに挑戦すること。疑問等が湧いてきたら次回の講義でクラスで議論しよう。 ・ 課題レポート: 独自に考察した内容は順序立てて論理的に説明を記述する。調べた内容は自分の論理・切り口で再構築し、理解を助ける図式等を用いて説明を記述すること。ネット検索のみならず、テキストや書籍で内容を確認するように習慣づけるとよい。他の人の書いたものやネット・書籍の内容の丸写しは厳禁である。 【自己学習(準備学習)に必要な時間】 1時限あたり 予習: 45分, 復習: 45分

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
4/12 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】物理学と単位の基礎1 【サブ・タイトル】単位って何?どこで使われる? 【キーワード】 International System of Units, MKS and cgs system of units, Significant figures 【到達目標】物理単位の意味と用法を理解し、適切に用いることができる。</p> <p>【授業タイトル】物理学と単位の基礎2 【サブ・タイトル】単位って何?どこで使われる? 【キーワード】 International System of Units, MKS and cgs system of units, Significant figures 【到達目標】物理単位の意味と用法を理解し、適切に用いることができる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に演示実験や議論に参加すること。</p>	指定教科書の略語一覧、1ページから8ページを自己学習してくる。講義内容をまとめておく(復習)。
4/19 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】静力学の基礎1 【サブ・タイトル】アーチ橋はなぜ強い? 【キーワード】 vector, addition and decomposition of forces, static equilibrium, 【到達目標】力のつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】静力学の基礎2 【サブ・タイトル】アーチ橋はなぜ強い? 【キーワード】 vector, addition and decomposition of forces, static equilibrium, 【到達目標】力のつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に演示実験や議論に参加すること。</p>	指定教科書の1ページから8ページを自己学習してくる。講義内容をまとめておく(復習)。

4/26 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】からだの静力学1 【サブ・タイトル】人体に生じる力のつり合い 【キーワード】vector, addition and decomposition of forces, static equilibrium, forces by skeletal muscles 【到達目標】力のつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】からだの静力学2 【サブ・タイトル】人体に生じる力のつり合い 【キーワード】vector, addition and decomposition of forces, static equilibrium, forces by skeletal muscles 【到達目標】力のつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に 演示実験や議論 に参加すること。</p>	<p>指定教科書の1ページから8ページを自己学習 してこよう。講義内容をまとめておく（復 習）。</p>
5/10 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】からだの安定性は何で決まるのか？1 【サブ・タイトル】人体の重心はどこだ？ 【キーワード】center of mass, torque, three types of levers, fulcrum, stability of bodies 【到達目標】力のモーメントのつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】からだの安定性は何で決まるのか？2 【サブ・タイトル】人体の重心はどこだ？ 【キーワード】center of mass, torque, three types of levers, fulcrum, stability of bodies 【到達目標】力のモーメントのつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>積極的に演示実験 や議論に参加する こと。</p>	<p>指定教科書の3ページから6ページと56ページ から58ページを自己学習してこよう。講義 内容をまとめておく（復習）。</p>
5/17 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】関節の静力学1 【サブ・タイトル】腰への負担はどのくらい？ 【キーワード】lever model, pivot point, force and torque balance 【到達目標】力と力のモーメントのつり合いを理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English I 【サブ・タイトル】Statics of human body -arm, hip, lower back, foot- 【キーワード】elbow with a weight, bent back, standing tip-toe 【到達目標】人体における静力学を活かした看護への利用などを考える。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的 に演示実験や議論 に参加すること。</p> <p>講義・討論</p> <p>【注意点】グルー プで英語を用い て、問題に取り組 む。</p>	<p>・力と力のモーメントのつり合いを理解し、 人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>・人体における静力学を活かした看護への利 用などを考える。</p>
5/24 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】並進運動と衝突1 【サブ・タイトル】コインを衝突させると、どうなる？ 【キーワード】velocity, Newton's cradle, conservation of momentum 【到達目標】速度、運動量及び力積を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】並進運動と衝突2 【サブ・タイトル】コインを衝突させると、どうなる？ 【キーワード】velocity, Newton's cradle, conservation of momentum 【到達目標】速度、運動量及び力積を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的 に演示実験や議論 に参加すること。</p>	<p>指定教科書の275ページを自己学習してくるこ と。講義内容をまとめておく（復習）。</p>

5/31 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】摩擦とエネルギーと仕事1 【サブ・タイトル】エネルギーって何だろう？ 【キーワード】friction, energy, work 【到達目標】エネルギーの保存と仕事、摩擦の影響を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】摩擦とエネルギーと仕事2 【サブ・タイトル】エネルギーって何だろう？ 【キーワード】friction, energy, work 【到達目標】エネルギーの保存と仕事、摩擦の影響を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に 演示実験や議論 に参加すること。</p>	<p>指定教科書の29-43ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>
6/7 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】さまざまな動作の運動学1 【サブ・タイトル】小球の運動を考えよう 【キーワード】parabolic motion, free fall 【到達目標】自由落下及び放物運動を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】さまざまな動作の動力学2 【サブ・タイトル】小球の運動を考えよう 【キーワード】parabolic motion, free fall 【到達目標】自由落下及び運動方程式を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に 演示実験や議論 に参加すること。</p>	<p>指定教科書の30-42ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>
6/14 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】さまざまな動作の運動学3 【サブ・タイトル】運動の法則 【キーワード】uniform acceleration, action-reaction law, equation of motion 【到達目標】運動の三法則を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English II 【サブ・タイトル】Dynamics in human body -bone fracture due to a fall- 【キーワード】impact force by falling and landing, whiplash injury in a rear-end collision 【到達目標】人体における動力学から、衝撃やけがについて、応用を考える。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に 演示実験や議論 に参加すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】グルー プで英語を用い て、問題に取り組 む。</p>	<p>指定教科書の274ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>
6/21 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】回転運動と物理振り子の動力学1 【サブ・タイトル】歩行とランニングの動作の振り子モデル 【キーワード】centrifugal force, angular velocity, moment of inertia, frequency 【到達目標】回転運動を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】回転運動と物理振り子の動力学2 【サブ・タイトル】歩行とランニングの動作の振り子モデル 【キーワード】centrifugal force, angular velocity, moment of inertia, frequency 【到達目標】回転運動を理解し、力学の基礎問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】積極的に 演示実験や議論 に参加すること。</p>	<p>指定教科書の45-59ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>

6/28 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】 静止している流体1 【サブ・タイトル】 からだの中の圧力 【キーワード】 pressure, Pascal' s principle, buoyancy of aquatic animals 【到達目標】 圧力を理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】 静止している流体2 【サブ・タイトル】 からだの中の圧力 【キーワード】 pressure, Pascal' s principle, buoyancy of aquatic animals 【到達目標】 圧力を理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】 積極的に 演示実験や議論 に参加すること。</p>	<p>指定教科書の82-99ページを自己学習してくること</p>
7/5 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】 流体の圧力と流速1 【サブ・タイトル】 胃洗浄をしてみよう 【キーワード】 Bernoulli' s law, siphon 【到達目標】 流体の法則を理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】 流体の圧力と流速2 【サブ・タイトル】 胃洗浄をしてみよう 【キーワード】 Bernoulli' s law, siphon 【到達目標】 流体の法則を理解し、人体への応用問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】 積極的に 演示実験や議論 に参加すること。</p>	<p>指定教科書の101-102, 107-113ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>
7/12 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】 粘性のある流体の運動1 【サブ・タイトル】 ドロドロ血液だどう流れる？ 【キーワード】 viscosity, Poiseuille' s law, blood pressure 【到達目標】 粘性流体の法則を理解し、血圧との関係の問題が解けるようになる。</p> <p>【授業タイトル】 粘性のある流体の運動2 【サブ・タイトル】 ドロドロ血液だどう流れる？ 【キーワード】 viscosity, Poiseuille' s law, blood pressure 【到達目標】 粘性流体の法則を理解し、血圧との関係の問題が解けるようになる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】 積極的に 演示実験や議論 に参加すること。</p>	<p>指定教科書の103-115ページを自己学習してくること。講義内容をまとめておく(復習)。</p>

7/19 (火)	矢田 雅哉	<p>【授業タイトル】生体における流体現象 【サブ・タイトル】血流のエネルギー論 【キーワード】Bernoulli' s law, viscosity, blood pressure, 【到達目標】人体における圧力や流体力学から、循環や看護応用などを考える。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussions in English III 【サブ・タイトル】Pressure and flow in human body 【キーワード】pressure, Pascal' s principle, Bernoulli' s law, Poiseuille' s law, buoyancy of aquatic animals 【到達目標】人体における圧力や流体力学から、循環や看護応用などを考える。</p>	<p>講義・討論 【注意点】積極的に に演示実験や議論 に参加すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】グルー プで英語を用い て、問題に取り組 む。</p>	<p>指定教科書の114-115ページを自己学習してく ること。講義内容をまとめておく（復習）。</p>
9/20 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】超音波の特性 【サブ・タイトル】超音波で距離を測る 【キーワード】period, frequency, wavelength, speed of sound, hertz (Hz) 【到達目標】波動に関する基本的な用語を理解して、波形を描くことができる。</p> <p>【授業タイトル】分解能、最大観測深度 【サブ・タイトル】コウモリは音で餌の位置を見る 【キーワード】resolution, pulse repetition period 【到達目標】パルス波のグラフから、パルス長、繰り返し周期を読み取ることができる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃 しのないよう集中 力を高め、問いか けに積極的に応答 すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問 題と質疑応答にア クティブラーニン グとして積極的に 取り組むこと。</p>	<p>予習) 前期「物理学入門」で実習した「オン ロスコープによる波形観測実験」を見直し、 今後の14回の授業の日程を確認してく ること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課 題に挑戦しよう。指定教科書の§12.0~12.1 と関連する章末問題を自己学習すること。</p>
9/27 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】超音波の伝搬 【サブ・タイトル】生体内を伝搬する超音波 【キーワード】propagation of ultrasound: intensity, attenuation, loudness 【到達目標】体内における超音波の伝搬経路と減衰の関係を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】超音波の反射、透過 【サブ・タイトル】超音波の反射はどこで起こる？ 【キーワード】reflection and transmission, acoustic impedance 【到達目標】音響インピーダンスから透過波/反射波の強度を計算できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃 しのないよう集中 力を高め、問いか けに積極的に応答 すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問 題と質疑応答にア クティブラーニン グとして積極的に 取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の§12.2.0, 12.2.2 を自己 学習してくること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課 題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末 問題を自己学習すること。</p>
10/4 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】超音波画像 【サブ・タイトル】超音波で体内を見る 【キーワード】Ultrasound imaging, pulse echolocation 【到達目標】超音波画像がどのようにして作られるか理解し説明できる</p> <p>【授業タイトル】A-mode, B-mode画像 【サブ・タイトル】音に色を付ける 【キーワード】probe, A-mode, B-mode, M-mode 【到達目標】A-mode画像, B-mode画像について説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃 しのないよう集中 力を高め、問いか けに積極的に応答 すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問 題と質疑応答にア クティブラーニン グとして積極的に 取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の§12.2.1, 12.2.3~ 12.3.3 を自己学習してくること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課 題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末 問題を自己学習すること。</p>

10/11 (火)	清 裕一郎	<p>【授業タイトル】ドップラー法 【サブ・タイトル】運動と波の関係 【キーワード】Doppler effect, speed of observer, speed of source, frequency change 【到達目標】ドップラー法を用いた血流測定を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】反射・屈折の法則 【サブ・タイトル】超音波画像とアーチファクト 【キーワード】Snell's law, refraction, diffraction 【到達目標】屈折の法則を理解し、超音波画像に現れるアーチファクトについて説明できる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 12.8 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
10/18 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電気理論の基礎 【サブ・タイトル】電場と電気力線 【キーワード】Coulomb's law, field lines, electric field 【到達目標】クーロンの法則と電場との関係を説明でき、電場を電気力線で表現できる。</p> <p>【授業タイトル】電気量 Q から出る電気力線の総本数は? 【サブ・タイトル】ガウスの法則 【キーワード】Coulomb's law, field lines, electric field 【到達目標】ガウスの法則を電気力線の本数と電場の強さの関係を用いて説明できる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論</p> <p>【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 前期「物理学入門」で実習した「電気力と電場」を見直し、指定教科書のAppendix B の § B.1~B.2 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
10/25 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電気量が分布したときの電位 【サブ・タイトル】平面が一様に帯電したときの電気力線 【キーワード】potential energy, voltage, capacitance 【到達目標】ガウスの法則を用いてコンデンサーの電気容量を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】雷雲に蓄えられたエネルギーは? 【サブ・タイトル】コンデンサーの静電エネルギー 【キーワード】capacitor, energy storage 【到達目標】コンデンサーが蓄える静電エネルギーを説明できる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論</p> <p>【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書のAppendix B の § B.3, B.5.2 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題を自己学習すること。</p>
11/1 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電気が流れると 【サブ・タイトル】電気抵抗のミクロなメカニズム 【キーワード】electric current, Ohm's law, resistance, power dissipated in resistor 【到達目標】オームの法則を金属中の電子の運動から説明できる。</p> <p>【授業タイトル】Exercises and discussion in English V 【サブ・タイトル】Physiological effects of electricity 【キーワード】electrical shock, pain, dissipation of electrical energy 【到達目標】感電のリスクが何に左右されるのか説明できる。</p>	<p>講義・討論</p> <p>【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論</p> <p>【注意点】アクティブラーニングの議論、質疑応答に積極的に取り組むこと。英語での演習と質疑応答にも挑戦!</p>	<p>予習) 指定教科書のAppendix B の § B.4, B.5.1 を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>

11/8 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電気回路を1周したときの電位の変化の合計は？ 【サブ・タイトル】キルヒホッフの法則 【キーワード】Kirchhoff's law, current conservation, voltage drop 【到達目標】キルヒホッフの法則を用いて、直列接続や並列接続の合成抵抗を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】コンデンサーの充電と放電 【サブ・タイトル】過渡現象と時定数 【キーワード】RC circuit, capacitor charging, capacitor discharging, time constant 【到達目標】コンデンサーの充電と放電の時定数を、電気容量と電気抵抗から計算できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書のAppendix B の §B. 5. 0, B. 6 を自己学習してくること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
11/22 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】軸索における電位 【サブ・タイトル】静止電位と活動電位 【キーワード】neuron, axon membrane, membrane potential, resting potential, nerve impulse, action potential 【到達目標】細胞膜内外の電位差の発生機構について概説できる。</p> <p>【授業タイトル】電気ケーブルとしての軸索 【サブ・タイトル】細胞膜の電気抵抗と電気容量 【キーワード】electrical cable, leaky insulator 【到達目標】軸索の形状から抵抗と容量を計算できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 13. 0~13. 1. 4を自己学習してくること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
11/29 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】軸索回路の解析 【サブ・タイトル】軸索中の電気伝導モデル 【キーワード】axon circuit, equivalent resistor 【到達目標】軸索の等価回路によるモデル化を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】弱い刺激に対する応答 【サブ・タイトル】電気刺激の減衰と長さ定数 【キーワード】voltage attenuation, length constant 【到達目標】軸索の電気的な特性から“長さ定数λ”を計算し、その物理的な意味を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 13. 1. 6を自己学習してくること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
12/6 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】活動電位はどのようにして伝播するのか？ 【サブ・タイトル】インパルスの伝導 【キーワード】voltage-gated channel, nonmyelinated axon 【到達目標】活動電位の伝播を可能にする動的メカニズムを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】軸索の興奮伝導の速さ 【サブ・タイトル】動物によって興奮伝導の速さはなぜ違うのか？ 【キーワード】conduction speed, myelinated axon 【到達目標】無髄神経線維と有髄神経線維の伝播速度の違いを、細胞膜の電気的な特性から推論できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書の § 13. 1. 5を自己学習してくること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>

12/13 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】光は電磁波でもあり光子でもある 【サブ・タイトル】量子論と電子の波動性 【キーワード】 wave-particle duality, matter wave, de Broglie's hypothesis, Planck constant 【到達目標】光が粒子性をもつことの証拠、電子が波動性をもつことの証拠を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】量子力学がもたらす新しい探索法・検査法 【サブ・タイトル】電子顕微鏡、X線CT 【キーワード】 quantum mechanics, electron microscope, X-ray computerized tomography, diffraction 【到達目標】電子顕微鏡の分解能を光学顕微鏡と対比して説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書 § 16.3~16.6を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
12/20 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電子殻とエネルギー準位 【サブ・タイトル】ボーアの量子条件 【キーワード】 allowed orbit, energy level, ground state, excited state, transition 【到達目標】K殻、L殻、M殻等の電子殻と電子軌道・エネルギー準位の対応を概説できる。</p> <p>【授業タイトル】原子が出す光はどんな色か？ 【サブ・タイトル】離散スペクトルか連続スペクトルか 【キーワード】 spectrometer, spectral line, absorption spectrum, X-ray, highly excited atoms 【到達目標】原子による光の吸収と放出、およびX線の発生原理を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書 § 16.0~16.2を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>
1/10 (火)	田中 和廣	<p>【授業タイトル】電子スピン共鳴 【サブ・タイトル】波動性のほかに電子の驚くべき性質がもう一つあった！ 【キーワード】 spin, magnetic moment, Larmor frequency, microwave frequency, ESR 【到達目標】磁場中での原子のエネルギー準位の分裂と電子スピン共鳴の関係について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】核磁気共鳴とMRI 【サブ・タイトル】磁場中の水素原子核の振る舞い 【キーワード】 NMR, radio frequency, MRI, magnetic field gradient, functional MRI 【到達目標】核磁気共鳴を電子スピン共鳴と対比して説明でき、勾配磁場中の核磁気共鳴による空間分布の画像化を説明できる。</p>	<p>講義・討論 【注意点】聞き逃しのないよう集中力を高め、問いかけに積極的に応答すること。</p> <p>講義・討論 【注意点】演習問題と質疑応答にアクティブラーニングとして積極的に取り組むこと。</p>	<p>予習) 指定教科書 § 17.1~17.2を自己学習してこること。</p> <p>復習) 授業スライドを復習し復習レポート課題に挑戦しよう。指定教科書の関連する章末問題を自己学習すること。</p>

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	細胞生物学	授業形態	講義
英語科目名	Essential Cell Biology	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	松本 顕	ナンバリング	
担当教員	松本 顕、内田 桂吉、和田 麻理、R.ウィットイア、枝松 裕紀、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>生物の基本単位は”細胞”であり、その機能や構造を学ぶことは、医学を学ぶ上でも大変に重要である。本講義では、図・文章ともに大変にわかりやすいと定評がある「エッセンシャル細胞生物学」を教科書として細胞に関する以下の基礎知識を学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の構造・成分・形態 2. 細胞がエネルギーを獲得するしくみ（呼吸と代謝） 3. 遺伝子の構造とその複製のしくみ（分子遺伝学の基礎） 4. 遺伝子の情報をもとにタンパク質が作られるしくみ 5. 細胞での情報伝達のしくみ 6. 細胞が分裂するしくみ <p>学習がある程度進展する毎に、日英両方の専門用語を用いた演習を行う（日程表に「細胞生物学演習」と記載）。演習には英語での質疑応答、口頭発表、レポートを含む。これ以外にも、不定期に英語での講義、発音練習、グループ討論、プレゼンテーションを行う。英語演習は主としてProf. Whittierが担当する。</p>		
到達目標	<p>【一般目標】 上記6項目について、専門用語を日英両方で理解し、基本的な概念を自分の言葉で説明できるようになる。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の構造・成分・形態に関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。 2. 呼吸と代謝に関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。 3. 遺伝子の構造と複製の仕組みに関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。 4. 転写と翻訳の仕組みに関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。 5. 細胞での情報伝達に関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。 6. 細胞分裂と発生の仕組みに関して、日英両方の専門用語を用いて説明することができる。 7. 学んだ知識を、2年次以降での基礎医学系講義に活用することができる。 		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	・ 専門用語、キーワードは日英両方で覚えること。指定教科書の章末の演習問題には英語でも解答できることが望ましい。
-------------	--

成績評価の方法

評価方法	定期試験（前後期ごとに行う）、プレテスト、ポストテスト、レポート、平常点（出席回数および学習態度など）を総合して評価する。
------	---

評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「細胞」に関して基本的な用語の意味を理解している（定期試験、プレテスト、ポストテスト、レポート） 2. 「細胞」の機能や構造に関して論理的に説明できる（定期試験、プレテスト、ポストテスト、レポート） 3. 出席回数、授業中の発言、グループワーク、プレテストおよびレポートへの取り組み状況によって学習態度を評価する（平常点）
------	--

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

<p>【指定教科書】 エッセンシャル細胞生物学 第5版（南江堂）。原書” Essential Cell Biology 4th edition”（Garland Science）の併読を勧める。提示される英単語、演習問題、討論課題は原書からの出典とする。</p> <p>【参考書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サイエンスビュー生物総合資料 実教出版 2. ニューステージ生物図表 浜島書店 3. ダイナミックワイド図説生物 東京書籍 4. 現代生物学 ウォーレス 東京化学同人 5. 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 羊土社 6. 生命科学 羊土社 7. キャンベル生物学 丸善
--

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	<p>【連絡先】 科目責任者：生物 松本顕 （各回の担当者に連絡する前に科目責任者に連絡してください） E-mail: amatsumo[at]juntendo.ac.jp ※[at]を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：前後期を通して基本的には昼休み 場所：生物松本の研究室はさくらキャンパスのため、面談が必要な場合は事前に連絡をください。対面での面談、もしくはZoomでの面談を設定します。メールでの相談は随時受け付けます。</p>			
担当教員の実務経験				
備考	<p>・講義前に指定教科書の該当章を熟読すること。講義後にも、もう一度該当章を熟読し、章末の演習問題に取り組むこと。 ・高校での「生物Ⅰ」「生物Ⅱ」あるいは「生物基礎」「生物」の内容に自信のない者は、高校の授業で使用するいわゆる“図表”（たとえば参考書欄にリストアップされている#1～3の図説。もちろん、それら以外でも構わない）を1冊入手して、適宜参考にするを勧めらる。</p> <p>・本郷キャンパスの時間割にしたがった時間帯で講義を行う。すなわち、9:00～9:45の45分講義、5分休憩、9:50～10:35の45分講義を1回（1時限）とする。このため、以下の「授業内容」欄には、例え同一内容の講義であっても、前半後半の2つに分けた記載をしている。</p> <p>【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分</p>			
4/13 (水)	神経生物学・ 形態学講座 小池 正人	<p>【授業タイトル】医学を学ぶ基盤となる生物学の知識とは？ 【サブ・タイトル】医学部における生物学の2つの大きな軸：細胞と器官系 【キーワード】人体の階層性、分子、細胞内小器官、細胞、組織、臓器(器官)、器官系 【到達目標】①教養課程の生物学と基礎医学の諸科目との関連性について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 【サブ・タイトル】医学部における生物学の2つの大きな軸：細胞と器官系 【キーワード】人体の階層性、分子、細胞内小器官、細胞、組織、臓器(器官)、器官系 【到達目標】②人体の器官系と関連する臓器について概説できる。 ③人体を構成する細胞に共通する構造について概説できる。</p>	講義 【注意点】準備学習の内容を基に双方向授業を行います。	①基礎医学の諸科目、 ②人体の器官系と関連する臓器(器官)について事前に調べておくこと。 ③細胞内小器官について事前に調べておくこと。
4/20 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】細胞とは 【サブ・タイトル】原核細胞と真核細胞 【キーワード】prokaryote, eukaryote 【到達目標】原核細胞から、真核細胞への進化を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞とは 【サブ・タイトル】細胞小器官 【キーワード】organelle, cytosol, mitochondria 【到達目標】細胞小器官の各機能を説明できる。</p>	講義 【注意点】指定教科書を持参すること。	指定教科書の第1章について自己学習してくること。

4/27 (水)	枝松 裕紀	<p>【授業タイトル】代謝 【サブ・タイトル】化学結合 【キーワード】 chemical bond, ionic bond, covalent bond 【到達目標】細胞を構成する分子の化学的特性を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】代謝 【サブ・タイトル】酵素反応 【キーワード】 hydrophilic, hydrophobic 【到達目標】細胞を構成する分子の化学的特性を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第3章について自己学習してくること。</p>
5/11 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】細胞生物学演習① 【サブ・タイトル】細胞の構造と成分に関するまとめと英語での演習 【キーワード】 organelle, prokaryote, eukaryote 【到達目標】細胞構造と細胞をつくる分子について日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞生物学演習① 【サブ・タイトル】細胞の構造と成分に関するまとめと英語での演習 【キーワード】 carbohydrates, H2O, lipid bilayer 【到達目標】細胞構造と細胞をつくる分子について日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。(原書が望ましい)</p>	<p>指定教科書の第1～4章について自己学習してくること。</p>
5/18 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】遺伝情報とは何か① 【サブ・タイトル】DNAと染色体 【キーワード】 double helix, chromatin, histone 【到達目標】DNAと染色体の構造を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】遺伝情報とは何か① 【サブ・タイトル】DNAと染色体 【キーワード】 nucleosome, heterochromatin 【到達目標】DNAと染色体の構造を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第5章について自己学習してくること。</p>
5/25 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】遺伝情報とは何か② 【サブ・タイトル】DNAの複製の仕組み 【キーワード】 DNA replication 【到達目標】DNAの半保存的複製を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】遺伝情報とは何か② 【サブ・タイトル】DNAの複製の仕組み 【キーワード】 replication fork 【到達目標】DNAの半保存的複製を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第6章について自己学習してくること。</p>

6/1 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】 遺伝情報とは何か③ 【サブ・タイトル】 DNAの修復の仕組み 【キーワード】 proof reading 【到達目標】 DNAの損傷と修復の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝情報とは何か③ 【サブ・タイトル】 DNAの修復の仕組み 【キーワード】 DNA repair 【到達目標】 DNAの損傷と修復の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	指定教科書の第6章について自己学習してくること。
6/15 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】 細胞生物学演習②（英語による演習） 【サブ・タイトル】 DNAの構造、複製、修復に関するまとめと英語での演習 【キーワード】 DNA, double helix, chromatin, nucleosomes 【到達目標】 DNAの構造と複製、修復について日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 細胞生物学演習②（英語による演習） 【サブ・タイトル】 DNAの構造、複製、修復に関するまとめと英語での演習 【キーワード】 DNA replication, DNA repair 【到達目標】 DNAの構造と複製、修復について日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。（原書が望ましい）</p>	指定教科書の第5章、第6章について自己学習してくること。
6/18 (土)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】 遺伝情報を伝達する仕組み① 【サブ・タイトル】 DNA～RNA転写 【キーワード】 transcription, mRNA, transcription factor 【到達目標】 遺伝子の転写の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝情報を伝達する仕組み① 【サブ・タイトル】 DNA～RNA転写 【キーワード】 splicing, genetic code, exon, intron 【到達目標】 遺伝子の転写の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	指定教科書の第7章前半：転写～pp. 243について自己学習してくること。
6/22 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】 遺伝情報を伝達する仕組み② 【サブ・タイトル】 RNA～タンパク質 翻訳 【キーワード】 translation, protein, tRNA 【到達目標】 遺伝子の翻訳の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝情報を伝達する仕組み② 【サブ・タイトル】 RNA～タンパク質 翻訳 【キーワード】 codon, anti-codon, ribosome 【到達目標】 遺伝子の翻訳の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	指定教科書の第7章後半：翻訳pp. 243～について自己学習してくること。

6/29 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】 遺伝子発現の調節① 【サブ・タイトル】 原核生物の転写調節 【キーワード】 regulatory DNA sequence, transcription regulator, operon 【到達目標】 転写調節の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝子発現の調節② 【サブ・タイトル】 真核生物の転写調節 【キーワード】 enhancer, combinatorial control, homeobox 【到達目標】 転写調節の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第8章について自己学習してくること。</p>
7/6 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】 遺伝子発現の調節③ 【サブ・タイトル】 転写後調節 【キーワード】 post-transcriptional control 【到達目標】 指定教科書の第8章について自己学習してくること。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝子発現の調節③ 【サブ・タイトル】 転写後調節 【キーワード】 RNAi, siRNA epigenetic inheritance 【到達目標】 指定教科書の第8章について自己学習してくること。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第8章について自己学習してくること。</p>
7/13 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】 遺伝子とゲノムの進化 【サブ・タイトル】 ゲノムの進化 【キーワード】 virus, gene duplication and divergence 【到達目標】 転写後調節の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】 遺伝子とゲノムの進化 【サブ・タイトル】 ヒトゲノムの解読 【キーワード】 human genome 【到達目標】 ヒトゲノムの概要を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第9章について自己学習してくること。</p>

7/20 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】細胞生物学演習③（英語による演習） 【サブ・タイトル】遺伝子発現の調節に関するまとめと英語での演習 【キーワード】transcription, translation 【到達目標】遺伝子発現の調節について日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞生物学演習③（英語による演習） 【サブ・タイトル】遺伝子発現の調節に関するまとめと英語での演習 【キーワード】enhancer, suppressor 【到達目標】遺伝子発現の調節について日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。（原書が望ましい）</p>	<p>指定教科書の第7章、第8章について自己学習してくること。</p>
9/21 (水)	枝松 裕紀	<p>【授業タイトル】細胞内のエネルギーはどのようにつくられるか① 【サブ・タイトル】糖と脂肪の分解と利用 【キーワード】ATP, glucose, glycolysis, pyruvate, fermentation, NADH 【到達目標】解糖とクエン酸回路によりエネルギーを得る仕組みを説明できる。発酵の意義を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞内のエネルギーはどのようにつくられるか① 【サブ・タイトル】糖と脂肪の分解と利用 【キーワード】citric acid cycle, acetyl-CoA, fatty acid 【到達目標】クエン酸回路とそれに付随する代謝経路との間の関係を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第13章について自己学習してくること。</p>
9/28 (水)	枝松 裕紀	<p>【授業タイトル】細胞内のエネルギーはどのようにつくられるか② 【サブ・タイトル】酸化リン酸化 【キーワード】oxidative phosphorylation, electron transport, ATP 【到達目標】呼吸によりエネルギーを得る仕組みの概要を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞内のエネルギーはどのようにつくられるか② 【サブ・タイトル】酸化リン酸化 【キーワード】ATP synthase, uncoupling agent, pH gradient, voltage gradient 【到達目標】呼吸でエネルギーを得る仕組みを、ミトコンドリア膜機能と関連付けて説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第13、14章について自己学習してくること。</p>
10/5 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】細胞生物学演習④（英語による演習） 【サブ・タイトル】エネルギー代謝に関するまとめと英語での演習 【キーワード】ATP, glycolysis 【到達目標】エネルギー代謝の概要を日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞生物学演習④（英語による演習） 【サブ・タイトル】エネルギー代謝に関するまとめと英語での演習 【キーワード】oxidative phosphorylation 【到達目標】エネルギー代謝の概要を日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。（原書が望ましい）</p>	<p>指定教科書の第13章、第14章について自己学習してくること。</p>

10/12 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜① 【サブ・タイトル】細胞膜の構造と膜輸送 【キーワード】membrane structure, lipid bilayer 【到達目標】細胞膜の構造と膜輸送の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜① 【サブ・タイトル】細胞膜の構造と膜輸送 【キーワード】transporter, ATPase, pump 【到達目標】細胞膜の構造と膜輸送の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第11章および第12章について自己学習してくること。</p>
10/19 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜② 【サブ・タイトル】神経系とイオンチャネル 【キーワード】ion channel 【到達目標】細胞膜の構造と膜輸送の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜② 【サブ・タイトル】神経系とイオンチャネル 【キーワード】neuron, action potential, neurotransmitter 【到達目標】細胞膜の構造と膜輸送の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第12章について自己学習してくること。</p>
10/26 (水)	松本 顕	<p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜② 【サブ・タイトル】細胞内区画と細胞内輸送 【キーワード】protein sorting, vesicular transport 【到達目標】タンパク質を細胞小器官に輸送する仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞内外を隔てる生体膜② 【サブ・タイトル】細胞内区画と細胞内輸送 【キーワード】secretory pathways 【到達目標】タンパク質を細胞小器官に輸送する仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第15章について自己学習してくること。</p>
11/2 (水)	枝松 裕紀	<p>【授業タイトル】細胞はどのように情報を伝えるか① 【サブ・タイトル】細胞間情報伝達の仕組み 【キーワード】endocrine, paracrine, ligand, receptor, kinase, phosphatase 【到達目標】細胞と細胞との間の情報のやり取りの様式と仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞はどのように情報を伝えるか① 【サブ・タイトル】細胞内情報伝達の仕組み①: Gタンパク質共役型受容体(その1) 【キーワード】GTP-binding protein, G-protein, second messenger, G-protein-coupled receptor (GPCR) 【到達目標】Gタンパク質を介する細胞内シグナル伝達の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第16章について自己学習してくること。</p>

11/9 (水)	枝松 裕紀	<p>【授業タイトル】細胞はどのように情報を伝えるか② 【サブ・タイトル】細胞内情報伝達の仕組み②: Gタンパク質共役型受容体 (その2) 【キーワード】cAMP, intracellular calcium ion, IP3, diacylglycerol (DAG), serine/threonine kinase 【到達目標】Gタンパク質を介する細胞内シグナル伝達の仕組みについて、セカンドメッセンジャーと関係付けて説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞はどのように情報を伝えるか② 【サブ・タイトル】細胞内情報伝達の仕組み③: 酵素共役型受容体 【キーワード】enzyme-coupled receptor, tyrosine kinase, Ras 【到達目標】酵素共役型受容体 (特に受容体チロシンキナーゼ) を介する細胞内シグナル伝達の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第16章について自己学習してください。</p>
11/30 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】細胞生物学演習⑤ (英語による演習) 【サブ・タイトル】生体膜と細胞間情報伝達に関するまとめと英語での演習 【キーワード】G protein coupled receptor, hormone, neurotransmitter, 【到達目標】生体膜の機能と細胞内シグナル伝達の概要を日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞生物学演習⑤ (英語による演習) 【サブ・タイトル】生体膜と細胞間情報伝達に関するまとめと英語での演習 【キーワード】second messenger, enzyme-coupled receptors 【到達目標】生体膜の機能と細胞内シグナル伝達の概要を日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。(原書が望ましい)</p>	<p>指定教科書の第11章、第12章、第15章、第16章について自己学習してください。</p>
12/3 (土)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】細胞の運動 【サブ・タイトル】細胞骨格 【キーワード】cytoskeleton, actin, tubulin 【到達目標】細胞骨格を構成するタンパク繊維について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞の運動 【サブ・タイトル】細胞骨格 【キーワード】intermediate filament, motor protein 【到達目標】細胞骨格を構成するタンパク繊維について説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第17章について自己学習してください。</p>
12/7 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】細胞はどのように増えるか 【サブ・タイトル】体細胞分裂のしくみ 【キーワード】cell cycle, mitosis, cyclin, check point, kinetochore 【到達目標】細胞周期と有糸分裂の仕組みを説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞はどのように増えるか 【サブ・タイトル】体細胞分裂のしくみ 【キーワード】apoptosis, necrosis, caspase 【到達目標】細胞周期と有糸分裂の仕組みを説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第18章について自己学習してください。</p>

12/14 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】配偶子形成 【サブ・タイトル】減数分裂のしくみ 【キーワード】gamete, meiosis, homologous recombination 【到達目標】生殖細胞における減数分裂を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】配偶子形成 【サブ・タイトル】減数分裂のしくみ 【キーワード】allele, polymorphism, phenotype, SNPs 【到達目標】生殖細胞における減数分裂を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第19章について自己学習してください。</p>
12/21 (水)	和田 麻理	<p>【授業タイトル】幹細胞とがん 【サブ・タイトル】組織の維持と更新 【キーワード】stem cells, clone 【到達目標】再生医学の概要を説明できる。</p> <p>【授業タイトル】幹細胞とがん 【サブ・タイトル】組織の維持と更新 【キーワード】ES cells, iPS cells, cancer 【到達目標】再生医学の概要を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>指定教科書の第20章について自己学習してください。</p>
1/11 (水)	Robert F. Whittier	<p>【授業タイトル】細胞生物学演習⑥（英語による演習） 【サブ・タイトル】細胞骨格と細胞分裂に関するまとめと英語での演習 【キーワード】cytoskeleton, cell cycle 【到達目標】細胞分裂の概要を日本語と英語で説明できる。</p> <p>【授業タイトル】細胞生物学演習⑥（英語による演習） 【サブ・タイトル】細胞骨格と細胞分裂に関するまとめと英語での演習 【キーワード】mitosis, meiosis, stem cells 【到達目標】細胞分裂の概要を日本語と英語で説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。（原書が望ましい）</p>	<p>指定教科書の第17～20章について自己学習してください。</p>

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	統計解析への数学	授業形態	
英語科目名	Introduction to Statistical Analysis	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	川村 浩之	ナンバリング	
担当教員	川村 浩之、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>統計学とその基礎となる数学を学ぶ。 主たる内容は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計データの取り扱い（代表値とばらつき、ヒストグラム、散布図） ・統計学の数学的基礎（確率と統計、確率分布、正規分布、中心極限定理） ・統計的推測（母集団と標本、バイアス、点推定と区間推定、仮説検定） ・線形代数入門（ベクトルと行列、固有ベクトルと固有値） ・統計モデル（単回帰モデル、多変量解析） <p>また、統計学が医学でどのように用いられているかを学ぶ。</p>		
到達目標	<p>[一般目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率的なものの見方に習熟し、統計学についての基本知識を身に付ける。 ・様々な統計解析の背後にある数学を理解し、必要に応じて発展的な手法を自学できるようになる。 <p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データの種類に応じて適切な統計処理を選択できる。 2. 確率分布の概念について説明でき、基本的な分布を使って確率計算ができる。 3. 母平均・母比率について区間推定・仮説検定が行える。 4. 様々な統計モデルの意味や統計ソフトのアウトプットを解釈できる。 5. ベクトルと行列を用いた多変量データの取り扱いができる。 		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義の開始前に、クラス分け試験を行います。 ・ 授業では受け身にならずに積極的に発言・質問をすること。 ・ 各授業の内容はそれ以前の授業の内容を前提とするので小まめに復習すること。 ・ 統計解析に用いられる数学をすべて理解するのは難しいが、できるだけ論理の流れを理解するように心がけてもらいたい。
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	定期試験、manabaの小テスト、課題レポート、授業への参加等を総合的に評価する。
------	---

評価基準	成績評価基準：試験等の結果から総合的な理解度を見て判定する。
------	--------------------------------

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）や試験に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考

参考文献

指定教科書
統計解析入門[第3版] 篠崎信雄・竹内秀一 共著 サイエンス社

参考教科書
「医療統計力」を鍛える！ 千葉康敬 著 総合医学社
ここから学ぼう！図解医療統計 本気で統計を始めたい人のための入門書
柳澤 尚武、西崎 祐史（共著）、代田 浩之（監修） 総合医学社
An introduction to medical statistics 4th ed. M. Bland, Oxford University Press
理工基礎 線形代数 高橋大輔 著 サイエンス社

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	金曜10:35-13:30 センチュリー5F 教員控室			
担当教員の実務経験				
備考	予習：講義前に教科書の該当箇所を読み、概要を理解しておくこと。 復習：講義内容の理解を確かにするために教科書の練習問題を積極的に解くこと。 【自己学習（準備学習）に必要な時間】 1時限あたり 予習：45分、 復習：45分			
4/15 (金)	川村 浩之	【授業タイトル】統計データのまとめ方 (I) 【サブ・タイトル】量的データの整理 【キーワード】データの種類の種類とグラフ、度数分布表、ヒストグラム、統計量、外れ値、標準化 【到達目標】 ・各グラフの使い分けができる。ヒストグラムの解釈ができる。 ・様々な統計量が計算できる。変数の標準化が説明できる。	講義・演習	(予習) 指定教科書の第1、2章を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
4/22 (金)	川村 浩之	【授業タイトル】統計データのまとめ方 (II) 【サブ・タイトル】2つの量の関係を探る 【キーワード】クロス集計表、相対リスク、オッズ比、相関係数、層別、交絡因子 【到達目標】 ・オッズ比や相対リスクの定義と意味を理解する。 ・相関と因果の違いを理解する。 【サブ・タイトル】ベイズの定理 【キーワード】条件付き確率、陽性的中率 【到達目標】 ・条件付き確率とベイズの定理を理解する。 ・陽性的中率を計算できる。	講義・演習	(予習) 指定教科書の第3、4章を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。

5/6 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】確率分布 (I) 【サブ・タイトル】確率分布からわかること 【キーワード】離散型確率変数、確率分布、確率分布の特性値 【到達目標】確率分布の特性値 (平均、分散、標準偏差) の意味を理解し、計算できる。</p> <p>【サブ・タイトル】サイコロを600回振ると1の目は何回でるか？ 【キーワード】確率モデル、2項分布、ポアソン分布 【到達目標】2項分布とポアソン分布を用いた簡単な計算ができる。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の第5章、6.1、6.2を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
5/13 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】確率分布 (II) 【サブ・タイトル】連続型確率変数 【キーワード】連続型確率変数、確率密度関数、確率分布の特性値 【到達目標】連続型確率変数の分布の特性値の求め方がわかる。</p> <p>【サブ・タイトル】正規分布とはなにか？ 【キーワード】正規分布、68-95-99.7ルール 【到達目標】正規分布に従う変数についての簡単な計算ができる。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の第5章、6.3を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
5/20 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】正規分布とその応用 【サブ・タイトル】正規分布は統計学の強力な武器である！ 【キーワード】標準正規分布、Zスコア、確率とパーセント点 【到達目標】正規分布表を利用した計算ができる。</p> <p>【サブ・タイトル】酔っぱらいはどこに辿り着くか？ 【キーワード】2項分布の正規近似、連続修正 【到達目標】2項分布の正規近似を用いた確率計算ができる。連続修正を説明できる。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の6.3を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
5/27 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】変数の和の確率分布 【サブ・タイトル】2次元の確率分布 【キーワード】同時分布と周辺分布、共分散と相関係数 【到達目標】2次元の確率分布と2変数の相関係数が計算できる。</p> <p>【サブ・タイトル】多変数の和の確率分布 【キーワード】期待値・分散の加法性、正規分布の再生性 【到達目標】独立な正規変数の和の確率分布がわかる。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の第7章を勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。

6/3 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 中間テスト 【サブ・タイトル】 前期前半の復習 【キーワード】 分布の代表値と変動、確率、確率分布、変数の和の分布 【到達目標】 データの整理、確率分布による確率計算ができる。ベイズの定理を応用できる。</p>	試験、講義	<p>(予習) 配布プリント、manabaのドリルなどを見直しておくこと。 (復習) 試験で分からなかった箇所を復習しておくこと。</p>
6/10 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 標本分布と統計的推測 【サブ・タイトル】 標本データから母集団を推測する 【キーワード】 母集団と標本、無作為標本、標本平均の分布、中心極限定理 【到達目標】 中心極限定理が説明できる。標本平均の確率分布が説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】 母比率の区間推定 【キーワード】 標本比率の分布、標準誤差、信頼区間 【到達目標】 母比率の区間推定が行える。標準誤差を説明できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 指定教科書の8章、9.6を事前に勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
6/17 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 母平均の区間推定 【サブ・タイトル】 データから母平均を推定する 【キーワード】 標準誤差と標本サイズ、大標本 【到達目標】 大標本での母平均の区間推定が行える。標本の大きさと誤差の関係が説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】 少ないデータを生かす 【キーワード】 小標本、t分布、自由度 【到達目標】 正規分布とt分布の関係を説明できる。t分布を用いた区間推定ができる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 指定教科書の9.1-9.4を事前に勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
6/24 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 仮説検定 【サブ・タイトル】 p値とはなにか？ 【キーワード】 帰無仮説、対立仮説、p値、有意水準、棄却域 【到達目標】 大標本の場合の母比率、母平均の仮説検定が行える。p値の意味が説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】 母平均の検定 【キーワード】 t検定 【到達目標】 小標本の場合の母平均の仮説検定が行える。</p>	講義・演習	<p>(予習) 指定教科書の10.1-10.3を事前に勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>

7/1 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】2群比較 (I) 【サブ・タイトル】連続データの2群比較 (大標本) 【キーワード】母平均の差の推定・検定、Z 検定 【到達目標】母平均の差の推定・検定 (大標本) が行える。</p> <p>【サブ・タイトル】2値データの2群比較 【キーワード】母比率の差の推定・検定、Z 検定 【到達目標】母比率の差の推定・検定 (大標本) が行える。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の9.7、9.8、10.4、10.5を事前に勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
7/8 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】2群比較 (II) 【サブ・タイトル】連続データの2群比較 (小標本) 【キーワード】独立2標本の t 検定、対応のある t 検定 【到達目標】2群の平均値の差の推定・検定 ができる。(小標本)</p> <p>【サブ・タイトル】バイアスとはなにか? 【キーワード】ランダムエラーとバイアス、因果関係と交絡、層別、ランダム化比較試験 【到達目標】バイアスを説明できる。因果関係と交絡について説明できる。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の9.7、10.4を事前に勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
7/15 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】2群比較 (III) 【サブ・タイトル】検出力と標本サイズ 【キーワード】αエラー、βエラー、検出力、標本サイズ、p値の意味 【到達目標】標本サイズ、標準誤差、検出力の関係を説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】多重比較の問題 【キーワード】ボンフェローニ法 【到達目標】多重比較の問題とその対処法を説明できる。</p>	講義・演習	(予習) 多重比較の問題とは何か、各自調べておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。

7/22 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 前期後半の復習と補足 【サブ・タイトル】 重要事項の復習 【キーワード】 母集団と標本、中心極限定理、区間推定と仮説検定、ランダムエラーとバイアス 【到達目標】 標本から母集団を推測する際の論理を説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】 推定と検定（補足） 【キーワード】 母平均の差の推定・検定、p値と棄却域 【到達目標】 母比率・母平均の差の推定・検定が行える。検定の過誤について説明できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 前期の学習事項を見直しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
9/16 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 2群比較 (IV) 【サブ・タイトル】 ノンパラメトリック検定 【キーワード】 Mann-WhitneyのU検定、Wilcoxonの符号付順位検定 【到達目標】 Mann-WhitneyのU検定が行える。Wilcoxonの符号付順位検定が行える。</p> <p>【サブ・タイトル】 2群比較と研究デザイン 【キーワード】 RCT、マッチング、交絡因子 【到達目標】</p>	講義・演習	<p>(予習) Mann-WhitneyのU検定とは何か、各自調べておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
9/30 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 2群比較 (v) 【サブ・タイトル】 2×2 分割表の検定 【キーワード】 カイ2乗検定、マクネマー検定、リスク比・オッズ比 【到達目標】 対応の有無に従って正しい統計処理が行える</p> <p>【サブ・タイトル】 2群比較と因果関係 【キーワード】 交絡因子、バイアス、研究デザイン 【到達目標】 研究デザインとバイアスについて説明できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 指定教科書の10.6を事前に読んでおくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
10/7 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】 カイ2乗検定とF検定 【サブ・タイトル】 適合度検定と独立性の検定 【キーワード】 カイ2乗分布、自由度、適合度検定、独立性の検定 【到達目標】 適合度検定、独立性の検定が行える。自由度を正しく同定できる。</p> <p>【サブ・タイトル】 分散の2群比較 【キーワード】 F分布、F検定 【到達目標】 2標本の分散の比の検定が行える。自由度を正しく同定できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 指定教科書の10.6を事前に読んでおくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>

10/14 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】線形代数入門 (I)</p> <p>【サブ・タイトル】行列とはなにか？</p> <p>【キーワード】行列の演算、逆行列、行列式、ベクトルと行列</p> <p>【到達目標】2×2の行列の演算が出来る。行列を用いて1次方程式が解ける。</p>	講義・演習	<p>(予習) 行列が何に用いられるか調べておく。</p> <p>(復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
10/21 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】線形代数入門 (II)</p> <p>【サブ・タイトル】固有ベクトルと固有値</p> <p>【キーワード】線形変換と固有ベクトル、ベクトル空間、行列のランク</p> <p>【到達目標】2×2の行列の固有値、固有ベクトルを求められる。 線形変換の幾何学的意味が説明できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 行列の固有値とはなにか、調べておく。</p> <p>(復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
10/28 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】線形代数入門 (III)</p> <p>【サブ・タイトル】線形代数の応用</p> <p>【キーワード】固有値と固有ベクトル、行列のランク、多変量モデル、主成分分析</p> <p>【到達目標】$n \times n$行列の固有値、固有ベクトルの意味が説明できる。多変量モデルの行列表示が理解できる。主成分分析の意味が説明できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 主成分分析とはなにか、調べておく。</p> <p>(復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
11/4 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】中間テスト</p> <p>【サブ・タイトル】後期前半の復習</p> <p>【キーワード】様々な区間推定、仮説検定、ベクトルと行列</p> <p>【到達目標】様々な推定と検定を適切に行える。行列を用いた計算が行える。</p>	試験・講義	<p>(予習) これまでの練習問題、manabaのドリルなどを見直す。</p> <p>(復習) 試験で分からなかった箇所を復習しておくこと。</p>

11/11 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】分散分析 【サブ・タイトル】平均値の多群比較 【キーワード】1元配置分散分析 (One-way ANOVA)、分散分析表 【到達目標】分散分析の考え方を説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】要因が2種類ある場合の平均値の比較 【キーワード】2元配置分散分析 (Two-way ANOVA)、交互作用 【到達目標】分散分析表の解釈ができる。</p>	講義・演習	(予習) F検定、ANOVAとは何か、各自調べて予習しておく。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
11/25 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】単回帰モデル 【サブ・タイトル】ある変量から他の変量を予測する。 【キーワード】単回帰モデル、最小二乗法、回帰直線とSDライン、平均への回帰 【到達目標】単回帰モデルと回帰係数を説明できる。データから回帰直線が求められる。</p> <p>【サブ・タイトル】回帰モデルの誤差 【キーワード】残差、決定係数、誤差の推定とRMS E、予測区間 【到達目標】残差と決定係数の意味が分かる。回帰モデルによる予測の誤差を求められる。</p>	講義・演習	(予習) 指定教科書の11.1-11.3を事前に勉強しておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
12/2 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】重回帰モデル 【サブ・タイトル】重回帰モデル 【キーワード】交絡因子の調整、重回帰モデル、ダミー変数 【到達目標】回帰係数の誤差を理解する。重回帰モデルによる交絡因子の調整について説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】エクセルのアウトプット 【キーワード】補正R²乗値、回帰係数、p値と信頼区間 【到達目標】Excelによる重回帰分析のアウトプットを正しく解釈できる。</p>	講義・演習	(予習) 重回帰モデルとは何か、各自調べて予習しておく。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。
12/9 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】ロジスティック回帰モデル 【サブ・タイトル】ロジスティック回帰モデル 【キーワード】2値データ、調整オッズ比、p値と信頼区間 【到達目標】統計ソフトによるロジスティック回帰分析のアウトプットを正しく解釈できる。</p> <p>【サブ・タイトル】ロジスティック回帰モデルの応用 【キーワード】医学研究 【到達目標】実際の医学研究での応用例について説明できる。</p>	講義・演習	(予習) ロジスティック回帰とはなにか、各自調べておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。

12/16 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】生存時間解析入門 【サブ・タイトル】KM曲線とログランク検定 【キーワード】生存曲線、ハザード、カプランマイヤー法、ログランク検定 【到達目標】ハザードの意味を説明できる。生存曲線の描き方を説明できる。</p> <p>【サブ・タイトル】Cox比例ハザードモデル 【キーワード】Cox比例ハザードモデル、p値と信頼区間、調整ハザード比 【到達目標】統計ソフトによるCox比例ハザードモデルによる分析のアウトプットを正しく解釈できる。</p>	講義・演習	<p>(予習) 生存曲線とはなにか、各自調べておくこと。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
12/23 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】医療統計の実際 【サブ・タイトル】様々な統計手法 【キーワード】データの種類と解析手法 【到達目標】様々なアウトカムに対して適切な解析手法を選択できる。</p> <p>【サブ・タイトル】統計解析結果の理解 【キーワード】統計解析、研究デザイン、Critical Appraisal 【到達目標】統計解析の結果を批判的な視点で読み解くことができる。</p>	講義・演習	<p>(予習) これまでに習った様々な解析手法について整理しておく。 (復習) 配布プリントをよく読んで練習問題を解くこと。</p>
1/6 (金)	川村 浩之	<p>【授業タイトル】これまでの復習 【サブ・タイトル】期末試験プレテスト 【キーワード】区間推定、仮説検定、2群間・多群間の比較、回帰分析、多変量モデル、ベクトルと行列 【到達目標】推測統計の基礎的手法を用いることができる。多変量モデルのアウトプットの解釈ができる。行列を用いた簡単な計算が行える。</p>	演習・講義	<p>(予習) これまでの練習問題、manabaのドリルなどを見直しておくこと。</p>

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）

科目名	統計解析への数学	授業形態	講義
英語科目名	Introduction to Statistical Analysis	対象学年	1年
開講学期	2022年度前期、2022年度後期	単位数	1単位
代表教員	奥野 浩	ナンバリング	
担当教員	奥野 浩、スポーツ健康科学部教員共通		
授業概要			
全体内容	<p>統計学とその基礎となる数学を学ぶ。 主たる内容は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計データの取り扱い（代表値とばらつき、ヒストグラム、散布図） ・統計学の数学的基礎（確率と統計、確率分布、正規分布、中心極限定理） ・統計的推測（母集団と標本、バイアス、点推定と区間推定、仮説検定、回帰分析） <p>また、統計学が医学でどのように用いられているかを学ぶ。</p>		
到達目標	<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 確率論の基礎概念（乗法定理、ベイズの定理、確率分布、中心極限定理）を説明できる。 2. 確率分布の概念について説明でき、基本的な分布を使って確率計算ができる。 3. 2変数の相関と単回帰分析が説明できる。 4. 母平均・母比率の信頼区間が計算できる。 5. 母平均・母比率についての仮説検定が行える。 6. χ^2乗検定を行える。 		
授業の位置づけ	-		
ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連	-		

履修上の注意、履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義の開始前に、クラス分け試験を行います。後期開始時にクラスの変更を認める場合があります。 ・ 授業では受け身にならずに積極的に発言・質問をすること。 ・ 各授業の内容はそれ以前の授業の内容を前提とするので小まめに復習すること。 ・ 統計解析に用いられる数学をすべて理解するのは難しいが、できるだけ論理の流れを理解するように心がけてもらいたい。
-------------	---

成績評価の方法

評価方法	定期試験（60%）、小テスト（30%）、課題および授業への参加等（10%）を総合的に評価する。
------	---

評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確率論の基礎概念の理解（定期試験、小テスト、課題等） ・ 確率分布の概念とそれを利用した確率計算（定期試験、小テスト、課題等） ・ 2変数の相関と単回帰分析（定期試験、小テスト、課題等） ・ 信頼区間の概念の理解と計算（定期試験、小テスト、課題等） ・ 仮説検定の概念の理解と計算（定期試験、小テスト、課題等）
------	---

試験・課題に対するフィードバック方法

課題（小テストやレポート等）や試験に関しては、講義中または講義後に適宜フィードバックを行う。
--

テキスト

書名	著者	出版社	ISBN	備考
統計解析入門[第3版]	篠崎信雄・竹内秀一	サイエンス社	978-4-7819-1497-8	

参考文献

<p>「医療統計力」を鍛える！ 千葉康敬 著 総合医学社 ここから学ぼう！図解医療統計 本気で統計を始めたい人のための入門書 柳澤 尚武、西崎 祐史（共著）、代田 浩之（監修） 総合医学社 An introduction to medical statistics 4th ed. M. Bland, Oxford University Press</p>

授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法 *	予習・復習・レポート課題等と学習時間
その他				
連絡先・オフィスアワー	対面 金曜日 12:20-13:20 センチュリータワー南5階教員室 mail h-okuno[at]juntendo.ac.jp [at]を@に修正してください			
担当教員の実務経験				
備考	新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する可能性がある。			
4/15 (金)	奥野 浩	【授業タイトル】イントロダクション 【サブ・タイトル】統計学とはなんだろうか？、高校までのまとめ 【キーワード】記述統計と推測統計、確率と統計 【到達目標】本講義のテーマと目標を理解する。	講義、演習 【注意点】指定教科書を持参すること。	(予習) 指定教科書の第1章を勉強しておくこと。(2時間) (復習) 本日の内容について復習しておくこと。(1時間)
4/22 (金)	奥野 浩	【授業タイトル】記述統計と推測統計 【サブ・タイトル】2つの統計、確率で表す 【キーワード】記述統計、推測統計、確率と統計 【到達目標】 ・記述統計と推測統計との差を説明できる。 ・確率的な考え方を理解する。	講義 【注意点】指定教科書を持参すること。	(予習) 指定教科書の第2章2節までを勉強しておくこと。(2時間) (復習) 講義に出てきた用語についてまとめしておくこと。(1時間)

5/6 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】統計データのまとめ方1 【サブ・タイトル】量的データの整理、統計とグラフ 【キーワード】質的データと量的データ、統計量、箱ひげ図、度数分布表、ヒストグラム 【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データから統計量が計算できる。 ・度数分布表から平均値と標準偏差を計算できる。 	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第2章までを勉強しておくこと。(2時間) (復習) 講義に出てきた用語についてまとめておくこと。(1時間)</p>
5/13 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】統計データのまとめ方2 【サブ・タイトル】2つの量の関係を探る、相関と因果 【キーワード】分割表、散布図、関係数、層別 【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オッズ比や相関係数などの定義と意味を理解する。 ・相関と因果関係の違いを理解する。 	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第3章を勉強しておくこと。(2時間) (復習) 講義に出てきた用語についてまとめておくこと。(1時間)</p>
5/20 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】確率の計算 【サブ・タイトル】ベイズの定理、条件付き確率 【キーワード】集合と確率、加法定理、条件付き確率、乗法公式 【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法定理、条件付き確率を説明できる。 ・乗法公式を説明できる。 	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第4章を勉強しておくこと。(1時間) (復習) これまでの内容を復習しておくこと。(2時間)</p>
5/27 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】小試験1 【サブ・タイトル】ここまでのまとめ 【キーワード】平均、分散、標準偏差、確率 【到達目標】</p> <p>【授業タイトル】確率分布 【サブ・タイトル】確率分布からわかること 【キーワード】確率変数、確率関数、確率密度関数、経験的確率、確率モデル 【到達目標】確率変数の意味を説明できる。</p>	<p>試験、講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第5章を勉強しておくこと。(2時間) (復習) 講義に出てきた用語についてまとめておくこと。(1時間)</p>

6/3 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】 確率変数の平均値と標準偏差 【サブ・タイトル】 母集団の平均値 【キーワード】 確率分布 確率変数の平均値と標準偏差 【到達目標】 確率変数の平均値、分散、標準偏差の定義を説明できる。また、与えられた確率変数の平均値等を計算できる。</p>	<p>講義、演習 【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第5章を勉強しておくこと。(1時間) (復習) 確率変数の平均値と分散の求め方を練習すること。(2時間)</p>
6/10 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】 二項分布とポアソン分布 【サブ・タイトル】 正しいコインは10回投げると5回表がでるのか 【キーワード】 ベルヌーイ試行、二項分布、ポアソン分布 【到達目標】 ・二項分布の性質を説明できる。 ・ポアソン分布について理解する。</p>	<p>講義 【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の6.1, 6.2を勉強しておくこと。(1時間) (復習) 二項分布の平均値と分散の求め方についてまとめること。(2時間)</p>
6/17 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】 正規分布とその応用 【サブ・タイトル】 正規分布を利用した確率計算 【キーワード】 正規分布、誤差関数、標準偏差とパーセント点、二項分布の正規近似連続修正 【到達目標】 二項分布の正規近似連続修正</p>	<p>講義 【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の6.3を勉強しておくこと。(1時間) (復習) 正規分布を利用した確率計算についてまとめること。(2時間)</p>
6/24 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】 多次元の確率分布 【サブ・タイトル】 確率変数の和の分布 【キーワード】 同時分布と周辺分布、共分散と相関係数、期待値と分散の加法性 【到達目標】 2次元確率分布と2変数の相関の関係を理解する。多変数の和の平均値、分散の求め方がわかる。相関係数を求められる。</p>	<p>講義 【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の7章を勉強しておくこと。(2時間) (復習) 共分散の求め方についてまとめること。(1時間)</p>

7/1 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】小試験2 【サブ・タイトル】確率分布 【キーワード】確率分布からの計算 【到達目標】</p> <p>【授業タイトル】標本分布 【サブ・タイトル】母集団と標本 【キーワード】標本抽出 【到達目標】統計的推測について説明できる。</p>	<p>試験、講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書第5-7章を復習しておくこと。(1時間) (復習) 小試験で解けなかった部分についてテキストを読み直すこと。(2時間)</p>
7/8 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】標本分布と統計的推測 【サブ・タイトル】標本データから母集団を推測する 【キーワード】標本平均の分布、標準誤差、大数の法則、中心極限定理 【到達目標】標本分布の概念を理解する。中心極限定理の意味を説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の8.4までを勉強しておくこと。(1時間) (復習) 中心極限定理についてまとめておくこと。(2時間)</p>
7/15 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】統計的推測 【サブ・タイトル】母比率の区間推定 【キーワード】区間推定、仮説検定、二項分布の正規近似、標準誤差 【到達目標】区間推定と仮説検定について説明できる。</p>	<p>講義</p> <p>【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の8.5を勉強しておくこと。(1時間) (復習) 標準誤差の求め方についてまとめておくこと。(2時間)</p>

7/22 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】前期のまとめ 【サブ・タイトル】母比率の区間推定の計算 【キーワード】母比率の区間推定、信頼係数、信頼区間、二項分布の正規近似、標準誤差 【到達目標】信頼区間の意味を説明できる。母比率の区間推定ができる。</p>	<p>演習 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の8.5を事前に勉強しておくこと。(1時間) (復習) これまでの内容についてまとめておくこと。(2時間)</p>
9/16 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】前期の復習 【サブ・タイトル】前期試験講評 【キーワード】標本平均と標本分散、確率変数の平均、分散 【到達目標】正規分布を利用した計算ができる。</p>	<p>講義 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) これまでの内容についてまとめておくこと。(1時間) (復習) 前期試験で間違った問題を解きなおすこと。(2時間)</p>
9/30 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】比率の区間推定と平均値の区間推定 【サブ・タイトル】比率の差の区間推定 【キーワード】正規変数の和の分布 【到達目標】点推定と不偏推定量の概念を説明できる。標本の大きさと標準誤差の関係を理解する。</p>	<p>講義、演習 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第9章を勉強しておくこと。(1時間) (復習) 大標本の場合の区間推定についてまとめること。(2時間)</p>
10/7 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】平均値の区間推定2 【サブ・タイトル】t分布を利用した区間推定 【キーワード】小標本、スチューデントのt分布、自由度 【到達目標】正規分布とカイ2乗分布、t分布の関係を理解する。t分布を用いた区間推定ができる。</p>	<p>講義、演習 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第9章を勉強しておくこと。(1時間) (復習) t分布を使った区間推定について求めること。(2時間)</p>

10/14 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】統計的推測のまとめ 【サブ・タイトル】母比率の区間推定、母平均の区間推定 【キーワード】二項分布の正規近似、標準誤差、中心極限定理、標準誤差 【到達目標】さまざまな区間推定を適切に行える。</p>	<p>演習 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(復習) 区間推定についてまとめておくこと。(3時間)</p>
10/21 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】小試験3 【サブ・タイトル】推定の試験 【キーワード】 【到達目標】仮説検定について説明できる。</p> <p>【授業タイトル】仮説検定 【サブ・タイトル】帰無仮説とはなにか？ 【キーワード】帰無仮説、対立仮説 【到達目標】</p>	<p>試験、講義 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書第10章を勉強しておくこと。(1時間) (復習) 仮説検定概要についてまとめること。(2時間)</p>
10/28 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】平均値の仮説検定(大標本) 【サブ・タイトル】大標本の場合の母平均の検定 【キーワード】帰無仮説、対立仮説、有意水準、棄却域、第1種の誤り、第2種の誤り 【到達目標】仮説検定の手続きと論理を説明できる。統計的有意性の意味を説明できる。</p>	<p>講義、演習 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書第10章を勉強しておくこと。(1時間) (復習) 大標本の場合の検定についてまとめておくこと。(2時間)</p>
11/4 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】平均値の仮説検定 【サブ・タイトル】大標本の平均値の差の検定 【キーワード】正規分布、標準誤差 【到達目標】区間推定と検定の関係が説明できる。p値を求められる。</p>	<p>講義、演習 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書第10章を勉強しておくこと。(1時間) (復習) p値の求め方についてまとめておくこと。(2時間)</p>

11/11 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】平均値の検定（小標本） 【サブ・タイトル】小標本の場合の平均値の検定 【キーワード】 t 分布 【到達目標】 ・小標本の場合の平均値の検定ができる。</p>	<p>講義、演習 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>（予習）指定教科書の10.2.3, 10.4.2を事前に勉強しておくこと。（1時間） （復習）小標本の場合の条件についてまとめておくこと。（2時間）</p>
11/25 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】関連性の検定 【サブ・タイトル】カイ2乗検定 【キーワード】適合度検定、独立性の検定 【到達目標】 ・適合度検定が行える。 ・独立性の検定が行える。</p>	<p>講義、演習 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>（予習）指定教科書の10.6を勉強しておくこと。（1時間） （復習）χ^2乗検定についてまとめておくこと。（2時間）</p>
12/2 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】検定のまとめ 【サブ・タイトル】平均値の検定、比率の検定、カイ2乗検定 【キーワード】標準誤差、正規分布、t分布、期待度数、χ^2乗分布 【到達目標】 ・正規分布を利用した検定ができる ・χ^2乗検定ができる。</p>	<p>演習 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>（復習）指定教科書の10章を復習しておくこと。（3時間）</p>
12/9 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】小試験4 【サブ・タイトル】仮説検定の試験 【キーワード】z検定、t検定、カイ2乗検定 【到達目標】検定の種類を理解し、使い分けができるようになる。</p>	<p>試験、講義 【注意点】指定教科書を持参すること。</p>	<p>（予習）仮説検定について復習しておくこと。（3時間）</p>

12/16 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】 回帰分析1 【サブ・タイトル】 1つの変数を他の変数で説明する。 【キーワード】 単回帰モデル、回帰直線、最小二乗法、残差、決定係数 【到達目標】 単回帰モデルと回帰係数を説明できる。残差と決定係数の意味がわかる。最小二乗法を説明できる。</p>	<p>講義 【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第11章を勉強しておくこと。(1時間) (復習) 単回帰分析についてまとめておくこと。(2時間)</p>
12/23 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】 回帰分析2 【サブ・タイトル】 回帰式を求める、回帰式の計算 【キーワード】 回帰係数、決定係数 【到達目標】 ・回帰係数を求める方法を理解する。 ・決定係数を求められる。</p>	<p>講義、演習 【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>(予習) 指定教科書の第11章を勉強しておくこと。(1時間) (復習) 最小二乗法を使った回帰式の求め方についてまとめておくこと。(2時間)</p>
1/6 (金)	奥野 浩	<p>【授業タイトル】 後期のまとめ 【サブ・タイトル】 ・区間推定 ・仮設検定 ・回帰分析 【キーワード】 標準誤差、信頼区間、帰無仮説、対立仮説、有意水準、棄却域、p値、回帰直線、最小二乗法、決定係数 【到達目標】 問題の内容を理解して、適切な処理ができるようになる。</p>	<p>演習 【注意点】 指定教科書を持参すること。</p>	<p>後期の内容を復習しておくこと。(3時間)</p>

--	--	--	--	--

* アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL、反転授業、グループワーク、討議、発表等）